はじめに

このたびは、「SoftBank 730SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

SoftBank 730SCは、3Gプリペイドサービス対応の携帯電話機です。プリペイド専用のUSIMカードをご使用ください。

対応している各種サービスの内容やご利用のお手続きに関して詳しくは、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。

SoftBank 730SCは、3G方式に対応しております。

- SoftBank 730SCをご利用の前に、この「取扱説明書」と「らくらくスタートブック」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容に関して、一部日本では提供していない機能、サービスの説明が記載されている場合があります。Not all functions and services described in this user guide are available in Japan.
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

- 「SoftBank 730SC」には、この「取扱説明書」と「らくらくスタートブック」が付属されています。
  - 基本的な使いかたや利用方法を知りたい場合は「らくらくスタートブック」をお読みください。
  - 各機能の詳しい使いかたを知りたい場合はこの「取扱説明書」をお読みください。

本書の構成

説明	章	番号
730SCをお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／操作	2
730SCの代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	カメラ	5
	メディアプレイヤー	6
730SCで利用できるその他の便利なツール（道具）について説明しています。	ツール	7
730SCのセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	8
赤外線通信について説明しています。	通信	9
730SCを使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	10
730SCについての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	11



最初に「らくらくスタートブック」をお読みください。

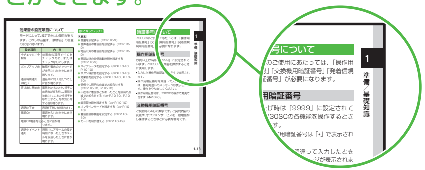
機能の探しかた

パラパラとめくって探す

730SC の新しい魅力を発見しましょう。

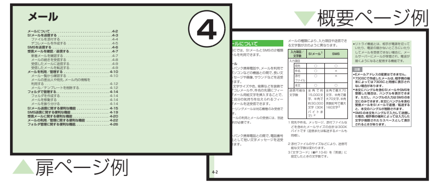
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。



- 各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

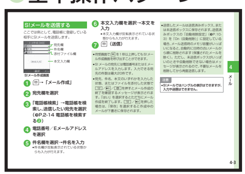
章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください（一部ない章もあります）。

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

基本操作パターン



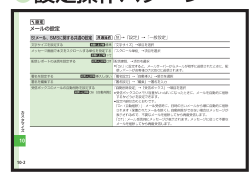
機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

応用操作パターン



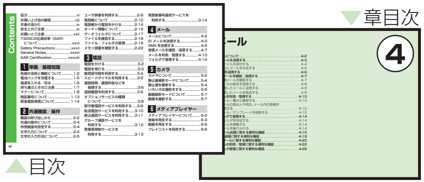
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

設定操作パターン



730SC の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。



▼章目次

▲目次

●「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける３つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



▼目的別索引

▲用語索引

●730SC内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

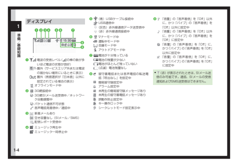
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。



●「資料／付録」の章の「機能一覧」は、730SCのメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。



●「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

表示やアイコンの意味を探す

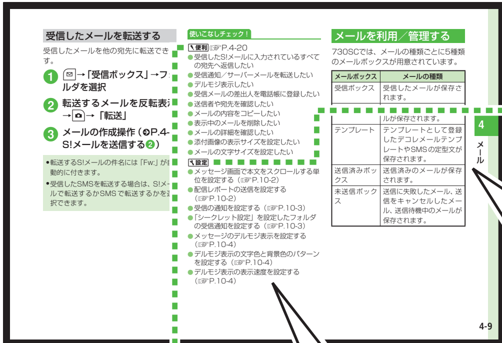
気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の記載パターン

基本操作パターン

各機能の基本操作を画面を中心にやさしく説明しています。


受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送できます。

1 [✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択

2 転送するメールを反転表示→[📷]→「転送」

3 メールの作成操作（➔P.4-S!メールを送信する②）

•転送するS!メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
•受信したSMSを転送する場合は、S!メールで転送するかSMSで転送するかを選択できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-20
- 受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい
- 受信通知／サーバーメールを転送したい
- デルモジ表示したい
- 受信メールの差出人を電話帳に登録したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの内容をコピーしたい
- 表示中のメールを削除したい
- メールの詳細を確認したい
- 添付画像の表示サイズを設定したい
- メールの文字サイズを設定したい

設定
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.10-2）
- 配信レポートの送信を設定する（☞P.10-2）
- 受信の通知を設定する（☞P.10-3）
- 「シークレット設定」を設定したフォルダの受信通知を設定する（☞P.10-3）
- メッセージのデルモジ表示を設定する（☞P.10-4）
- デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する（☞P.10-4）
- デルモジ表示の表示速度を設定する（☞P.10-4）

メールを利用／管理する

730SCでは、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
	ルが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートやSMSの定型文が保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

4 メール

4-9

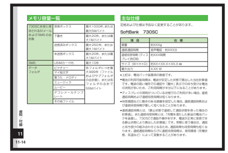
操作にあたってのご注意

●本書は、特にことわりのない限り、待受画面（➔P.1-6）からの操作を中心に説明しています。

設定 この機能をカスタマイズして使いたいとき

詳しい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「メモリ容量一覧」／「主な仕様」をご覧ください。件数や時間など、詳細な仕様を確認することができます。



使いこなしチェックを活用しましょう

このページで説明している機能に関する代表的な応用操作や設定項目を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

便利 この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。

S!メールに関する設定

共通操作 [✉]→「設定」→「S!メール設定」

送信メールの優先度を設定する **お買い上げ時** 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する **お買い上げ時** 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自[illegible]されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する **お買い上げ時** 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ●設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
S!メールの受信方法を設定する **お買い上げ時** 自動受信	「受信設定」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「電話番号のみ自動」：電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
返信先を設定する **お買い上げ時** Off	「返信先指定」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「On」：「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」：730SCのアドレスに返信されます。 ●730SCからEメールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「返信先アドレス設定」→項目を選択→必要に応じて設定選択 ●電話帳に登録しているアドレスを選択する場合は、「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-14）→Eメールアドレスを反転表示→[■]（選択）を押します。 ●宛先を直接入力する場合は、「直接入力」を選択し、Eメールアドレスを入力します。
フィーリングメールを受信したときの通知画面に感情の情報を表示するかどうかを設定する **お買い上げ時** On	「フィーリングメール連動設定」→「インフォメーション表示」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する **お買い上げ時** On	「フィーリングメール連動設定」→「着信ライト」→「On/Off」→項目を選択

カスタマイズ 10

10-4

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。
この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。

便利

S!メール送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ **履歴から入力するとき**
表示されている履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択
●電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ **履歴から入力するとき**
表示されている履歴を選択→[✉]（完了）

■ **電話帳から選択するとき**
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-14）→電話番号／Eメールアドレスを選択→[✉]（完了）

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力→[✉]（完了）

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→[✉]（完了）

■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択→[✉]（完了）
●電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

●複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄の横に件数が表示されます。

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい　[TOに変更]／[CCに変更]／[BCCに変更]

S!メール作成画面で宛先欄を選択→変更したい宛先を反転表示→[📷]→「TOに変更」／「CCに変更」／「BCCに変更」→[✉]（完了）

宛先を削除したい　[削除]

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先を反転表示→[📷]→「削除」→「1件」→[✉]（完了）

■ **すべて削除するとき**
[📷]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉]（完了）

添付したファイルを確認したい

S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択→確認したいファイルを選択

添付したファイルを削除したい　[削除]

S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→[📷]→「削除」→「1件」→[✉]（完了）

■ **すべて削除するとき**
[📷]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉]（完了）

4 メール

4-16

操作中の画面で[📷]（メニュー）を押して選択できる操作はここで説明しています。

Contents

7 ツール

8 セキュリティ

9 通信

10 カスタマイズ

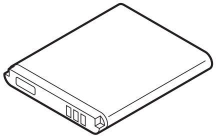
11 資料／付録

お買い上げ品の確認

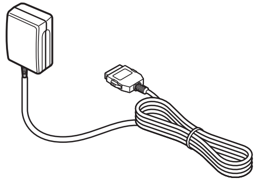
SoftBank 730SC本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。

付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。

電池パック［SCBAM1］



急速充電器［SCCAM1］



※ 730SCのイヤホンマイク、USBケーブルについては、ソフトバンクが指定したオプション品を使用してください。

本書の見かた

本書では、「SoftBank 730SC」を「730SC」と表記しています。あらかじめご了承ください。

また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、730SCの表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と730SCのイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

確認／警告メッセージについて

操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、内容をよくご確認ください。

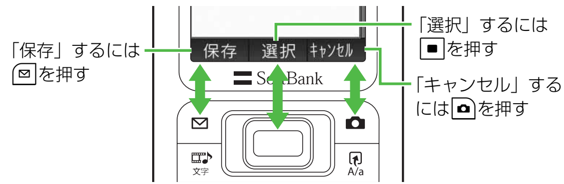
ボタンの使いかたと表記について

本書では、730SCのボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」（➔P.1-2）を参照してください。

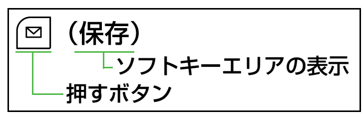
ソフトキーとマルチファンクションボタンの操作については、次のように表記しています。

ソフトキー

ディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には「選択」「保存」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。



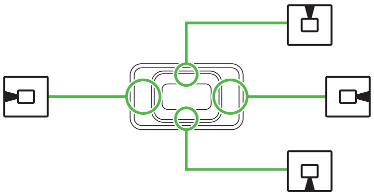
ソフトキー操作の表記



マルチファンクションボタン

マルチファンクションボタンは、上下左右の4か所を押せるボタンです。目的の項目を選択するときや文字入力画面でカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどに使います。

マルチファンクションボタン操作の表記



または を押すとき：

または を押すとき：

、 、 、 を押すとき：

「反転表示」について

メニュー項目や設定項目の選択画面でカーソル（「▬」や画像ファイルを囲む枠など）を目的の項目に移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

メニュー操作の表記について

メインメニュー操作やメニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メインメニュー操作

1 ■→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

メインメニュー項目を反転表示して■（選択）を押す操作を繰り返すことを示す

メインメニュー操作の詳細は、「メインメニューから機能を呼び出す」（➔P.2-2）を参照してください。

メニュー操作

1 →「送信」→「赤外線通信」

（メニュー）を押してメニューを呼び出すことを示す

メニュー項目を反転表示して■（選択）を押す操作を繰り返すことを示す

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- この取扱説明書に示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

●絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

●絵表示の意味


記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。


記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。


記号は
気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

730SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

730SCに使用する充電器および電池パックは、ソフトバンクが指定したものを使用してください（➔P.viii）。
指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障、感電、火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させないでください。
充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火、感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
目に障害を与える恐れがあります。

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解、改造、破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください（➔P.viii）。
- 730SCに電池パックがうまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電、使用、放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、730SC専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

⚠警告

730SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れないでください。
730SCや充電器の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨に当たるところなどの、湿気の多いところでは使用しないでください。
火災、感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かないでください。
730SCや充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや730SC、充電器を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、730SCや充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしないでください。

- 730SCや充電器の外装ケースは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検、調整、修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
- 730SCや充電器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは
730SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いてソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

衝撃を与えないでください。

730SCや充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、730SCや充電器を落とすなどして外装ケースを破損した場合は、電池パックを外してソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

異常が起きたときは

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんなにおいがするなどの異常な状態に気がついたときは、730SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いてソフトバンクの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災･感電の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源をお切りください。ガスに引火する恐れがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所ではソフトバンク携帯電話の電源も切り、充電しないでください。

730SCの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、730SC を絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全なところに止めてからご使用ください。
道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004年11月1日改正施行）。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。交通事故の原因となります。

ステレオイヤホンマイクやストラップを持って730SC を振り回したり、投げたりしないでください。

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、730SCの電源を切ってください。
電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定にご注意ください。
心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

ぬれた手で730SCに触らないでください。
感電、故障の原因となります。

充電用機器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しないでください。
指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

- **急速充電器：AC100V〜240V**

充電器のプラグを、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

充電器は、タコ足配線しないでください。
発熱により火災の原因となります。

充電器のコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っぱったりしないでください。
コードが破損し、火災、感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせないでください。
接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。充電器が発熱したり、発火、感電の原因となります。

急速充電器コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）
ソフトバンクの故障受付窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

雷が鳴りだしたときは
安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。火災、感電、故障の原因となります。

充電器は、乳幼児の手の届かない所で使用、保管してください。
感電、けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。
発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときにはただちに火気から遠ざけてください。
漏液した電解液に引火し、発火、破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときには、730SCから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、730SCの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、730SCを持ち込まない。
- 病棟内では730SCの電源を切る。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、730SCの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養など、医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

⚠注意

730SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつけるところへは置かないでください。露が付き、漏電、焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。外装ケースが変形、変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多いところでは使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損、発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすいところで使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を730SCや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

730SCの取り扱いについて

730SCの温度（発熱）について

730SCを長時間利用すると、730SCが熱くなることがあります。また、730SCを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かないでください。

730SCの外装ケースが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について
音量の設定については、十分に気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のときは
730SCを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受けてください。
下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース（上部）	PC
外装ケース（裏面）	PC
ボタン操作面	PC
充電端子キャップ	PC+ウレタン
イヤホンマイク端子キャップ	PC+ウレタン
電池カバー	PC

充電用機器の取り扱いについて

急速充電器コードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。急速充電器のプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災、感電の原因となることがあります。
- ACコンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

風通しの悪い場所では使用しないでください。

充電器は風通しのよい状態でご使用ください。

布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、外装ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、730SCを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。

けがなどの原因となることがあります。

また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。

発熱、発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。

電池パックの破損や性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となることがあります。

電池パックの充電は、周囲温度5～40℃の場所で行ってください。

この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックをお子様がご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。

また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。

電池パックを初めてご使用の際に、異臭や発熱など、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。

電池パックを使い切った状態で、保管、放置はしないでください。

また、電池パックを長期間保管、放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより730SC本体に登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 730SCは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 730SCを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 730SC は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで730SCを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  730SCは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、730SCを絶対にご使用にならないでください。
- 730SCをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 730SCを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください（電源も入れないでください）。運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、730SCでは次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー
- 730SCを長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 730SCの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 730SCは5～40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 730SCを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないように十分ご注意ください。
- 730SCは精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 730SCのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- 730SCは防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。

- 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
- 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が730SCの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。

● 730SC に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 730SCをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。

● 730SC の充電端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、730SCを傷めることがあります。

● 電池パックを取り外すときは、必ず730SCの電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

730SCに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- S!メール、デコレメール、フィーリングメール、デルモジはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

730SCの比吸収率（SAR）について

730SCの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

730SCのSARは、0.737W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディ SARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「730SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は２W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.412W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

http://www.who.int/emf（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

- Read these safety precautions before using handset.
- Observe all precautions to avoid injury to yourself and others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damage resulting from use of this product.

Before Using Handset

● Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ Danger	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ Warning	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ Caution	Risk of injury or damage to property from improper use

● Symbols


Prohibited Actions


Compulsory Actions


Attention Required

Danger

Handset, Battery, & Charger

Use only specified battery and Charger.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating, or bursting.

Do not short-circuit Charger Port.
Keep metal objects away from the Charger Port. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst, or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

If battery fluid gets into your eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

Prevent injury from battery leakage, breakage, or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in a fire.
- Disassemble, modify, or break battery.
- Damage or solder on to battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use a non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipments.

Warning

Handset, Battery, & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not place metal or flammable objects in handset or Charger. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset and Charger away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.
To prevent fire or explosion, do not use handset near gas or fine particles (Coal, dust, metal, etc.).

Keep handset and Charger away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat, or ignite.

Do not disassemble or modify handset.

- Do not open the housing of handset or Charger; it may cause electric shock or injury. Contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset or Charger. Fire or electric shock may result.

If water or foreign matter gets inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not subject handset to shocks.
Subjecting handset or Charger to shocks may cause malfunction or injury. Should handset break, remove battery and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:
Should there be any unusual sound, smoke, or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug the Charger, and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Fire or electric shock may result.

Keep handset off and Charger disconnected near filling station or places with risk of fire/explosion.
Handset use near petrochemicals or other flammables may lead to fire or explosion.

Handset

Preventing accidents

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (Effective November 1 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Do not turn the volume up so high that ambient sounds cannot be heard, especially when walking in or around traffic to avoid accidents.

Do not swing handset by the strap.
Injury or breakage may result.

Turn handset power off before boarding aircraft.
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Ringtone & Vibration Settings
Select settings carefully if you have a heart condition or wear a pacemaker/defibrillator.

During thunderstorms, turn power off; move to a safe place.
There is a risk of a lightning strike or electric shock.

Do not use handset with wet hands.
Doing so may lead to electric shock or damage to 730SC.

Charger

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- **AC Charger: AC 100V-240V Input**

Do not touch plug blades with wet hands.
Electric shock may occur.

Do not plug multiple cords in one outlet.
Excess heat or fire may occur.

Do not bend, twist, pull, or set objects on the cord. Do not put heavy objects on the cords or heat or pull the cords.

Fire or electric shock may result.

Do not short-circuit Charger Port.

Keep the metal away from Port. Overheating, fire, or electric shock may result.

Do not use AC Charger if the cord is damaged.

Fire or electric shock may be caused. Contact the SoftBank Customer Assistance to replace the cord.

During thunderstorms:

Unplug Charger to avoid damage, fire, or electric shock.

Keep Charger out of the reach of children.

Electric shock or injury may result.

Battery

If battery does not charge properly, stop charging.

Battery may overheat, burst or ignite.

If there is leakage or abnormal odor, keep battery away from fire sources.

It may catch fire or burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration, or distortion, remove battery from handset.

It may leak, overheat, or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/defibrillators should keep handset more than 22 cm away.

Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers/ defibrillators may be near.

Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:

- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult the manufacturer of other electronic medical equipment about radio wave effects.

Caution

Handset, Battery, & Charger

Handset Care

- Place 730SC on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep 730SC away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage, or burnout.
- Keep 730SC away from direct sunlight (Inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration, or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep 730SC out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep 730SC away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using 730SC on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep 730SC away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

730SC temperature

730SC may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.

Avoid leaving 730SC in extreme heat (Inside vehicles, etc.).

Handset may heat up and lead to burns.

Volume settings

Keep handset volume moderate.
Excessive volume may cause damage to your hearing.

Headphones

- Do not unplug by pulling the cord; may damage the cord.
- Keep the plug clean to avoid noise or malfunction.

Inside vehicles:

Handset use may cause other electronic equipment to malfunction.

Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor.

Skin irritation, rashes, or itchiness may result depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (Upper)	PC
Housing (Rear)	PC
Keypad	PC
Charger Cover	PC + Urethane
Ear Cover	PC + Urethane
Battery Cover	PC

Charger

Charger

- Grasp the plug (not the cord) to disconnect Charger. Otherwise, fire or electric shock may result.
- Keep the cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if the plug is hot or improperly connected. Fire or electric shock may result.

Always charge 730SC in a well-ventilated area.

Avoid covering/wrapping Charger; may cause damage or fire.

Disconnect AC Charger during long periods of disuse.

Be sure to unplug AC Charger after use.

Handset Maintenance

When cleaning, disconnect AC Charger to prevent shock or injury.

Battery

Keep battery out of the reach of children.
They may sustain injuries. And when using, do not let them remove battery from handset.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles.
Overheating or fire may occur and performance may be reduced.

Do not expose battery to liquids.
Performance may deteriorate.

If battery fluid makes contact with skin or clothes:
Rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse.
Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a SoftBank shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Do not throw or abuse battery.
Battery may overheat, burst, or ignite.

Charge battery within a range of 5°C - 40°C.
Battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

If a child is using handset, explain all these instructions and supervise handset's usage.

If there is any abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call the SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not leave battery uncharged.
Charge at least once every six months.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft (Keep the power off). Handset use may impair aircraft operation.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5°C - 40°C. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
    - Keep handset away from precipitation.
    - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
    - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
    - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
    - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
    - Do not sit down with handset in a back pocket.
    - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Charger Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.

Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

The software contained in 730SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

730SC meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for 730SC is 0.737 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

* Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.

** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.

*** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For further information, see the following SoftBank website:

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.737 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.412 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

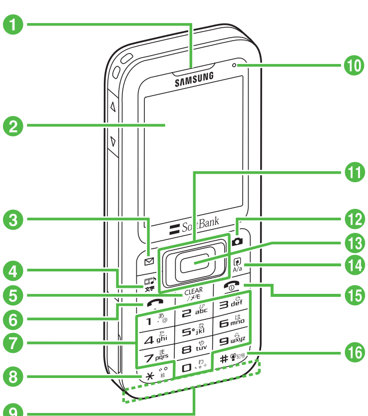
* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

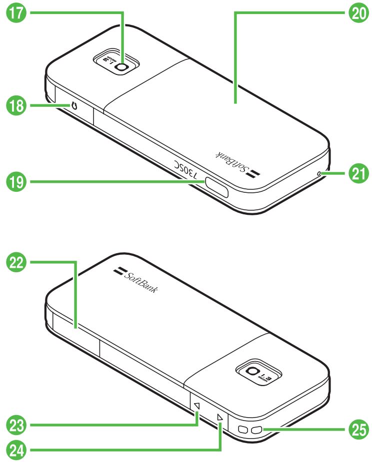
準備／基礎知識

1

各部の名称と機能について

本体





❶ レシーバー（受話口）／スピーカー

❷ ディスプレイ

❸ 左ソフトキー／メールボタン
画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときに使います。

❹ メディアプレイヤー／文字ボタン
メディアプレイヤーの起動や、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

❺ クリア／バックボタン CLEAR/メモ
文字を消去するときや、操作を1つ前の状態に戻すときに使います。

❻ 開始ボタン
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。待受画面で押すと、発信履歴を表示します。

❼ ダイヤルボタン 0～9
電話番号や文字を入力するときに使います。メニューの選択にも使います。

❽ ＊ボタン
絵文字を入力するときなどに使います。モード設定画面の呼び出しにも使います（1秒以上押す）。

❾ 内蔵アンテナ

❿ 着信ライト
着信時や不在着信、メール着信などがあるときに点滅してお知らせします。また、充電中に青色で点灯します。

⑪ マルチファンクションボタン
項目やカーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

⑫ 右ソフトキー／カメラボタン
画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときに使います。カメラの起動にも使います。

⑬ メインメニューボタン／中央ソフトキー
メインメニューを呼び出すときに使います。画面中央下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

⑭ スイッチボタン
スイッチバー（➔P.2-3）を表示します。

⑮ 電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

⑯ #／マナーボタン
記号を入力するときなどに使います。マナーモードの設定や解除にも使います（1秒以上押す）。

⑰ カメラ
撮影するときに使います。

⑱ イヤホンマイク端子
ステレオイヤホンマイク（オプション）を接続する端子です。

⑲ 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

⑳ 電池カバー
電池パックやUSIMカードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

㉑ マイク（送話口）

㉒ 充電端子
急速充電器やパソコンなどを接続する端子です。

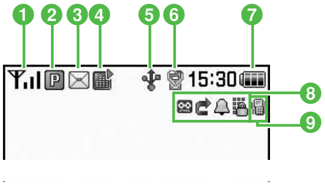
㉓ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を下げます。

㉔ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中などに音量を上げます。

㉕ ストラップ取り付け穴

- **内蔵アンテナ**
730SCは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。

ディスプレイ



❶ 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
Out 圏外（言語選択が「日本語」以外に設定されている場合の表示）
オフラインモード中

❷ 3G網接続中
3G網S!メール送受信中／ネットワーク自動調整中
パケット通信不可状態
音声電話発着信中／通話中

❸ 新着メールあり
空き容量なし（S!メール／SMS）
配信レポート受信中

❹ ミュージック再生中
ミュージック一時停止中

❺ （青）USBケーブル接続中
USB通信中
（灰色）赤外線通信データ送受信中
（赤）赤外線通信接続中

❻ マナーモード中
運転中モード中
会議モード中
アウトドアモード中

❼ 電池が十分残っている
電池の残量が少ない
電池がほとんど残っていない
（点滅）電池残量なし

❽ 留守番電話または音声電話の転送電話「呼出なし」を設定中
簡易留守録設定中
アラーム設定中
未再生の簡易留守録メッセージあり
未再生の留守番電話メッセージあり
誤動作防止設定中
キー操作ロック中
シークレットモード設定表示中

❾ 「音量」の「音声着信」を「Off」以外に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」以外に設定中
「音量」の「音声着信」を「Off」以外に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」に設定中
「音量」の「音声着信」を「Off」に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」以外に設定中
「音量」の「音声着信」を「Off」に、かつ「バイブ」の「音声着信」を「Off」に設定中

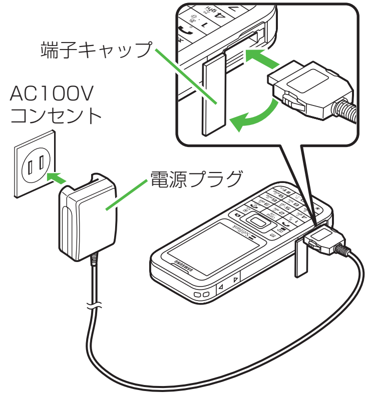
- （赤）が表示されたときは、S!メール送信のみ可能です。通話、S!メールの受信通知およびSMS送受信はできません。

電池パックを充電する

- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は→→のように残量表示が変わり、充電が完了するとが点滅します。電源を切っているときは、充電が開始されるとディスプレイに「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。また、充電中は着信ライトが点灯します。
- 充電にかかる時間は、約150分です。時間は730SCの電源をOFFにした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

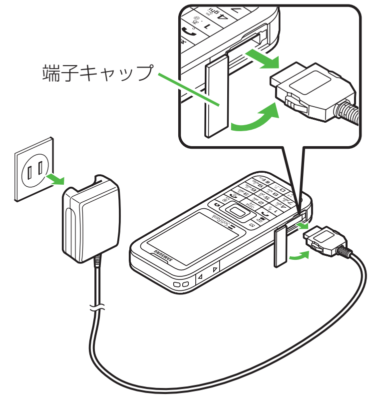
急速充電器を利用して充電する

1 端子キャップを開き、充電端子に接続コネクターを差し込む



2 電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込む

3 充電が終わったら、730SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源コードのプラグをACコンセントから抜く



パソコンのUSBポートを利用して充電する

USBケーブル（オプション品）でパソコンと接続することにより、730SCを充電できます。

1 **730SCの端子キャップを開き、充電端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む**

2 **USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む**

3 **充電が終わったら、730SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのコネクターをUSBポートから抜く**

- 急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

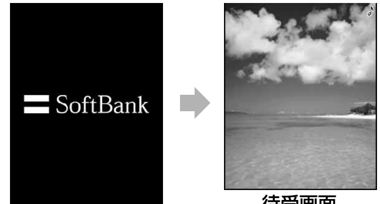
- 電源がOFFの場合は、USBケーブルをパソコンのUSBポートに差し込んだ後に電源ボタンを１秒以上押すと充電を開始します。
- USBケーブルをパソコンのUSBポートに差し込んだときに、ドライバのインストールをうながす画面が表示されたら、次のいずれかの操作を行ってください。
  - 「キャンセル」を選択する。
  - 一度USBケーブルをパソコンから外してパソコンのインターネットでhttp://jp.samsungmobile.com/pc/support/download.htmlに接続し、730SCを選択→「USB Driver Installer」からドライバをダウンロードする。ダウンロードしたファイルを解凍し、「Setup.exe」を実行してドライバをインストールした後、再びUSBケーブルをパソコンのUSBポートに差し込む。

  USBドライバがなくても充電は可能です。USBドライバのインストールが不要な場合は、上記で「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **[☎]（1秒以上）**



待受画面

注意

- **730SCに無理な力を加えないでください。破損の原因になります。**

- お客様の電話番号を確認するには [■] → [□] を押します。オーナー情報の一部としてお客様の電話番号が表示されます。オーナー情報の編集やメニュー操作ができます（➲P.2-17）。
- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます（➲P.10-12）。

- お買い上げ後、初めて[■]、[✉]、[📷]、[文字]などを押してネットワーク接続が必要となる機能を起動すると、ネットワーク自動調整をうながす確認メッセージが表示されます。画面の指示に従い「はい」を選択して設定するか、[■]を押してネットワーク自動調整を行なってください。
  - USIMカードを交換したときや、「オールリセット」を行ったときにも確認メッセージは表示されます。
  - ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールなどネットワークを利用するサービスがお使いいただけます。
  - ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます（➲P.10-20）。
  - 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

使いこなしチェック！

設定

- ネットワーク自動調整を手動で行う（☞P.10-20）

電源を切る

1 [☎]（2秒以上）

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

注意

- **電源を切るときは、必ず[☎]を2秒以上押して正常に終了してください。**

持ち運ぶときのご注意

730SCを持ち運ぶときは、次の点にご注意ください。

- 鞄やポケットなどに入れて持ち運ぶときは、誤動作しないようにボタンをロックすることをおすすめします。
- 電源コードを持ち運ぶときは、プラグを倒してください。また、コードを強く引っぱったり無理にねじったりすると、断線の原因となります。

ボタンをロックする（誤動作防止）

730SCを持ち運ぶときなどに誤動作しないよう、ボタン操作ができないようにします。

誤動作防止の設定は、待受画面を表示中に操作します。

1 [■]（1秒以上）



- 誤動作防止を設定するとディスプレイ上部に[🔒]が表示されます。ボタン操作すると、誤動作防止を解除するためのガイダンスが表示されます。
- 誤動作防止を解除するには、メッセージが表示されている間に[■]を1秒以上押します。
- 「設定」→「一般設定」→「自動キーロック」を「On」に設定すると、ディスプレイが消灯したときに自動的にロックされます（➲P.8-4）。

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能について

730SCには、マナーを守るための2つのモードが用意されています。

- マナーモード
  着信音や警告音などをミュートまたはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。
- オフラインモード
  電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。
  マナーモードやオフラインモード以外でも、着信音や警告音などをバイブレータやミュートに設定することができます。

オフラインモードを設定／解除する

1 [■]→「設定」→「通話設定」→「オフラインモード」



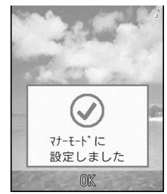
2 「On」／「Off」

- オフラインモード中に電源を切ると、電源を入れ直したときに、オフラインモードを設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。[カメラ]（いいえ）を押すと、通常モードに切り替わります。

マナーモードを設定／解除する

現在設定中のモードからマナーモードに切り替えることができます。[#]を1秒以上押してマナーモードを解除すると、その前に設定していたモードに戻ります。

1 [#]（1秒以上）



- マナーモード中はディスプレイ最上段に[マナーモードアイコン]が表示されます。
- マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

モードを切り替える

マナーモードを含む5種類の中から選択できます。

1 [*] （1秒以上）

2 「通常モード」／「マナーモード」／「運転中モード」／「会議モード」／「アウトドアモード」



モードの種類

モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください（➔P.1-9）。

モード	内　容
通常モード※	730SCから出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナーモード	730SCから音を出さないモード
運転中モード	車の運転中にも使えるモード
会議モード	着信音やボタン確認音が、あらかじめミュートに設定されているモード
アウトドアモード	着信音やボタン確認音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

※ 通常モードのアイコンは、ディスプレイには表示されません。

各モードの設定内容を変更する

各モードの音声電話やメールを受けたときの着信設定を変更できます。

1 [*] （1秒以上）

2 設定したいモードを反転表示→[✉]（編集）

3 各項目の設定操作

■ 着信音の音量を設定するとき

「音量」→設定したい項目を選択→[✥]で音量を調節→[✉]（再生）→[■]（選択）

■ 効果音やボタン確認音の音量を設定するとき

「音量」→「操作音」→[✥]で音量を調節→[■]（選択）

■ 音声電話の着信音を設定するとき

「着信音」→「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉]（再生）→[📷]（選択）

■ 電話以外の着信音を設定するとき

「着信音」→「メール着信」／「着信お知らせ機能」／「配信確認」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉]（再生）→[📷]（選択）

■ 着信鳴動時間を設定するとき

「着信音」→「メール着信」／「着信お知らせ機能」／「配信確認」→「鳴動時間」→時間を入力

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→設定したい項目を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」→[✉]（再生）→[■]（選択）

■ ボタン確認音を設定するとき

「操作音」→「ボタン確認音」→「ブザー」／「グロッシー」／「Off」

■ 効果音を設定するとき

「操作音」→「効果音」→設定したい項目をチェック→[✉]（保存）

■ 着信ライトを設定するとき

「着信ライト」→「着信時ライト」／「通知ライト」→設定したい項目を選択→「On」／「Off」

■ 簡易留守録を設定するとき

「簡易留守録」→「On」／「Off」

- 設定項目の内容は、「各モードの設定内容について」（➔P.1-11）と「効果音の設定項目について」（➔P.1-13）を参照してください。

- 「着信音調節機能」が「On」の場合、音声電話の着信音量が大きな音で設定されていても、レベル1の音量で2秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。
- 着信中に音量を調節するには、着信中に[▲]／[▼]を押します。
- 着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「音量」を「Off」にし、「バイブ」を「Off」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに[ミュート]が表示されます。
- 「設定」の「音・バイブ・着信ライト設定」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更できません。
- 「マナーモード設定」では、「モード設定」の「マナーモード」の設定内容を変更できます。

各モードの設定内容について

モードによって、設定できない項目があります。お買い上げ時には次のように設定されています。

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
音量						
	音声着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	メール着信	レベル3	－	－	Off	レベル5
	着信お知らせ機能	レベル3	－	－	Off	レベル5
	配信確認	レベル3	－	－	Off	レベル5
	操作音	レベル3	－	－	Off	レベル5
着信音（上段：着信音選択、下段：鳴動時間）						
	音声着信	Samsung Tune.mp4 （設定なし）	－	－	Samsung Tune.mp4 （設定なし）	Samsung Tune.mp4 （設定なし）
	メール着信	Samsung Tune.mp4 5秒	－	－	Samsung Tune.mp4 5秒	Samsung Tune.mp4 5秒
	着信お知らせ機能	BusinessTone.mp4 5秒	－	－	BusinessTone.mp4 5秒	BusinessTone.mp4 5秒
	配信確認	BusinessTone.mp4 5秒	－	－	BusinessTone.mp4 5秒	BusinessTone.mp4 5秒
バイブ						
	音声着信	Off	パターン1	－	Off	Off
	メール着信	Off	パターン1	－	Off	Off
	着信お知らせ機能	Off	パターン1	－	Off	Off
	配信確認	Off	パターン1	－	Off	Off

設定項目＼モード			通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
操作音／効果音[1]							
	ボタン確認音		Off	－	－	Off	Off
	効果音		個別設定On	通話中イベント通知	－	通話中イベント通知	個別設定On
着信ライト							
	着信時ライト						
		音声着信	On	On	On	On	On
		メール着信	On	On	On	On	On
		着信お知らせ機能	On	On	On	On	On
		配信確認	Off	Off	Off	Off	Off
	通知ライト						
		不在着信	On	On	On	On	On
		メール着信	On	On	On	On	On
		簡易留守録	On	On	On	On	On
		着信お知らせ機能	On	On	On	On	On
		アラーム	On	On	On	On	On
		配信確認	On	On	On	On	On
簡易留守録			Off	On	—[2]	Off	Off

1 マナーモードでは、「効果音」の設定となります。「操作音」設定はありません。
2「運転中モード」に設定すると、自動的に簡易留守録が「On」に設定されます。

効果音の設定項目について

モードによって、設定できない項目があります。これらの音量は、「操作音」の音量の設定に従います。

設定項目	内　容
全チェック／全解除	効果音の項目すべてをチェックあり、またはチェックなしにします。
ポップアップ音	確認や警告のメッセージが表示されたときに音が鳴ります。
通話時間通知（毎分）	通話中に約1分たつごとに音が鳴ります。
呼び出し開始音	電話をかけたとき、相手の着信音が鳴る前に、電話が接続され、これから相手を呼び出すことをお知らせする音が鳴ります。
通話終了音	通話終了時に音が鳴ります。
電源On	電源を入れたときに音が鳴ります。
電源Off	電源を切るときに音が鳴ります。
通話中イベント通知	通話中にアラームの設定時刻になったときやメールを受信したときに音が鳴ります。

使いこなしチェック！

設定

- 音量を設定する（☞P.10-9）
- 音声通話の着信音を設定する（☞P.10-9）
- 電話以外の着信音を設定する（☞P.10-9）
- 電話以外の着信鳴動時間を設定する（☞P.10-9）
- バイブレータを設定する（☞P.10-10）
- ボタン確認音を設定する（☞P.10-10）
- 効果音を設定する（☞P.10-10）
- 受信中に照明の点滅でお知らせする（☞P.10-10）
- 不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする（☞P.10-10）
- 簡易留守録を設定する（☞P.10-10）
- オフラインモードを設定する（☞P.10-18）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.10-19）
- モードを切り替える（☞P.10-19）

暗証番号について

730SCのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。730SCの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、730SCの操作で変更できます（➔P.8-2）。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。ご契約内容の変更や、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。730SCで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.11-25）までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、730SCの操作で変更できます（➲P.3-14）。

注意

- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.11-25）までご連絡ください。**
- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。
730SCで発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のようになります。

730SCの状態	緊急電話発信
オフラインモード中（➲P.1-8）	不可
通話料金上限を超過したとき	「110」「119」「118」可
電源On時ロック中（➲P.8-4）	不可
キー操作ロック中（➲P.8-4）	「110」「119」「118」可
PIN認証（➲P.8-2）で、未認証のとき	不可
USIM照合（➲P.8-3）で、未認証のとき	不可
発信規制中（➲P.3-13）	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、730SCから緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

730SCでは受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

共通機能／操作

2

機能の呼び出しかた

メインメニューから機能を呼び出す

1 待受中に■



メインメニュー画面

2 目的の項目を反転表示→■（選択）

3 操作 ❷ を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「設定」から「ディスプレイ設定」を選択し、「壁紙」を選択する場合



「設定」を反転表示→■（選択）



「ディスプレイ設定」を反転表示→■（選択）



「壁紙」を反転表示→■（選択）



壁紙の設定画面が表示される

- メニュー操作を終了するには、☎を押します。メニュー操作を終了し、待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中のほかの機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、☎を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、項目を選択できます。

待受中にショートカットキーで機能を呼び出す

ボタン	呼び出される画面
✉	メールメニュー
✉（1秒以上）	メールの作成画面
📷	カメラの起動
📷（1秒以上）	カメラメニュー
A/a	スイッチバー
📅	カレンダー
📖	電話帳の検索画面
📖（1秒以上）	電話帳の登録画面
▶□	着信履歴
□◀／☎	発信履歴
CLEAR/メモ	録音メッセージの再生画面
CLEAR/メモ（1秒以上）	簡易留守録の設定／解除
＊（1秒以上）	モード設定画面
＃（1秒以上）	マナーモードの設定／解除
文字	メディアプレイヤーの音楽再生画面

スイッチバーで機能を呼び出す

「発信」「メール」「メディアプレイヤー」を呼び出すことができます。スイッチバーを使うと、音楽を聴きながらメールを作成するなど、複数の機能を切り替えながら利用できます。

1 待受中または操作中に A/a

2 ▶□◀で目的の機能を反転表示→■（選択）



- 起動中の機能を 1 つ終了するときは、終了する機能の画面を表示中に☎を押します。
- 起動中の機能をすべて終了するときは、☒を反転表示して■（はい）を押します。

- 起動中の機能をすべて終了するときに、機能によっては終了するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。確認メッセージが表示されたときは、「はい」または「いいえ」を選択して終了します。
- メール作成中に他の機能を起動し、起動中の機能をすべて終了すると、他の機能を終了してメール作成画面に戻ります。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-23

共通の操作について

メニューを呼び出す

画面の右下に「メニュー」と表示されているときに[📷]を押すと、メニューが表示されます。
メニューを実行するには、目的の項目を反転表示して[■]（選択）を押します。

複数の項目をまとめて選択／選択解除する

削除や移動など複数の項目を選択するときに、すべての項目をチェック／チェックを外すには[📷]（全チェック）／[📷]（全解除）を押します。

- 機能により、行える操作が異なります。
- 複数削除する場合にすべての項目をチェックしたときは、全件削除と同様に操作用暗証番号の入力が必要になります。

待受画面を設定する

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画などを設定できます。静止画を表示しないように設定することもできます。

1 [■]→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」



2 壁紙の設定操作

■ データフォルダの画像を設定するとき
ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[■]（設定）

■ 表示しないように設定するとき
「なし」

使いこなしチェック！

設定

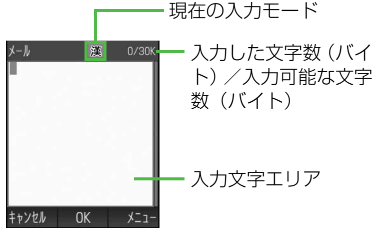
- ディスプレイの壁紙の設定を変更する（☞P.10-11）
- メニュースタイルを設定する（☞P.10-11）
- 待受画面に表示する情報を設定する（☞P.10-11）
- メニューリストのメニュー文字サイズを変更する（☞P.10-11）
- ディスプレイの明るさを調整する（☞P.10-11）
- 待受中にダイヤル入力したときの文字タイプを設定する（☞P.10-12）
- 待受中にダイヤル入力したときの文字サイズを設定する（☞P.10-12）
- 待受中にダイヤル入力したときの文字色を設定する（☞P.10-12）
- 待受中にダイヤル入力したときの背景色を設定する（☞P.10-12）
- 事業者名の表示設定をする（☞P.10-12）
- ディスプレイの表示言語を切り替える（☞P.10-13）
- タイムゾーンの更新の設定をする（☞P.10-13）
- タイムゾーンを変更する（☞P.10-13）
- サマータイムを設定する（☞P.10-13）
- 時刻を設定する（☞P.10-13）
- 「AM」／「PM」を設定する（☞P.10-13）

● 日付を設定する（☞P.10-13）
● 時刻の表示形式を変更する（☞P.10-13）
● 日付の表示形式を変更する（☞P.10-13）

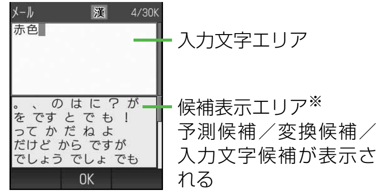
文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

文字入力画面の見かた



表示	入力モード	表示	入力モード
漢	漢字／かな	※	全角記号
カ	全角カタカナ	#@	半角記号
ｶﾅ	半角カタカナ	絵	絵文字
A	全角英字	顔	顔文字
Ab	半角英字	韓	ハングル
1	全角数字	a	全角英字(小文字)
12	半角数字	ab	半角英字(小文字)



※ 候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでは✉（変換）や📷（英数カナ）で文字を変換したときに表示されます。

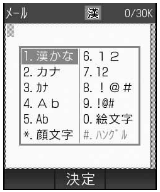
- 文字の入力中や編集中に音声電話がかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。
- 日時設定の日付欄やアラームの時刻欄など数字しか入力できない場合は、文字入力画面には切り替わりません。登録、設定画面の入力欄に数字を直接入力します。

入力モードを切り替える

使用できる入力モードは、状況によって制限されます。

1 文字入力画面で[文字]

2 切り替えたい入力モードを選択



- 文字入力画面で[#]を押すと記号、[*]を押すと絵文字、顔文字に切り替わります。

文字の入力方法について

ひらがな／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。
ここでは例として、「鈴木」と入力します。

1 文字入力画面で[文字]

2 「漢かな」

3 [3] （3回）

- 「す」と入力されます。

4 [▶]→[3] （3回）→[*]

- 「ず」と入力されます。

5 [2] （2回）

- 「き」と入力されます。

6 [▼]



7 予測候補から「鈴木」を反転表示→[■]（決定）

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、[*]を押します。
- 「っ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするひらがなを入力したあと、[A/a]を押します。
- ボタンを押し間違えた場合は[CLEAR/メモ]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は[終話]を押して、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、[▶]を押してカーソルを右に移動します。

- ひらがなで決定する場合は、[■]（決定）を押します。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、[✉]（変換）→必要に応じて[◀▶]で変換する範囲を変更→[▼]でカーソルを候補表示エリアに移動→目的の変換候補を反転表示→[■]（決定）→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに[✉]（変換）を押すと変換候補が、変換候補が表示されているときに[✉]（予測）を押すと予測候補が表示されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

1 文字入力画面で[文字]

2 入力モードを選択

3 文字を入力

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、[＊]を押します。
- カタカナの大文字／小文字を切り替える場合は、カタカナを入力したあと、[A/a]を押します。
- 英字入力モードで[A/a]を押すと、入力モードが[a]／[ab]に替わります。[a]／[ab]のときは全角英字（小文字）／半角英字（小文字）を続けて入力できます。英字の大文字／小文字を切り替える場合は、英字を入力したあと、[A/a]を押します。
- ボタンを押し間違えた場合は[CLEAR/メモ]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は[終話]を押して、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。

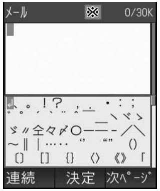
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、[▶]を押してカーソルを右に移動します。
- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[📷]（英数カナ）を押すとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して[📷]（英数カナ）を押すと、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。

記号を入力する

1 文字入力画面で[#記号]

- 入力したい記号が表示されるまで[#記号]／[📷]（次ページ）を押します。

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→[■]（決定）



- 記号を続けて入力するときは、[■]（決定）の代わりに[✉]（連続）を押します。

- 全角記号を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの記号の前に履歴が表示されます。[#記号]を押すごとに、全角記号の履歴→全角記号→半角記号の順で候補が表示されます。ただし、入力モードが半角カタカナ、半角英字、半角数字、ハングルの場合は、候補の表示は全角記号の履歴→半角記号→全角記号の順になります。
- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[✉]（変換）を押すと記号に変換できます。例として、「てん」と入力して[✉]（変換）を押すと、記号の「・」や「･･･」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

1 文字入力画面で[＊絵]

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→[■]（決定）



- 絵文字または顔文字を続けて入力するときは、[■]（決定）の代わりに[✉]（連続）を押します。

- 絵文字を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの絵文字の前に履歴が表示されます。[＊絵]を押すごとに、絵文字の履歴→絵文字→顔文字の順で候補が表示されます。
- 漢字／かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して[✉]（変換）を押すと、絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で[#記号]

2 改行記号を選び[■]（決定）



- 文末で[▼]を押しても改行できます。

- 入力画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

ハングル入力する

1 **文字入力画面で[文字]→「ハングル」**



2 **文字を入力**

- 画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	[4] （1回押す）
ㅋ	[4] （2回押す）
ㄲ	[4] （3回押す）
母音の入力例	
아	[0][1] （ㅣ）、[2] （・）
어	[0][2] （・）、[1] （ㅣ）
오	[0][2] （・）、[3] （ー）
야	[0][1][2][2]
여	[0][2][2][1]
요	[0][2][2][3]
왜	[0][2] （・）、[3] （ー）、[1] （ㅣ）、[2] （・）、[1] （ㅣ）

- S! メールでは受信したメールのハングルを表示できますが、S! メールの入力画面でハングルを入力することはできません。

文字を消去／編集する

1 **消去する文字に[方向キー]でカーソルを合わせ[CLEAR/メモ]**

- カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が消去されます。
- カーソル以降の文字をすべて消去するには、[CLEAR/メモ]を1秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-23

- 定型文を削除したい
- 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい
- コピー／カットした文字を貼り付けたい
- 文字をもとに戻したい
- カーソルを先頭／最後に移動したい

設定

- 文字入力画面の文字サイズを変更する（☞P.10-11）
- 文字入力履歴をリセットする（☞P.10-14）

ユーザ辞書を利用する

よく使う単語や文（最大20文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

1 **[■]→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「新規登録」**

2 **語句欄を選択→単語や文を入力**

3 **読み欄を選択→文字を入力**



4 **[✉]（保存）**

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1 **文字入力画面で[📷]→「ユーザ辞書登録」**

2 **登録する文字の先頭に[✜]でカーソルを合わせ[■]（始点）**

- ユーザ辞書のメニューを表示して登録済みの内容を確認するときは、[📷]（ユーザ辞書）を押します。

3 **[✜]で範囲を指定→[■]（終点）**



4 **読み欄を選択→文字を入力**

5 **[✉]（保存）**

- 改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。
- 操作2で[📷]（ユーザ辞書）を押して「辞書編集」を選択すると、現在登録されている単語の一覧が表示されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-24
- ユーザ辞書の登録時に予測入力機能を設定／解除したい

設定
- ユーザ辞書を登録する（☞P.10-14）
- ユーザ辞書の登録内容を編集する（☞P.10-14）
- ユーザ辞書の登録内容を削除する（☞P.10-14）
- 文字入力履歴をリセットする（☞P.10-14）

電話帳について

電話帳に登録できる項目について

730SC本体には最大1,000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、ほかのソフトバンク携帯電話でも利用できます。
1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項目／内容		登　録
名前／姓		
	全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	730SC本体：○（50バイトまで）
		USIMカード：○[2]
名前／名		
	全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	730SC本体：○（50バイトまで）
		USIMカード：○[2]
ヨミガナ／姓		
	半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	730SC本体：○（50バイトまで）
		USIMカード：○[2]
ヨミガナ／名		
	半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	730SC本体：○（50バイトまで）
		USIMカード：○[2]
電話番号		
	市外局番も含めて登録	730SC本体：○（32バイトまでで5件）
		USIMカード：○[1,2]
電話番号アイコン		
	7種類から選択	730SC本体：○
		USIMカード：×（1種類のみ）
Eメールアドレス		
	半角英数字	730SC本体：○（128バイトまでで5件）
		USIMカード：○[2]（1件）
Eメールアドレスアイコン		
	4種類から選択	730SC本体：○
		USIMカード：×（1種類のみ）
フォト		
	音声電話の着信時に表示させる静止画。データフォルダからの選択やカメラでの撮影が可能	730SC本体：○
		USIMカード：×
着信音		
	音声電話／メールの着信音。データフォルダからの選択が可能	730SC本体：○
		USIMカード：×
バイブ		
	音声電話／メールのバイブレータを設定	730SC本体：○
		USIMカード：×
グループ		
	21個の中から選択	730SC本体：○
		USIMカード：○[1]
シークレットモード		
	On/Off	730SC本体：○
		USIMカード：×

項目／内容		登録
誕生日		
	生年月日	730SC本体：○
		USIMカード：×
血液型		
	4種類から選択	730SC本体：○
		USIMカード：×
趣味		
	100バイトまで	730SC本体：○
		USIMカード：×
会社		
	64バイトまで	730SC本体：○
		USIMカード：×
役職		
	64バイトまで	730SC本体：○
		USIMカード：×
住所		
	郵便番号は40バイトまで、国名は64バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は128バイトまで	730SC本体：○ (2件)
		USIMカード：×

項目／内容		登録
ホームページ		
	1024バイトまで	730SC本体：○ (2件)
		USIMカード：×
ホームページアイコン		
	3種類から選択	730SC本体：○
		USIMカード：×
メモ		
	512バイトまで	730SC本体：○
		USIMカード：×

1 登録できる件数は、USIMカードの種類によって異なります。
2 登録できる文字数は、USIMカードの種類によって異なります。

- 電話帳が登録されている別のUSIMカードに差し替えた場合、差し替えて初めて電話帳を利用するときに、USIMカードの電話帳の内容を730SC本体にコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーが開始されます。

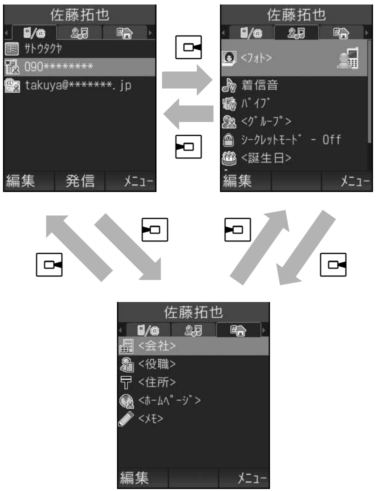
注意

- **大切なデータを失わないために**
  電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の各項目のタブを切り替える

730SC本体の電話帳の各項目は、3つのタブに分かれています。タブを切り替えることで情報を確認することができます。

1. →電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→で各項目のタブを切り替え



電話帳に登録する

お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」になっていますが、あらかじめ設定するとUSIMカードを常に保存先に指定することもできます（➲P.10-9）。



電話帳の登録画面

ここでは例として、730SC本体に姓名、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」（➲P.2-25）を参照してください。

1. →（新規）
2. 名前／姓欄を選択→名字を入力
3. 名前／名欄を選択→名前を入力
4. ヨミガナ／姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集
5. ヨミガナ／名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集
6. 電話番号欄を選択→電話番号を入力→アイコンを選択
7. Eメールアドレス欄を選択→Eメールアドレスを入力→アイコンを選択
8. （保存）

- **電話番号欄に入力できる内容は**
  電話番号には、0～9の数字のほか、#、*、-、P（ポーズ）、+（国際コード）を登録できます。*、-、Pは を押すごとに切り替わります。「+」を入力するには、 を1秒以上押します。

2

共通機能／操作

通話履歴から登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1. （着信履歴）／（発信履歴）
2. 登録したい履歴を反転表示→→「電話帳登録」
3. 登録方法の選択操作
   - ■ 新しい電話帳に登録するとき
     「新規」
   - ■ 既存の電話帳に追加登録するとき
     「更新」→電話番号を登録する電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）
4. 各項目を登録するには、「電話帳に登録する」の操作2～8（➔P.2-13）を行う

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-25

- 電話帳にEメールアドレスやURLを登録するときに簡単に入力したい
- 電話帳からメールを作成したい
- 電話帳からスピードダイヤルに追加したい
- USIMカードのグループを作成したい
- グループにメンバーを追加したい
- グループからメンバーを削除したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 電話帳をvファイルに変換して送信したい
- vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 730SC本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい
- 登録内容をコピーしたい
- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい
- USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- メモリ使用状況を確認したい
- 電話番号を入力してから登録したい
- グループ名を編集したい

設定

- 優先的に登録される電話帳を変更する（☞P.10-9）
- 優先的に表示される電話帳（730SC本体／USIMカード）を変更する（☞P.10-9）
- 電話帳の検索方法を切り替える（☞P.10-9）
- 電話帳のバックアップをとる（☞P.10-9）
- 電話帳の文字サイズを変更する（☞P.10-9）
- 電話帳のメニュー文字サイズを変更する（☞P.10-11）
- スピード検索の設定をする（☞P.10-14）

電話帳から電話をかける

電話帳を検索する

ここでは例として、あかさたなで検索します。

1

2 で目的の行に切り替え



電話帳の一覧画面

- 一覧画面で→「設定」→「検索方法」を選択することで、電話帳の検索方法を変更できます。変更した設定は保存されます。
- カナ欄に名前（先頭の一部でもよい）を入力しても検索することができます。

3 で表示された一覧から目的の電話帳を確認

- 詳細画面を表示するときは、[■]（詳細／選択）を押します。

- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面でを押して「シークレット一時解除」を選択し、一時的にシークレットモード設定を表示してください。

電話帳の検索方法を切り替える

待受画面でを押したとき、指定した検索画面を表示するように設定できます。

1 →→「設定」→「検索方法」

2 「あかさたな」／「ヨミガナ」／「グループ」

- 「あかさたな」に設定した場合は、待受画面でを押すと一覧画面が表示されます。それ以外の項目に設定した場合は、設定した検索画面が表示されます。
- 「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面でを押して「シークレット一時解除」を選択し、一時的にシークレットモード設定を表示してください。

電話帳から電話をかける

1 →一覧画面で目的の電話帳を反転表示→[■]（詳細）→目的の電話番号を反転表示



電話帳の詳細画面

2 電話の発信操作

■ **音声電話をかけるとき**

[■]（発信）→「音声発信」

■ **国際電話をかけるとき**

[■]（発信）→「国際発信」

（➔P.3-15 日本から国際電話をかけたい）

- 一覧画面で目的の電話帳を反転表示して[カメラ]を押し、「発信」を選択後に「音声発信」/「国際発信」を選択してもかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、「優先電話番号設定」で設定されている電話番号（未設定の場合は1件目の電話番号）に発信します。電話番号の選択画面が表示されたとき（「優先電話番号設定」が「設定なし」の場合）は、電話番号を選択してください。
- **スピード検索と検索結果からの発信**
「スピード検索設定」（➔P.10-14）を「On」に設定しているときは、ダイヤルボタンの数字を押すと、その数字に割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話番号を反転表示して[発信]または[■]（選択）を押したあと[■]（発信）を押すと音声電話をかけることができます。
- **電話番号検索と検索結果からの発信**
4桁の数字を入力すると、その番号を先頭または末尾にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。「スピード検索設定」を「On」に設定していて、該当する電話帳が検索されたときは、[左右]を押すと電話番号検索とスピード検索の検索結果を切り替えることができます。電話番号を反転表示して[発信]または[■]（選択）を押したあと[■]（発信）を押すと音声電話をかけることができます。

電話帳を削除する

電話帳を1件削除する

1. [電話帳]→削除したい電話帳を一覧画面で反転表示
2. [カメラ]→「削除」→「1件」→「はい」

- 詳細画面から削除するときは、操作1のあと、[■]（詳細）→[カメラ]→「削除」→「はい」を選択します。

電話帳を複数削除する

1. [電話帳]
2. [カメラ]→「削除」→「複数」
3. 削除したい電話帳をチェック
4. [メール]（削除）→「はい」

電話帳をすべて削除する

730SC本体またはUSIMカードに保存されている電話帳をまとめて削除できます。

1. [電話帳]
2. [カメラ]→「削除」→「全件」
3. 操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

オーナー情報について

ご使用のUSIMカードに登録されている電話番号を確認できます。ご自分の名前やEメールアドレス、住所なども登録できます。

1 ■→□



- 待受画面で■を押し、「電話帳」→「オーナー情報」を選択しても同じ操作を行うことができます。

使いこなしチェック！

便利☞P.2-29

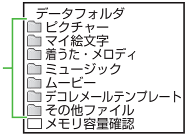
- オーナー情報をvファイルに変換して送信したい
- オーナー情報をリセットしたい
- vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい
- オーナー情報の項目をコピーしたい

データフォルダについて

データフォルダは、いろいろなデータを一括管理する機能です。

データフォルダの構成について

あらかじめ7個の種別フォルダが用意されています。各機能でデータを作成したり、赤外線やメールでデータを入手すると、ファイル形式に応じた種別フォルダに保存されます（下記参照）。
あらかじめ用意されている種別フォルダ内にサブフォルダを作成することもできます。



フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ピクチャー	
730SCで撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
マイ絵文字	
赤外線やメールで受信した絵文字を保存	GIF、GPK
着うた・メロディ	
赤外線やメールで受信したメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF、MIDI、SMF、Mobile XMF、MPEG4 Audio、AMR
ミュージック	
赤外線やメールで受信した着うたフル®を保存	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp）、smc
ムービー	
730SCで撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4（mp4、3gp）、H.263

フォルダ／概要		ファイル形式[1]
デコレメールテンプレート		
	S!メールで作成したテンプレート	HMT
その他ファイル		
	vファイル[2]などを保存	vCard、vCalendar、EML、非サポートファイル

1 ファイル形式に応じて振り分けられます。対応していないファイルは、フォルダ間の移動や保存ができません。
2 730SCでは、電話帳の情報を交換するためのvCard（拡張子：vcf）、スケジュール／予定リストの情報を交換するためのvCalendar（拡張子：vcs）のファイル形式を利用できます。

- 1件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大999件保存できます。
- 「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。「設定」からも同じ操作を行うことができます（➲P.2-22）。

ファイルを確認する

1 ■→「データフォルダ」

2 ファイルの保存場所を選択

3 一覧画面でファイルを反転表示→■（表示／再生／選択／起動）

- ファイルの一覧に表示されるアイコン
  - ：転送不可
  - ：転送不可かつ利用不可
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツキー無効）
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツキー無効）
  - ：保護あり
  - ：壁紙の設定あり（➲P.2-31）
  - ：着信音の設定あり（➲P.2-31）

- **データフォルダからのカメラ／ボイスレコーダー起動**
  「ピクチャー」フォルダを反転表示するか、「ピクチャー」フォルダ内の画像ファイルを反転表示して📷を押し、「カメラ起動」を選択すると、静止画撮影モードのカメラが起動します。同様に、「ムービー」フォルダを反転表示するか、「ムービー」フォルダ内の動画ファイルを反転表示して📷を押し、「ビデオカメラ起動」を選択すると、動画撮影モードのカメラが起動します。
  「着うた・メロディ」フォルダを反転表示するか、「着うた・メロディ」フォルダ内の音声ファイルを反転表示して📷を押し、「ボイスレコーダー起動」を選択したときは、ボイスレコーダーが起動します。

注意

- **JPEGファイルのズームおよび着信画像の設定は、ファイルサイズが3Mバイト以下かつ解像度が5000×5000以下の場合のみ可能です。JPEGファイル以外のファイルのズームは、3Mバイト以下かつ1600×1600以下の場合のみ可能です。**

ピクチャーブラウザで画像ファイルを確認する

静止画は、標準表示／全画面表示で確認できます。横長の静止画は、全画面表示にすると自動的に回転し、大きく表示されます。



標準表示


全画面表示

1 [■]→「データフォルダ」

2 「ピクチャー」

3 一覧画面でファイルを反転表示→[■]（表示）

- 全画面表示で確認するには[■]（全画面）を押します。もとの表示に戻るときには[CLEAR/メモ]を押します。

4 [◀▶]で画像を移動

- データによっては、表示されない場合があります。

ピクチャーブラウザの画像を並べ替える

ピクチャーブラウザに表示される画像の並びかたを選択できます。

- フォルダ別（保存したフォルダごとに表示）
- 構図別（画像の構図ごとに表示）
- カラー別（画像全体の色ごとに表示）
- 日付別（撮影した日付順に表示）

1 ファイルの確認操作（➔ピクチャーブラウザで画像ファイルを確認する）

2 [▲▼]で並びかたを選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-29

- 画像を自動的に切り替えながら確認したい
- ファイルやフォルダの詳細を確認したい

ファイル／フォルダの管理

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。

自分で作成したサブフォルダに「シークレット設定」を設定すると、非表示にできます。

1 [■]→「データフォルダ」

2 サブフォルダを作成したい種別フォルダを選択

3 [カメラ]→「データ管理」→「フォルダ作成」

4 名前を入力

- サブフォルダの中にサブフォルダを作成することはできません。
- セキュリティ設定のシークレットデータフォルダを「表示する」にすると、「シークレット設定」を設定しているフォルダが表示されます。

ファイル名／フォルダ名を編集する

1. ■→「データフォルダ」
2. 種別フォルダを選択→名前を編集したいファイル／サブフォルダを反転表示
3. 📷→「データ管理」→「ファイル名変更」／「フォルダ名変更」
4. 名前を入力
   - デコレメールテンプレートの名前を変更するときは、「テンプレート名変更」を選択して名前を入力します。

- ファイルが保護されていると、ファイル名を編集できません。

ファイル／フォルダを移動する

1. ■→「データフォルダ」
2. 種別フォルダを選択→移動したいファイル／サブフォルダを反転表示
3. 📷→「移動」
4. ファイル／フォルダの移動操作

   ■ 1件移動するとき
   「1件」

   ■ 複数移動するとき
   「複数」→移動したいファイル／サブフォルダをチェック→✉（移動）

   ■ 同一フォルダ内のすべてのファイル／すべてのサブフォルダを移動するとき
   「全件」
5. 移動先のフォルダを選択→「ここに移動」

- ファイルが保護されていると、移動できません。
- 移動先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは、移動するファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

注意

- **730SCで赤外線受信したファイルは、他の携帯電話に移動したときや730SCに異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。**

ファイル／フォルダをコピーする

コピーを作成して、別のフォルダ内またはフォルダの外に貼り付けることができます。

1 ■→「データフォルダ」→種別フォルダを選択

2 コピーしたいファイル／フォルダを反転表示→📷→「コピー」

3 ファイル／フォルダのコピー操作

■ **1件コピーするとき**
「1件」

■ **複数コピーするとき**
「複数」→コピーしたいファイル／フォルダをチェック→✉（コピー）

■ **同一フォルダ内のすべてのファイル／すべてのフォルダをコピーするとき**
「全件」

4 コピー先のフォルダを選択→「ここにコピー」

- ファイル／フォルダのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると、貼り付けたファイルまたはフォルダに、自動的に「_001」などが付き、別名で保存されます。
- 貼り付け先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは貼り付けるファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

注意

- **転送不可のファイルはコピーできません。**

ファイル／フォルダを削除する

ファイルを削除する

1 ■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 一覧画面で削除したいファイルを反転表示→📷→「削除」

3 ファイルの削除操作

■ **1件削除するとき**
「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
「複数」→削除したいファイルをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **同一フォルダ内のすべてのファイルを削除するとき**
「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- 壁紙や着信音などの設定や、保護を設定しているファイルを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。複数または全件削除するときは、「いいえ」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。

自分で作成したサブフォルダを削除する

1 ■→「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択→削除したい自分で作成したサブフォルダを反転表示→📷→「削除」

3 操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

- サブフォルダにファイルが保存されているときのみ、操作用暗証番号を入力します。

- 壁紙や着信音などの設定や保護を設定しているファイルがフォルダ内に含まれているときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。「いいえ」を選択すると、設定や保護のないファイルのみが削除され、フォルダは削除されません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-30

- ファイルを送信したい
- フォルダの一覧画面の表示方法を切り替えたい
- ファイルを並べ替えたい
- シークレット設定を一時的に解除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- ボイスレコーダーを起動したい
- ファイルの保護／保護を解除したい
- サブフォルダにシークレット設定をしたい

メモリ容量を確認する

次の情報を確認できます。

- 共有メモリの空き状況
- SMS および S! メールのメールボックスの使用状況
- データフォルダのメモリ使用状況
- カレンダーの種別の登録状況の確認
- 電話帳（730SC本体およびUSIMカード）の登録状況

1 ■→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」



2 確認する項目の選択操作

■ 共有メモリを確認するとき
「共有メモリ」

■ メールの容量を確認するとき

「メール」

- メールのサイズ容量が表示されます（メール（サイズ）画面）。
- メールの件数容量を確認したいときは、メール（サイズ）画面で［カメラ］（件数）を押します（メール（件数）画面）。
- USIMカード内に保存したSMSの件数は、メール（件数）画面でのみ確認できます。

■ データフォルダの容量を確認するとき

「データフォルダ」

■ カレンダーの容量を確認するとき

「カレンダー」

■ 電話帳を確認するとき

「電話帳」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-32

設定

- 730SC本体のメモリの詳細情報を確認する（☞P.10-20）
- 730SC本体のメモリを消去する（☞P.10-20）
- メモリ容量を確認する（☞P.10-20）

便利

共通機能／操作に関する便利な機能

メインメニューを設定したい

［■］→［メール］（スタイル）→［方向キー］で設定したい色を選択

- メニュー画面の表示タイプを変更できます。

便利

文字入力に関する便利な機能

日付や時刻を入力したい

文字入力画面で漢字／かな入力モードにし、数字が割り当てられているボタンを押してひらがなを入力→［カメラ］（英数カナ）→日付や時刻の変換候補を反転表示→［■］（決定）

全角の記号と半角の記号を切り替えたい

文字入力画面で、全角／半角記号の候補表示エリアの表示中に［#記号］

よく使う文を定型文に登録したい

［メール］→「テンプレート」→「定型文」

■ 1件も登録されていないとき

［メール］（新規追加）→文を入力

■ すでに登録されているとき

［カメラ］→「新規追加」→文を入力

- 定型文は、最大70文字まで登録できます。

定型文を編集したい

［メール］→「テンプレート」→「定型文」→編集したい内容を反転表示→［■］（編集）→文を編集

定型文を削除したい [削除]

[✉]→「テンプレート」→「定型文」

■ **1件削除するとき**
削除したい定型文を反転表示→[📷]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
[📷]→「削除」→「複数」→削除したい定型文をチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[📷]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい [コピー]／[カット]

文字入力画面で[📷]→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字に[✜]でカーソルを合わせ[■]（始点）→[✜]で範囲を指定→[■]（終点）

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、[📷]（全て）を押します。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい [貼り付け]

文字入力画面で文字を貼り付ける位置に[✜]でカーソルを移動→[📷]→「貼り付け」

文字をもとに戻したい [元に戻す]

文字入力画面で[📷]→「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作をもとに戻すことができます。変換した文字をもとに戻すこともできます。

カーソルを先頭／最後に移動したい [カーソル移動]

文字入力画面で[📷]→「カーソル移動」→項目を選択

便利

ユーザ辞書に関する便利な機能

ユーザ辞書の登録内容を削除したい

[■]→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」

■ **1件削除するとき**
削除したいユーザ辞書を反転表示→[📷]→「削除」

■ **すべて削除するとき**
[📷]→「全削除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

ユーザ辞書の登録時に予測入力機能を設定／解除したい [予測入力 On]／[予測入力 Off]

ユーザ辞書の語句入力画面で[📷]→「予測入力 On」／「予測入力 Off」

便利

電話帳に関する便利な機能

電話帳に情報を登録したい

▣→✉（新規）

■ **グループを登録するとき**
◀▶で[👤♫]に切り替え→グループ欄を選択→グループを選択→✉（保存）

■ **シークレットモードを設定するとき**
◀▶で[👤♫]に切り替え→シークレットモード欄を選択→項目を選択→✉（保存）

■ **誕生日を登録するとき**
◀▶で[👤♫]に切り替え→誕生日欄を選択→生年月日を入力→✉（保存）

■ **血液型を登録するとき**
◀▶で[👤♫]に切り替え→血液型欄を選択→血液型を選択→✉（保存）

■ **趣味を登録するとき**
◀▶で[👤♫]に切り替え→趣味欄を選択→内容を入力→✉（保存）

■ **会社を登録するとき**
◀▶で[🏠]に切り替え→会社欄を選択→会社名を入力→✉（保存）

■ **役職を登録するとき**
◀▶で[🏠]に切り替え→役職欄を選択→役職名を入力→✉（保存）

■ **住所を登録するとき**
◀▶で[🏠]に切り替え→住所欄を選択→郵便番号欄を選択→郵便番号を入力→国欄を選択→国名を入力→都道府県欄を選択→都道府県名を入力→市町村欄を選択→市町村名を入力→番地欄を選択→番地を入力→追加情報欄を選択→追加情報を入力→✉（OK）→アイコンを選択→✉（保存）

■ **ホームページのURLを登録するとき**
◀▶で[🏠]に切り替え→ホームページ欄を選択→URLを入力→アイコンを選択→✉（保存）

■ **メモを登録するとき**
◀▶で[🏠]に切り替え→メモ欄を選択→内容を入力→✉（保存）

- グループ以外はUSIMカードの電話帳には登録できません。

電話帳にEメールアドレスやURLを登録するときに簡単に入力したい

[簡単アドレス入力]

▣→✉（新規）

■ **Eメールアドレスを登録するとき**
Eメールアドレス欄を選択→📷→「簡単アドレス入力」

■ **URLを登録するとき**
◀▶で[🏠]に切り替え→ホームページ欄を選択→📷→「簡単アドレス入力」

電話帳に着信画像を設定したい

▣→✉（新規）→◀▶で[👤♫]に切り替え→フォト欄を選択

■ **保存された静止画を設定するとき**
「ピクチャー」→ファイルを選択→✉（保存）

■ **静止画を撮影して設定するとき**
「カメラ起動」→静止画を撮影→✉（保存）

■ **設定した着信画像を解除するとき**
「Off」→✉（保存）

電話帳に着信音を設定したい

▣→✉（新規）→◀▶で[👤♫]に切り替え→着信音欄を選択

■ **音声電話の着信音を設定するとき**
「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→📷（選択）→✉（完了）→✉（保存）

■ **メールの着信音を設定するとき**
「メール着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→📷（選択）→✉（OK）→✉（完了）→✉（保存）

■ **メールの着信鳴動時間を設定するとき**
「メール着信」→「鳴動時間」→時間を入力→✉（OK）→✉（完了）→✉（保存）

電話帳にバイブレータを設定したい

□→□（新規）→□で□に切り替え→バイブ欄を選択→着信の種類を選択→振動パターンを反転表示→□（再生）→□（選択）→□（完了）→□（保存）

電話帳の番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい

□→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→電話番号を反転表示→□→「発信」→「国際発信」（➲P.3-15 日本から国際電話をかけたい）

電話帳からメールを作成したい [メール作成]

□→メールを作成したい電話帳を一覧画面で反転表示→□→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-6 SMSを送信する❺）

電話帳からスピードダイヤルに追加したい [スピードダイヤル登録]

□→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→□→「スピードダイヤル登録」→登録する番号欄を選択

USIMカードのグループを作成したい [新規グループ]

□→□→「新規グループ」→グループ名欄を選択→グループ名を入力→□（保存）

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定し（➲P.2-15）、USIM電話帳を表示した状態で作成します（➲P.2-27）。

グループにメンバーを追加したい [メンバー追加]

□→メンバーを追加したいグループを選択→□→「メンバー追加」→追加したいメンバーをチェック→□（追加）

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で追加します（➲P.2-15）。

グループからメンバーを削除したい [メンバー削除]

□→メンバーを削除したいグループを選択→□→「メンバー削除」→削除したいメンバーをチェック→□（グループ削除）

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で操作します（➲P.2-15）。
- グループから削除しても、電話帳からは削除されません。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい [発信者番号通知／非通知]

□→電話をかける相手の電話帳を反転表示→□→「発信者番号通知／非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→□

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→□

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→□

電話帳をvファイルに変換して送信したい [送信]

□→送信したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→□→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.9-3）

vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい [データフォルダに保存]

□→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→□→「データフォルダに保存」→「はい」

730SC本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい［USIMにコピー］／［本体にコピー］

→コピーしたい電話帳を一覧画面で反転表示→→「USIMにコピー」／「本体にコピー」

■ 1件コピーするとき

「1件」→「はい」

- 詳細画面から電話帳を1件コピーするときは、一覧画面で（詳細）を押してメニューから操作します。

■ 複数コピーするとき

「複数」→コピーしたい電話帳をチェック→（コピー）→「はい」

■ 730SC本体／USIMカードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき

「全件」→「はい」

登録内容をコピーしたい［項目コピー］

→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）→コピーしたい項目を反転表示→→「項目コピー」

- コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。

優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい［優先電話番号設定］

→設定したい電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）→→「優先電話番号設定」→「音声通話」／「メール」→電話番号／Eメールアドレスを選択→（保存）

- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを指定しないときは、項目を反転表示して（リセット）を押すと、「設定なし」に設定できます。

USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい［サービス番号］

→→「サービス番号」

- USIMカードの種類によっては、「サービス番号」の項目は表示されません。

表示をUSIMカード／730SC本体の電話帳に切り替えたい

→→「設定」→「表示切替」→項目を選択

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話帳の検索方法を切り替えて検索したい

→→「設定」→「検索方法」

■ ヨミガナで検索するとき

「ヨミガナ」→カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力→表示された一覧から目的の電話帳を確認

■ グループで検索するとき

「グループ」→目的のグループを選択→で表示された一覧から目的の電話帳を確認

- 「グループ」で目的のグループを選択したあと、カナ欄にヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい［シークレット一時解除］

→→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→（OK）

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」にしているときに、「シークレットモード-On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。

メモリ使用状況を確認したい
［メモリ容量確認］

[☐]→[📷]→「メモリ容量確認」
- 確認したメモリを削除するには[✉]（削除）を押します（➲P.2-32 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

電話帳を編集したい

[☐]→編集したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→[✉]（編集）→（➲P.2-13 電話帳に登録する❷）
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめセキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」にしてください。

電話番号を入力してから登録したい
［電話帳登録］

電話番号を入力→[📷]→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**
「新規」→各項目を登録→[✉]（保存）

■ **追加で登録するとき**
「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→各項目を登録→[✉]（保存）

- 通話中に[📷]を押して「電話帳登録」を選択しても、同様に登録できます。
- 姓名、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレス、グループ以外の項目はUSIMカードの電話帳では登録できません。

グループ名を編集したい
［本体グループから表示］／［USIMグループから表示］

[■]→「電話帳」→「グループ設定」→[📷]→「本体グループから表示」／「USIMグループから表示」→編集したいグループを選択→グループ名欄を選択→グループ名を入力→[✉]（保存）
- 表示切替（➲P.2-27）が「本体」のときは「USIMグループから表示」、「USIM」のときは「本体グループから表示」が表示されます。

グループの設定を変更したい

[■]→「電話帳」→「グループ設定」→設定したいグループを選択

■ **着信画像を設定するとき**
画像欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[✉]（保存）

■ **音声電話の着信音を設定するとき**
着信音欄を選択→「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉]（再生）→[📷]（選択）→[✉]（完了）→[✉]（保存）

■ **メールの着信音を設定するとき**
着信音欄を選択→「メール着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉]（再生）→[📷]（選択）→[✉]（OK）→[✉]（完了）→[✉]（保存）

■ **メールの着信鳴動時間を設定するとき**
着信音欄を選択→「メール着信」→「鳴動時間」→時間を入力→[✉]（OK）→[✉]（完了）→[✉]（保存）

■ **バイブレータを設定するとき**
バイブ欄を選択→着信の種類を選択→振動パターンを反転表示→[✉]（再生）→[■]（選択）→[✉]（完了）→[✉]（保存）

- 設定された画像やバイブレータ設定を解除して保存するときは、画像欄／バイブ欄を反転表示→[📷]（リセット）→[✉]（保存）を押します。
- 設定された各着信音を解除して保存するときは、着信音欄を選択→リセットしたい項目を反転表示→[📷]（リセット）→[✉]（完了）→[✉]（保存）を押します。各着信音を一度に解除するときは、着信音欄を反転表示→[📷]（リセット）→[✉]（保存）を押します。
- 730SC本体のグループにのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとに個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

便利

オーナー情報に関する便利な機能

オーナー情報の内容を編集したい

■→□→✥→✉（編集）→電話帳の登録と同様の操作で各項目を登録（➔P.2-13 電話帳に登録する❷）→✉（保存）

オーナー情報をvファイルに変換して送信したい [送信]

■→□→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➔P.9-3）

オーナー情報をリセットしたい [リセット]

■→□→📷→「リセット」→「はい」

- USIMカードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報がリセットされます。

vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい [データフォルダに保存]

■→□→📷→「データフォルダに保存」→「はい」

オーナー情報の項目をコピーしたい [項目コピー]

■→□→コピーしたい項目を反転表示→📷→「項目コピー」

- コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。

オーナー情報のEメールアドレスにメールを送りたい

■→□→Eメールアドレスを反転表示→■（送信）→（➔P.4-3 S!メールを送信する❺）

便利

ファイルの確認に関する便利な機能

画像を拡大して確認したい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→■（全画面）→■（ズーム）

- 必要に応じて画像を▲／▼で拡大／縮小や、✥でスクロールして確認します。

画像を自動的に切り替えながら確認したい [スライドショー]

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→📷→「スライドショー」

- 一時停止／再開する場合は■（ポーズ／再起動）を押します。
- スライドショーを停止する場合は✉（停止）を押します。

画像のグループ表示を切り替えたい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→✥で並びかたを選択→▲／▼でグループごとに画像を移動

全画面表示時にガイドを表示したい

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→一覧画面でファイルを反転表示→■（表示）→■（全画面）→✉

- 画像表示後約3秒経過すると、非表示になります。

ファイルやフォルダの詳細を確認したい ［詳細］

■→「データフォルダ」→ファイル／フォルダの保存場所を選択→ファイル／フォルダを反転表示→📷→「詳細」

便利

ファイル／フォルダの管理に関する便利な機能

ファイルを送信したい ［送信］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➔P.9-3）

フォルダの一覧画面の表示方法を切り替えたい ［表示切替］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→📷→「表示切替」→項目を選択

ファイルを並べ替えたい ［ソート］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→📷→「ソート」→項目を選択

- 次の項目で並び替えができます。
  - 日付の新しい順（「日付順」）
  - ファイル形式別（「ファイルタイプ順」）
  - ファイル名（「ファイル名順」）
  - ファイルのサイズの小さい順（「サイズ順」）
  - タイトル（「タイトル順」）
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「ファイルタイプ順」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。
- 「ファイル名順」を選択したときの並び順は、数字→英字→日本語の順で表示されます。
- 「タイトル順」で並び替えられるファイルは、「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「デコレメールテンプレート」のファイルです。

ファイルをプレイリストに追加したい

■→「データフォルダ」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→📷→「データ管理」→「プレイリストに追加」

フォルダ名やファイル名の表示／非表示を設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→📷→「データ管理」→「ファイル名表示」／「ファイル名非表示」

- フォルダの一覧画面をサムネイル表示にしているとき、フォルダやファイルを反転表示してフォルダ名やファイル名を表示させるかどうか設定できます。

シークレット設定を一時的に解除したい ［シークレット一時解除］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→📷→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

静止画撮影モードのカメラを起動したい ［カメラ起動］

■→「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルの一覧画面で📷→「カメラ起動」

動画撮影モードのカメラを起動したい ［ビデオカメラ起動］

■→「データフォルダ」→「ムービー」→ファイルの一覧画面で📷→「ビデオカメラ起動」

ボイスレコーダーを起動したい ［ボイスレコーダー起動］

■→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」→ファイルの一覧画面で📷→「ボイスレコーダー起動」

ファイルの保護／保護を解除したい ［保護］／［保護解除］

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→📷→「保護」／「保護解除」

- 保護すると、ファイル名の編集やファイルの移動、削除などが制限されます。

サブフォルダにシークレット設定をしたい ［シークレット設定］／［シークレット解除］

■→「データフォルダ」→作成したサブフォルダを反転表示→📷→「シークレット設定」／「シークレット解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

- セキュリティ設定のシークレットデータフォルダが「表示しない」のとき、自分で作成したサブフォルダを「シークレット設定」で非表示にすることができます。設定を解除するときは、あらかじめ「シークレットデータフォルダ」を「表示する」にしてください。

画像ファイルを各種の画面に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉（設定）

■ ディスプレイの壁紙に設定するとき

「壁紙（メインディスプレイ）」→プレビューを確認→■（設定）

■ 電話帳の着信画像に設定するとき

「個別着信画像」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→■（設定）

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい

■→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→✉（設定）

■ 各機能の着信音に設定するとき

「音声着信音」／「メール着信音」／「着信お知らせ機能着信音」／「配信確認着信音」

■ 各電話帳の着信音に設定するとき

「個別着信音」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）

動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい

[■]→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→一覧画面でファイルを反転表示→[✉]（設定）

■ **音声電話の着信音に設定するとき**
「音声着信音」

■ **各電話帳の着信音に設定するとき**
「個別着信音」→設定したい電話帳を選択（➔P.2-15）

vファイルを各機能に取り込みたい

[■]→「データフォルダ」→「その他ファイル」→取り込みたいvファイルを選択→[■]（登録）

- データフォルダに保存されているvCardファイルやvCalenderファイルを電話帳やカレンダーに登録します。

便利

メモリ容量確認に関する便利な機能

登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい

[■]→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→機能を選択→削除したい項目を反転表示→[✉]（削除）→「はい」→内容の一覧を呼び出し

■ **1件または複数削除するとき**
削除したい項目をチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
[📷]（全チェック）→[✉]（削除）→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

- メールボックスやデータフォルダ、カレンダー、電話帳の内容を削除します。
- 削除する内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると機能や保護の設定されていないファイルのみが削除されます。

電話

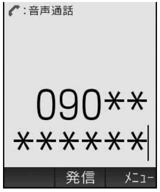
3

電話をかける

電話帳から電話をかける操作は「電話帳から電話をかける」（➲P.2-15）を参照してください。

1 電話番号全桁（市外局番を含む）を入力

2 電話番号を確認→[発信キー]／[■]（発信）



電話番号入力画面

3 通話終了後[終話キー]

- 電話番号を押し間違えたときは、[方向キー]で消す数字の後ろにカーソルを移動して[CLEAR/メモ]を押します。[CLEAR/メモ]を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P（ポーズ）」を入力するには、[*]を2回押します。「+（国際コード）」を入力するには、[0]を1秒以上押します。
- 相手がお話し中のときは、[終話キー]を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」（➲P.10-18）を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、[カメラキー]（キャンセル）または[終話キー]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続している場合は、「イヤホン通話を使う」を「On」に設定すると、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-15
- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい
- 電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい
- 日本から国際電話をかけたい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 小さい声で通話したい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中に別の相手に電話をかけたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話相手の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話中に通話履歴を確認したい
- 通話相手の電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 通話中にプッシュトーンを送信したい
- 通話中に相手の声を録音したい
- 通話中にメモを作成したい
- 通話中のメニュー操作から通話を終了したい

設定
- 国際コードを登録する（☞P.10-17）
- 国番号を追加／変更／削除する（☞P.10-17）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.10-18）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.10-18）
- イヤホン通話を使う（☞P.10-19）
- 通話中の音量を調節する（☞P.10-19）

電話を受ける

1 着信中に[通話ボタン]

2 通話終了後[終話ボタン]

- 「エニーキーアンサー」を「On」に設定している場合は、着信中に[メール]、[■]、[カメラ]、[終話]、[▲]、[▼]を除くどのボタンを押しても音声電話を受けられます。
- 着信中に応答せずに保留にするには、[終話]を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に[■]（通話）を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に[▲]／[▼]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続しているときは、着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- **電話に出なかったときの表示（不在着信）**
  かかってきた電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。[■]（表示）を押すと、着信履歴（➲P.3-6）を確認できます。

- **着信音**
  相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります（➲P.2-25、P.2-28）。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります（➲P.1-9）。
  セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合は、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。
- **電話がかかってきたときの表示**
  相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。
  電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます（➲P.2-25、P.2-28）。
  セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。

- **電話に出られないときの便利な機能**
  オプションサービスの転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に[メール]（転送）を押すと、すぐに転送先または留守番電話センターに転送できます（➲P.3-8、P.3-10）。また、着信中に[■]（留守録）を押すと、すぐに簡易留守録を利用することができます（➲P.3-4）。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-15

設定
- サイドキー操作で応答拒否する／着信音を消す（☞P.10-14）
- エニーキーアンサーを設定する（☞P.10-14）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.10-18）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.10-18）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.10-18）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.10-18）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.10-18）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.10-18）

簡易留守録を利用する

電話に出られないとき、相手の用件を730SC本体に録音できます。用件は1件につき最長15秒間録音でき、3件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「簡易留守録設定」
2. 「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイにが表示されます。
- 待受画面でCLEAR/メモを1秒以上押しても、設定／解除が行えます。

注意

- **電波の届かない場所にいるときや730SCの電源を切っているとき、オフラインモード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。**
- **730SC本体の共有メモリ（➲P.11-14）の空き容量が600Kバイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。**

録音された用件を確認する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」
2. 用件を反転表示→■（再生）

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイにが表示されます。
- 待受画面でCLEAR/メモを押しても、録音された用件を確認できます。

録音された用件を削除する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」
2. 用件の削除操作

■ 1件削除するとき

削除したい用件を反転表示→✉（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき

📷（全削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

設定

- 簡易留守録を設定する（☞P.10-17）
- 簡易留守録の応答時間を設定する（☞P.10-17）
- 簡易留守録に録音された用件を確認する（☞P.10-17）
- 応答メッセージの言語を設定する（☞P.10-17）

スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに登録する

よく電話をかける相手をスピードダイヤルに登録すると、簡単な操作で電話をかけることができます。スピードダイヤルは10件登録できます。

1. ■→「電話帳」→「スピードダイヤル設定」
2. 登録したい番号欄を選択
3. 電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→登録したい電話番号を選択

- 登録した電話番号を変更するときは、一覧画面で変更したい相手を反転表示→[■]（変更）→「はい」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→登録したい電話番号を選択します。
- 登録した番号を削除するときは、一覧画面で削除したい相手を反転表示→[📷]→「削除」→「はい」を選択します。
- 登録した番号をすべて削除するときは、一覧画面で[📷]を押して「設定リセット」→「はい」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、スピードダイヤルに登録できません。
- すでにスピードダイヤルに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はスピードダイヤルから自動的に削除されます。

スピードダイヤルで電話をかける

1 スピードダイヤルに登録済みの[0]〜[9]のいずれかを選択

2 [■]（📱）／[📞]

- 操作 1 のあと、[✉]（S! メール）を押すと、メール作成画面に切り替わります。
- 「スピード検索設定」を「On」に設定しているときに数字を入力すると、スピード検索で該当した電話帳の名前と電話番号が表示されます。約5秒経過すると表示が消えます。📱が表示されたら、スピードダイヤルで電話をかけることができます。

通話時間／通話料金などを管理する

730SCでは、通話料金に関する設定や表示はご利用できません。

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設　定	設定内容
累積	合計通話時間、合計通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認できます。
累積データ通信量	メールの累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

- 「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれない場合があります。また、「通話後料金表示」がご利用になれない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話時間／通話料金／データ通信量などを確認する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」

2 確認したい項目を選択

●確認した項目をリセットするには、リセットしたい項目を反転表示して✉（リセット）を押します。

使いこなしチェック！

設定

● すべての通話の合計通話時間を確認する（☞P.10-17）
● 前回の通話時間を確認する（☞P.10-17）
● 累積データ通信量を確認する（☞P.10-17）

通話履歴を利用する

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。着信履歴、発信履歴はそれぞれ500件まで記録されます。

通話履歴を確認する

1 （着信履歴）／（発信履歴）

2 確認したい履歴を反転表示→■（詳細）

●**履歴一覧のアイコン**
履歴一覧には、音声電話を識別するアイコンが表示されます。
：音声通話発信
：音声通話着信
：音声通話の不在着信
：音声電話の着信拒否
：留守番電話のお知らせ
：着信のお知らせ

●セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。

通話履歴を使って電話をかける

1 （着信履歴）／（発信履歴）



一覧画面
（着信履歴の場合）

2 電話をかけたい履歴を反転表示→✉（発信）→「音声発信」

通話履歴を削除する

通話履歴を1件削除する

1. [着信履歴アイコン]（着信履歴）／[発信履歴アイコン]（発信履歴）
2. 削除したい履歴を反転表示→[カメラキー]→「削除」→「1件」→「はい」

- 1通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作1のあと、削除したい履歴を反転表示→[■]（詳細）→履歴を確認後[カメラキー]→「削除」→「はい」を選択します。

通話履歴を複数削除する

1. [着信履歴アイコン]（着信履歴）／[発信履歴アイコン]（発信履歴）
2. [カメラキー]→「削除」→「複数」
3. 削除したい履歴をチェック
4. [メールキー]（削除）→「はい」

通話履歴をすべて削除する

各履歴一覧の内容をまとめて削除できます。

1. [着信履歴アイコン]（着信履歴）／[発信履歴アイコン]（発信履歴）
2. [カメラキー]→「削除」→「全件」
3. 操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-17
- 通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい
- 通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい
- 通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい

オプションサービスの種類について

オプションサービスの種類は次のとおりです。

プリペイドモデルのオプションサービスに関して詳しくは、『ソフトバンクプリペイドサービス（3G）ご利用ガイド』をご覧ください。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 •「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話をSMSでお知らせします（➲P.3-9）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

サービス	内　容
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※ サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- **電波の届かない場所では、730SCからは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。**

留守番電話サービスを利用する

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話センターに転送します。

留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内　容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

- **留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。**
- **すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。**

留守番電話サービスを設定する

1 **[■]→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」**

2 **項目の選択操作**

■ **すぐに転送電話につなぎたいとき**
「呼出なし（0秒）」

■ **呼び出し時間を設定したいとき**
「呼出あり（5-30秒）」→「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」

- 「呼出あり」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に[✉]（転送）を押すと、すぐに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」

注意

- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイに1416が表示されます。



アイコンとメッセージでお知らせする

通知画面が表示されているときの操作

通知画面が表示されているときは、次のように操作すると留守番電話センターに接続できます。接続後はガイダンスに従って操作してください。

1 ✉（再生）

- 伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面の表示中に■（表示）を押します。
- 伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、📷（キャンセル）を押します。
- 730SCから伝言メッセージを聞くと、ディスプレイの1416が消えます。

通知画面が表示されていないときの操作

1 「1416」を入力→📞

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 「1414」を入力→📞

- 国内の固定電話から設定するときは、「090-665-1414」にかけます。

2 ガイダンスに従って操作

- 通知されたSMSは、メールではなく着信履歴として管理されます。
- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック！

設定
- 呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する（☞P.10-16）
- 呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する（☞P.10-16）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.10-16）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.10-16）
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く（☞P.10-16）
- 着信お知らせ機能を設定する（☞P.10-16）

転送電話サービスを利用する

あらかじめ設定した転送条件（➔P.3-8）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。

注意
- **転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。**
- **すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。**

転送電話サービスを設定する

サービスを設定するときは転送先を指定します。

1. **■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」**
2. **「呼出なし（0秒）」／「呼出あり（5-30秒）」**
3. **転送先の設定操作**

■ **前回の転送先を設定するとき**
「前回転送先番号」→前回の電話番号を選択

■ **電話帳から転送先を設定するとき**
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）

■ **電話番号を入力して設定するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定するときは、操作3の後に呼び出し時間を選択します。

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に✉（転送）を押すと、すぐに転送できます。

3 電話

転送電話サービスを解除する

転送条件にかかわらず、解除することができます。

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」

注意

- **留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。**

使いこなしチェック！

設定

- 転送電話サービスを設定する（☞P.10-16）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.10-16）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.10-16）

割込通話サービスを利用する

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」
2. 「On」／「Off」

- 現在の設定を確認するには操作❷で「設定確認」を選択します。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1. 割り込み音が聞こえたら■（通話）
2. 「現在の通話を保留」
   - 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは「現在の通話を終了」を選択します。
3. 相手を切り替えるときは、切り替えたい相手を反転表示→■（グループ通話）→「相手切替」
4. 通話の終了操作

■ 相手を選択して通話を切るとき

通話を切りたい相手を反転表示→■（グループ通話）→「この相手と終話」

■ すべての通話を切るとき

■（グループ通話）→「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、■（再開）を押すと、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話センターに転送されます。転送条件を「呼出なし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いこなしチェック！

設定

- 割込通話サービスを開始／解除する（☞P.10-16）
- 割込通話サービスの設定を確認する（☞P.10-16）

グループ通話サービスを利用する

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1. **通話中に電話番号を入力**
   - 電話帳から選択するときは、📷→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）します。
2. **■（発信）→つながったら通話**

通話相手を切り替える

1. **複数の相手と通話中に切り替えたい相手を反転表示→■（グループ通話）→「相手切替」**

- 通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、■（再開）を押して保留を解除してください。

すべての相手と通話する

1. **複数の相手と通話中に■（グループ通話）→「全ての相手と通話」**
   - 個別通話に切り替えるには、通話中に通話したい相手を反転表示して■（グループ通話）を押し、「この相手と通話」を選択します。

- すべての通話を切るには、通話中に■（グループ通話）を押して「全ての相手と終話」を選択します。
- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック！

便利☞P.3-18

発着信規制サービスを利用する

音声電話の発着信、SMSの送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内　容
発信規制		
	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	滞在国以外規制	日本以外の国へ電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
着信規制		
	全着信規制	すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時の4桁の暗証番号）の入力が必要です。発着信規制用暗証番号は変更することもできます（➲P.3-14）。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- **発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.11-25）までご連絡ください。**
- **転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。**

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別ごとに設定できます。

1. **■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」**
2. **規制内容の選択操作**

   ■ 発信規制を選択するとき

   「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」

   ■ 着信規制を選択するとき

   「着信規制」→「全着信規制」
3. **「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→■（OK）→「はい」**

3

電話

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 「全ての発着信規制解除」
3. 規制暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

発着信規制の設定状況を確認する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「全着信規制」

発着信規制用暗証番号を変更する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号変更」
2. 現在欄に現在の規制暗証番号を入力→■（OK）
3. 新規欄に新しい規制暗証番号を入力→■（OK）
4. 確認欄にもう一度新しい規制暗証番号を入力→■（OK）

使いこなしチェック！

設定

- 発信規制を設定する（☞P.10-16）
- 着信規制を設定する（☞P.10-16）
- 発着信規制の制限をすべて解除する（☞P.10-16）
- 発着信規制の設定を確認する（☞P.10-16）
- 発着信規制用暗証番号を変更する（☞P.10-16）

発信者番号通知サービスを利用する

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

1. ■→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」
2. 「通知／非通知」→「通知する」／「通知しない」

- 操作1のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知／非通知にできます（➲P.3-15）。

使いこなしチェック！

設定

- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.10-18）

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を電話帳に登録したい 【電話帳登録】

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→[カメラキー]→「電話帳登録」→（➲P.2-28 電話番号を入力してから登録したい）

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい 【メール作成】

電話番号全桁を入力→[カメラキー]→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-6 SMSを送信する❺）

電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい 【電話帳検索】

電話番号入力画面で[カメラキー]→「電話帳検索」

電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい 【通話履歴】

電話番号入力画面で[カメラキー]→「通話履歴」

日本から国際電話をかけたい 【国際発信】

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→[カメラキー]→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→電話番号を確認→[発信キー]

- 本機は世界対応ケータイではないため、海外ではご利用になれません。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.11-25）までご連絡ください。
- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい 【発信者番号通知／非通知】

電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→[カメラキー]→「発信者番号通知／非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→[発信キー]

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→[発信キー]

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→[発信キー]

- [1][8][6]を入力→相手の電話番号を入力→[発信キー]と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- [1][8][4]を入力→相手の電話番号を入力→[発信キー]と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい

着信中に[カメラキー]（拒否）

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 「サイドキー設定」を「着信拒否」に設定している場合は、着信中に[▲]／[▼]を1秒以上押しても着信を拒否できます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に[メールキー]（転送）を押すと、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージ表示されません。

通話中に相手の声の音量を調節したい

通話中に[▲]／[▼]

- 受話口やステレオイヤホンマイクのイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

通話を保留にしたい

通話中に[■]（保留）

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。どちらも非加入になると、保留機能が使用できません。
- 通話に戻るときは[■]（再開）を押します。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい

通話中に[✉]（🔈）→「はい」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に[✉]（🔈）を押します。

小さい声で通話したい [ささやきOn]／[ささやきOff]

通話中に[📷]→「ささやきOn」／「ささやきOff」

- 「ささやき On」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。

音声の送信を設定したい [ミュート]

通話中に[📷]→「ミュート」→「音声」をチェック／チェックを外す→[✉]（OK）

通話中に別の相手に電話をかけたい [発信]

通話中に[📷]→「発信」→電話番号を入力→[■]（発信）

- 電話帳から検索するには、通話中に[📷]→「発信」を押したあと、[■]（電話帳）を押します。
- グループ通話サービスをご利用の場合に有効です。

通話中に電話帳を検索したい [電話帳]

通話中に[📷]→「電話帳」→（➲P.2-15 電話帳を検索する❷）

通話相手の電話番号を電話帳に登録したい [電話帳登録]

通話中に[📷]→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→各項目を登録→[✉]（保存）

■ **追加で登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→各項目を登録→[✉]（保存）

通話中に通話履歴を確認したい [通話履歴]

通話中に[📷]→「通話履歴」

通話相手の電話番号を宛先としたメールを作成したい [メール作成]

通話中に[📷]→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-6 SMSを送信する❺）

通話中にプッシュトーンを送信したい [プッシュトーン送信]

通話中に[📷]→「プッシュトーン送信」→ダイヤルボタンを入力→[■]（送信）

- 電話帳から検索するには、「プッシュトーン送信」を選択したあと、[■]（電話帳）を押します。

通話中に相手の声を録音したい [音声録音]

通話中に[📷]→「音声録音」→[■]（録音）→[✉]（停止）

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長2分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は[■]（一時停止）を押します。録音を再開する場合は[■]（録音）、一時停止したところまで保存する場合は[✉]（保存）を押します。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音していた内容を自動的に保存して録音を終了し、着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話中にメモを作成したい　［メモ］

通話中に[カメラキー]→「メモ」→メモを入力

通話中のメニュー操作から通話を終了したい　［通話終了］

通話中に[カメラキー]→「通話終了」

便利

通話履歴に関する便利な機能

通話履歴から音声電話をかけたい

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→発信したい履歴を反転表示→[メールキー]（発信）→「音声発信」

通話履歴の電話番号を宛先としたメールを作成したい

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→宛先にしたい履歴を反転表示→[メールキー]（発信）→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する5、P.4-6 SMSを送信する5）

通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい　［電話帳登録］

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→登録したい履歴を反転表示→[カメラキー]→「電話帳登録」→（➔P.2-14 通話履歴から登録する3）

通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい　［拒否リスト追加］

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→着信拒否リストに追加したい履歴を反転表示→[カメラキー]→「拒否リスト追加」→「はい」

通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい　［詳細］

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→確認したい履歴を反転表示→[カメラキー]→「詳細」

通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい　［国際発信］

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→国際電話をかけたい履歴を反転表示→[カメラキー]→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→電話番号を確認→[通話キー]

通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい　［発信者番号通知／非通知］

[着信履歴キー]（着信履歴）／[発信履歴キー]（発信履歴）→通知／非通知にして電話をかけたい履歴を反転表示→[カメラキー]→「発信者番号通知／非通知」

■ **発信者番号通知サービスの設定に従うとき**

「ネットワーク設定に従う」→[通話キー]

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→[通話キー]

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→[通話キー]

便利

グループ通話サービスに関する便利な機能

グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい

グループ通話中に通話を切りたい相手を反転表示→ ■ （グループ通話）→「この相手と終話」

グループ通話中にすべての通話を保留にしたい

グループ通話中に ■ （グループ通話）→「全ての相手と保留」

メール

4

メールについて

730SCでは、S!メールとSMSの2種類のメールを利用できます。

S!メール

ソフトバンク携帯電話や、メールを利用できるパソコンなどの機器との間で、長い文字メッセージや画像、サウンドなどを送受信できます。

また、文字サイズや色、背景などを装飾できるデコレメールや、件名の先頭にフィーリングメール用絵文字を挿入することで、相手に自分の気持ちを伝えられるフィーリングメールを送受信できます。

- フィーリングメールは対応機種のみ受信できます。
- S!メールの利用には、別途ご契約が必要です。

注意

- **Eメールアドレスの変更に関して詳しくは、『ソフトバンクプリペイドサービス(3G)ご利用ガイド』をご覧ください。**

SMS

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージを送受信できます。

メールの種類により、入力項目や送信できる文字数が次のように異なります。

入力項目／文字数		S!メール[1]	SMS
入力項目			
	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○
送信可能な文字数		全角で約15,000文字、半角で約30,000文字(30Kバイトまで)[2]	全角で最大70文字、半角で最大70文字、半角英数記号で最大160文字[3]

1 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計は300Kバイトです(返信または転送するメールも同様)。

2 添付ファイルのサイズなどにより、送信可能な文字数は変わります。

3「文字コード」(➔P.10-6)を「英語」に設定したときの文字数です。

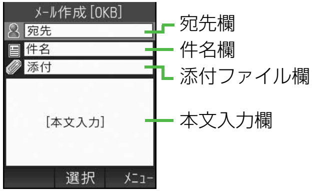
- リトライ機能とは、相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいたりしてメールを受信できない場合に、メールサーバーにメールが保管され、電波が届くようになると配信する機能です。

注意

- **730SCで作成したメールは、相手側の端末によっては730SCと同様に表示されない場合があります。**
- **本文にハングルを含むS!メールやSMSを受信した場合は、ハングルを表示できます。ただし、ハングルの入力はSMSの本文にのみできます。本文にハングルを含む受信メールをS!メールで返信／転送すると、本文のハングルが削除されます。**
- **SMSの本文をハングルで入力して送信した場合、相手側の端末によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示されるときがあります。**

S!メールを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にS!メールを送信します。



S!メール作成画面

1 ✉→「メール作成」

2 宛先欄を選択

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、送信したい宛先を選択（➲P.2-15 電話帳を検索する❷）

4 電話番号／Eメールアドレスを選択

5 件名欄を選択→件名を入力

- 件名欄が反転表示されている状態からも入力が行えます。

6 本文入力欄を選択→本文を入力

- 本文入力欄が反転表示されている状態からも入力が行えます。

7 ✉（送信）

- 待受画面で✉を1秒以上押してもS!メール作成画面を呼び出すことができます。
- S!メールの宛先には電話番号またはEメールアドレスを入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態でCLEAR/メモ／⏎／☎を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択するとただちにメール作成を終了します。CLEAR/メモ／⏎を押した場合は、「保存」を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。

- 送信したメールは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➲P.10-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

注意

- **S!メールではハングルの表示はできますが、入力や送信はできません。**

ファイルを添付する

S!メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて300Kバイトまでです。
1通のS!メールに添付できるファイルの数は20個までです。

- 作成中のS!メールのサイズは、S!メール作成画面の右上に表示されます。

注意

- **メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、ソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。**
- **S!メールで動画を添付するときは、「S!メール添付」（➔P.5-9）で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。**

データフォルダなどからファイルを添付する

画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、電話帳やカレンダー、オーナー情報の登録内容をvCard形式やvCalendar形式にして添付できます。

1 **[メール]→「メール作成」→添付ファイル欄を選択**

2 **ファイルの添付操作**

■ データフォルダ内のファイルを添付するとき

「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→添付したいファイルを選択

■ 電話帳の登録内容を vCard 形式で添付するとき

「電話帳データ」→電話帳を検索し、添付したい電話帳を選択（➔P.2-15）→[メール]（追加）

■ カレンダーの登録内容を vCalendar 形式で添付するとき

「カレンダーデータ」→[十字キー]で「スケジュール」／「予定」→添付したい登録内容を選択

■ オーナー情報の登録内容を vCard 形式で添付するとき

「オーナー情報引用」→[メール]（追加）

- ファイルを追加するには、添付ファイル欄を選択し、「ファイル追加」を選択して添付操作を繰り返します。
- ファイルを添付すると、添付ファイル表示画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。

[icon]：画像	[icon]：サウンド
[icon]：動画	[icon]：vCalendar
[icon]：vCard	[icon]：上記以外のファイル

注意

- **オーナー情報の登録内容を添付する場合に、趣味の情報は添付できません。**

デコレメールを作成する

ここでは例として、次のとおりに設定します。

- 文字サイズ、背景色を変更
- データフォルダの画像、絵文字を挿入
- 文字を左右に移動表示（スクロール）
- 他の項目については、「S!メールに関する便利な機能」（➲P.4-15）を参照してください。

1 ✉→「メール作成」→本文入力欄を選択

2 📷→「デコレメール」



デコレメール作成画面

3 「サイズ」→「大」／「標準」／「小」→本文を入力

- 続けて他の設定をするときは、✉（装飾）を押して操作します。

4 ✉（装飾）→「背景」

5 背景色を選択

6 ✉（装飾）→「画像」

7 「ピクチャー」→ファイルを選択

- 画像を撮影して挿入するときは「カメラ起動」を選択します。

8 ✉（装飾）→「マイ絵文字」→絵文字を選択

9 ✉（装飾）→📷（範囲選択）→装飾する最初の箇所に✛でカーソルを合わせ■（始点）→✛で装飾したい範囲を指定→■（終点）→「効果」

10 「スクロール」

11 「右から左へ」／「スイング」

12 ✉（終了）→■（完了）

- 1つ前の状態に戻すには、デコレメール作成画面で「戻す」を選択します。
- 装飾をすべてやり直すには、デコレメール作成画面で「解除」を選択し、「はい」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-15

- 宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい
- 宛先を削除したい
- 添付したファイルを削除したい
- フィーリングメールを送信したい
- フィーリング設定を解除したい
- 作成中のS!メールを下書きに保存したい
- テンプレートを利用してS!メールを作成したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- S!メール作成画面で本文をスクロールする単位を設定したい
- S!メール作成画面で本文の文頭／文末に移動したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 「アクション設定」を設定したメールを送信したい
- いろいろなデコレメールを利用したい
- 入力済みの文字の文字色／文字サイズを変更したい
- S!メールの本文を作成中に定型文を利用したい

- S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- S!メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- 他社送信用絵文字を設定したい
- S!メールの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい

設定

- 署名を設定する（☞P.10-2）
- 署名を編集する（☞P.10-2）
- 受信ボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.10-2）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.10-3）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.10-3）
- 送信メールの優先度を設定する（☞P.10-4）
- 送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.10-4）
- 送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する（☞P.10-4）
- 返信先を設定する（☞P.10-5）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.10-5）

SMSを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にSMSを送信します。

1 ✉→「SMS新規作成」

2 宛先欄を選択



SMS作成画面

3 「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15 電話帳を検索する**2**）

4 電話番号を選択

5 本文入力欄を選択→本文を入力

- 本文入力欄が反転表示されている状態からも入力が行えます。

6 ✉（送信）

- SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- SMSの本文で送信可能な文字数（➔P.4-2）を超えた場合、S!メールに変更する確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとS!メールに切り替わります。本文にハングルが含まれている場合は、ハングルを削除する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとハングルが削除されたS!メールに切り替わります。
- 送信したSMSは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➔P.10-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-19

- 宛先を削除したい
- 作成中のSMSを下書きに保存したい
- 作成中のSMSをS!メールに変更したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- テンプレートを利用してSMSを送信したい

設定

- 署名を設定する（☞P.10-2）
- 署名を編集する（☞P.10-2）
- 受信ボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.10-2）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.10-3）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.10-3）
- 返信先を設定する（☞P.10-5）
- 返信先アドレスを設定する（☞P.10-5）
- メールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.10-6）
- SMSセンター番号を設定する（☞P.10-6）
- SMSセンター番号を編集する（☞P.10-6）
- 文字コードを変更する（☞P.10-6）

受信メールを確認／返信する

新着メールを確認する

メールを受信すると、待受画面に新着メール受信の通知画面が表示され、受信件数と差出人、受信日時が表示されます。

- S! メールでは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。お客様のご契約の内容により、所定の料金が発生いたしますので、ご注意ください。自動受信しないように設定することもできます（➔P.4-8）。



受信の通知画面

1 ■（表示）→フォルダを選択



メール一覧画面

2 新着メールを選択



メッセージ画面（S!メールの場合）

- デルモジ表示設定の確認メッセージが表示されたときは、必要に応じて「常に表示」／「未読のみ表示」／「表示しない」を選択します。

- **デルモジ**
  デルモジとは、新着または未読のメールを確認するとメッセージが単語や絵文字、顔文字などに合わせた3Dアニメーションで表示されることです。
  「デルモジ表示設定」（➲P.10-4）を「表示しない」以外に設定している場合、メッセージがデルモジ表示されます。デルモジ表示が終了するか、デルモジ表示中に✉（停止）を押すと、メッセージ画面が表示されます。各種操作を行う場合は、メッセージ画面が表示されてから操作してください。
- **新着メール受信の通知画面の差出人表示**
  電話番号またはEメールアドレスが表示されます。差出人が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録した名前が表示されます。電話帳に着信画像が登録されている場合や、グループに着信画像が設定されている場合は、画像が同時に表示されます。セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」に設定されている相手からメールを受信したときは、名前や画像は表示されません。
- ファイルが添付されている場合は、メールの一番下にファイル名とサムネイルが表示されます。

- 待受画面以外を表示中にメールを受信すると、ディスプレイ最上段に受信件数と差出人の電話番号またはEメールアドレス（電話帳に登録されている場合は、登録した名前）などがスクロールして表示されます。スクロールが終了すると、ディスプレイ最上段に✉が表示されます（➲P.1-4、P.10-3）。
- 配信レポートを受信すると、ディスプレイ最上段にが点滅したあと表示が消えます。待受画面には配信レポート受信の通知画面が表示されます。
- 受信したメールは受信ボックスに保存されます。受信ボックスの「自動削除設定」（➲P.10-2）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール受信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。

メールを「手動取得」に設定する

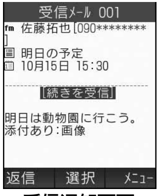
S! メールの「受信設定」（➲P.10-4）を「手動取得」に設定している場合は、受信したS! メールがメールサーバーに一時保存され、メッセージの一部のみ受信通知としてお客様の730SCに送信されます。続きはメールサーバーから受信する必要があります。

- お買い上げ時は、メール全文（添付ファイル含む）を自動的に受信する「自動受信」に設定されています。

1 ✉→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→受信通知を選択

3 「続きを受信」→続きを受信したメールを選択



受信通知画面

- メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン
  未読の受信通知
  ：優先度高
  ：優先度標準
  ：優先度低

  既読の受信通知
  ：優先度高
  ：優先度標準
  ：優先度低

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信できます。

1 →「受信ボックス」

2 フォルダを選択→返信するメールを選択

3 （返信）→「S!メール」／「S!メール（引用付）」／「SMS」／「SMS（引用付）」

- 受信したメールの本文を残したい場合は、「S!メール（引用付）」または「SMS（引用付）」を選択します。

4 メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する⑤）

- 返信するS!メールの件名には「Re:」が自動的に付きます。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送できます。

1 →「受信ボックス」→フォルダを選択

2 転送するメールを反転表示→→「転送」

3 メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する②）

- 転送するS!メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- 受信したSMSを転送する場合は、S!メールで転送するかSMSで転送するかを選択できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-20
- 受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい
- 受信通知／サーバーメールを転送したい
- デルモジ表示したい
- 受信メールの差出人を電話帳に登録したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの内容をコピーしたい
- 表示中のメールを削除したい
- メールの詳細を確認したい
- 添付画像の表示サイズを設定したい
- メールの文字サイズを設定したい
- メールの文字コードを設定したい
- メッセージ画面のスクロール単位を設定したい
- メッセージ画面の文頭／文末に移動したい
- メール一覧画面でメールサーバーに保存されているメールの続きを受信したい
- メールサーバーからのメールの受信を中止したい
- メール一覧画面で全員に返信したい

設定
- 文字サイズを設定する（☞P.10-2）
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.10-2）
- 配信レポートの送信を設定する（☞P.10-2）
- 受信の通知を設定する（☞P.10-3）

● 「シークレット設定」を設定したフォルダの受信通知を設定する（☞P.10-3）
● メッセージのデルモジ表示を設定する（☞P.10-4）
● デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する（☞P.10-4）
● デルモジ表示の表示速度を設定する（☞P.10-4）
● S!メールの受信方法を設定する（☞P.10-4）
● フィーリングメールを受信したときの通知画面に感情の情報を表示するかどうかを設定する（☞P.10-5）
● フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する（☞P.10-5）
● フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する（☞P.10-5）
● フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する（☞P.10-5）
● フィーリングメールの着信音を設定する（☞P.10-5）
● フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する（☞P.10-5）
● 添付画像の表示方法を設定する（☞P.10-6）
● 添付画像の自動再生を設定する（☞P.10-6）
● 添付サウンドの自動再生を設定する（☞P.10-6）

メールを利用／管理する

730SCでは、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートやSMSの定型文が保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

メール一覧から確認する

受信ボックスや送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

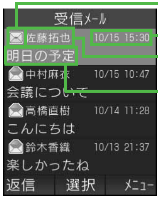
1. [✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択
2. メールを選択

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、[📷]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）を押します。
- メッセージ画面で[*]／[#]を押すと、前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。

4 メール

メール一覧画面の表示

各メールボックスのメール一覧画面には、次の情報が表示されます。



メール一覧画面（受信ボックスの場合）

- **受信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

未読のS!メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：添付ファイルあり

既読のS!メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：添付ファイルあり

未読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

既読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

未読のSMS
：本体に保存
：USIMカードに保存

既読のSMS
：本体に保存
：USIMカードに保存

受信中
：S!メール

- **下書きのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：添付ファイルあり

SMS
：SMS

- **未送信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：添付ファイルあり
：送信中

SMS
：SMS
：USIMカードに保存

- **送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：添付ファイルあり

SMS
：SMS
：USIMカードに保存

配信レポート
：未読のS!メール
：未読のSMS

- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のときは、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手との送受信メールでは、名前は表示されずに電話番号またはEメールアドレスが表示されます。

4

メール

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると反転表示する情報があります。差出人や宛先、メール本文の電話番号、Eメールアドレス、URLは、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信ができます。

電話帳に登録する

1 **[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／Eメールアドレス／URLを選択→「電話帳登録」**

- URLを選択したときは、電話帳への登録のみ可能です。インターネットへの接続はできません。

2 **電話帳の登録操作**

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→各項目を登録（➲P.2-13）→[✉]（保存）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→各項目を登録（➲P.2-13）→[✉]（保存）

電話発信／メール送信を行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレスの情報を利用できます。

1 **[✉]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択**

2 **情報の利用操作**

■ 音声電話をかけるとき
電話番号を選択→「音声通話」

■ 電話番号を変更してから電話をかけるとき
電話番号を選択→「発信前に電話番号を編集」

■ メールを送信するとき
電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-6 SMSを送信する❺）

- 電話番号を選択してメールを送信する場合は、S!メールを送信するかSMSを送信するかを選択し、メールを作成します。

メール／テンプレートを削除する

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて削除することができます。

1 **[✉]→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択**

2 **メールの削除操作**

■ 1件削除するとき
削除したいメールを反転表示→[📷]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき
[📷]→「削除」→「複数」→削除したいメールをチェック→[✉]（削除）→「はい」

■ 選択したボックス内のメールをすべて削除するとき
[カメラ]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

テンプレートを削除する

テンプレートを指定して削除したり、登録されているすべてのテンプレートをまとめて削除することができます。

1 [メール]→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」／「定型文」

2 テンプレートの削除操作

■ 1件削除するとき
削除したいデコレメールテンプレート／定型文を反転表示→[カメラ]→「削除」→「1件」→「はい」

■ 複数削除するとき
[カメラ]→「削除」→「複数」→削除したいデコレメールテンプレート／定型文をチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ すべて削除するとき
[カメラ]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-22

- 送信済みメール、未送信メールを編集して送信したい
- S!メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい
- 受信S!メールや送信済みS!メールをデコレメールテンプレートに保存したい
- メール一覧画面から電話帳に登録したい
- メールを保護／保護解除したい
- メール一覧画面の表示方法を設定したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メールを開封済み／未開封にしたい
- メール一覧画面でSMSを730SC本体／USIMカードに移動したい
- メールやフォルダの詳細情報を確認したい
- デコレメールテンプレートを登録したい
- 登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい
- 登録したデコレメールテンプレートの詳細を確認したい
- 未送信メールを編集して送信したい
- 未送信メールのエラー詳細を確認したい
- メールサーバーに保存されているメールを転送したい
- メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい

設定

- メール一覧画面の表示方法を設定する（☞P.10-3）
- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.10-3）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.10-3）

フォルダで管理する

受信ボックス、送信済みボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けることができます。フォルダにセキュリティを設定することもできます。ただし、「受信メール」フォルダ、「送信メール」フォルダは削除したり、設定を変更したりすることはできません。

フォルダを作成する

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」
2. 📷→「フォルダ作成」
3. フォルダ名を編集

メールを移動する

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」
2. メールの移動操作

   ■ 1件移動するとき
   フォルダを選択→移動したいメールを反転表示→📷→「フォルダへ移動」→「1件」

   ■ 複数移動するとき
   フォルダを選択→📷→「フォルダへ移動」→「複数」→移動したいメールをチェック→✉（移動）

   ■ すべて移動するとき
   フォルダを選択→📷→「フォルダへ移動」→「全件」
3. 移動先のフォルダを選択

- 受信したメールは「受信メール」フォルダに、送信したメールは「送信メール」フォルダに保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールを戻すときは操作3で「受信メール」フォルダ／「送信メール」フォルダを選択します。

メールを振り分ける

送受信したメールを相手の電話番号やEメールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S!メールでの件名や、SMSの本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1つのフォルダに設定できるルールは最大20件です。

1. ✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」
2. 移動先に指定したいフォルダを反転表示→📷→「メール振り分け設定」
3. 振り分けルールの設定操作

   ■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳から選択するとき
   ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **振り分ける電話番号／Eメールアドレスを直接入力するとき**
ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「直接入力」→電話番号／Eメールアドレスを入力

■ **振り分ける電話番号／Eメールアドレスを電話帳のグループから選択するとき**
ルール欄を選択→「送信者」／「宛先」→「グループ」→グループを選択
- USIMカードに登録されているグループは設定できません。

■ **テキストから選択するとき**
ルール欄を選択→「件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4 ✉（OK）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-26
- フォルダ名を変更したい
- 「シークレット設定」を設定したい
- メールの自動振り分けルールを変更したい
- フォルダを削除したい

設定
- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.10-3）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.10-3）

便利

S!メール送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ **履歴から入力するとき**
表示されている履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択
- 電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ **履歴から入力するとき**
表示されている履歴を選択→[✉]（完了）

■ **電話帳から選択するとき**
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）→電話番号／Eメールアドレスを選択→[✉]（完了）

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力→[✉]（完了）

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→[✉]（完了）

■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択→[✉]（完了）

- 電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

- 複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄👤の横に件数が表示されます。

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい 【TOに変更】／【CCに変更】／【BCCに変更】

S!メール作成画面で宛先欄を選択→変更したい宛先を反転表示→[📷]→「TOに変更」／「CCに変更」／「BCCに変更」→[✉]（完了）

宛先を削除したい 【削除】

S!メール作成画面で宛先欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先を反転表示→[📷]→「削除」→「1件」→[✉]（完了）

■ **すべて削除するとき**
[📷]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉]（完了）

添付したファイルを確認したい

S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択→確認したいファイルを選択

添付したファイルを削除したい 【削除】

S!メール作成画面で添付ファイル欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→[📷]→「削除」→「1件」→[✉]（完了）

■ **すべて削除するとき**
[📷]→「削除」→「全件」→「はい」→[✉]（完了）

フィーリングメールを送信したい 【フィーリング設定】

S!メール作成画面で[📷]→「フィーリング設定」→フィーリングを選択→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい 【フィーリング設定解除】

S!メール作成画面で[📷]→「フィーリング設定解除」

作成中のS!メールを下書きに保存したい 【下書きに保存】

S!メール作成画面で[📷]→「下書きに保存」

- 宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ保存できます。

テンプレートを利用してS!メールを作成したい 【デコレメールテンプレート呼出し】

S!メール作成画面で[📷]→「デコレメールテンプレート呼出し」→テンプレートを選択

- すでにテンプレートを利用しているときは、編集内容を破棄する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると編集内容は破棄され、新たにテンプレートを呼び出すことができます。

入力した本文をすべて削除したい [本文削除]

S!メール作成画面で本文入力欄を反転表示→[カメラ]→「本文削除」→「はい」

S!メール作成画面で本文をスクロールする単位を設定したい [スクロール単位]

S!メール作成画面で本文入力欄を反転表示→[カメラ]→「スクロール単位」→項目を選択

S!メール作成画面で本文の文頭／文末に移動したい [画面移動]

S!メール作成画面で入力した本文入力欄を反転表示→[カメラ]→「画面移動」→項目を選択

送信前にデルモジ表示を確認したい [デルモジ表示]

S!メール作成画面で[カメラ]→「デルモジ表示」

「アクション設定」を設定したメールを送信したい [アクション設定]

S!メール作成画面で[カメラ]→「アクション設定」

■ 相手がメールを読むと自動で削除されるかどうか設定するとき

「メール自動消去」→項目を選択

■ 相手に返信を要求するとき

「返信リクエスト」→「On/Off 設定」→「On」→返信を要求する旨のメッセージを入力

- 「On」に設定しているときは、「返信リクエスト」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手が転送できないようにするとき

「転送NG」→「On/Off設定」→「On」→転送できない旨のメッセージを入力

- 「On」に設定しているときは、「転送NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手が削除できないようにするとき

「削除NG」→「On/Off設定」→「On」→削除できない旨のメッセージを入力

- 「On」に設定しているときは、「削除NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ 相手がクイズ（一問一答）に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「On/Off 設定」→「一問一答」→問題欄を選択→問題を入力→答え欄を選択→答えを入力→メッセージ（正解時）欄を選択→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ（不正解時）欄を選択→不正解の場合のメッセージを入力→[メール]（完了）

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

■ 相手がクイズ（選択式）に答えないとメールを読めないようにするとき

「クイズ」→「On/Off設定」→「選択式」→問題欄を選択→問題を入力→答え欄を反転表示→[左右キー]で正解番号を選択→選択肢１～４欄を選択しそれぞれに選択肢を入力→メッセージ（正解時）欄を選択→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ（不正解時）欄を選択→不正解の場合のメッセージを入力→[メール]（完了）

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

- 「アクション設定」を設定すると、メールを受け取った相手側の動作を設定できます。

作成中のS!メールの配信確認を設定したい

S!メール作成画面で[カメラ]→「送信オプション」→「配信確認」→項目を選択

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の730SCに送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のS!メールの返信先を設定したい

S!メール作成画面で[カメラ]→「送信オプション」→「返信先指定」→項目を選択

- 返信先は「返信先アドレス設定」(➔P.10-5)から設定できます。

作成中のS!メールの優先度を設定したい

S!メール作成画面で[カメラ]→「送信オプション」→「優先度」→項目を選択

作成中のS!メールのメールサーバーに保存する期限を設定したい

S!メール作成画面で[カメラ]→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

作成中のS!メールの配信時間を指定したい

S!メール作成画面で[カメラ]→「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択

サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい

S!メール作成画面で[カメラ]→「送信オプション」→「サーバーメール転送設定」→項目を選択

- サーバーメール転送時(➔P.4-25)のみ設定できます。

いろいろなデコレメールを利用したい [デコレメール]

S!メール作成画面で本文入力欄を選択→[カメラ]→「デコレメール」

■ データフォルダからBGMを挿入するとき

「挿入」→「BGMを挿入」→「着うた・メロディ」/「ミュージック」→ファイルを選択

■ BGMを録音して挿入するとき

「挿入」→「BGMを挿入」→「ボイスレコーダー起動」→(➔P.7-7 音声を録音する❷)

■ 区切り線を挿入するとき

「挿入」→「区切り線を挿入」

入力済みの文字の文字色/文字サイズを変更したい [デコレメール]

文字が入力済みのS!メール作成画面で本文欄を選択→[カメラ]→「デコレメール」→[カメラ](範囲選択)→装飾する最初の文字に[十字キー]でカーソルを合わせ[■](始点)→[十字キー]で変更したい範囲を指定→[■](終点)

■ 文字色を変えるとき

「色」→文字色を選択

■ 文字サイズを変えるとき

「サイズ」→文字サイズを選択

S!メールの本文を作成中に定型文を利用したい [定型文]

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「定型文」→定型文を選択

S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭/文末に移動させたい [カーソル移動]

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「カーソル移動」→項目を選択

S!メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい　［入力／変換設定］

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**
「予測入力Off」／「予測入力On」

■ **学習機能を設定／解除するとき**
「学習Off」／「学習On」

■ **ユーザ辞書をリセットするとき**
「ユーザ辞書リセット」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**
「絵／記号履歴リセット」

S!メールに情報を挿入したい

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「その他」

■ **署名を挿入するとき**
「署名挿入」

■ **電話帳の番号を挿入するとき**
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）

■ **オーナー情報を挿入するとき**
「オーナー情報引用」

S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい　［ユーザ辞書登録］

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「ユーザ辞書登録」→（➲P.2-10 入力した文字をユーザ辞書に登録する❷）

他社送信用絵文字を設定したい　［他社送信用絵文字］

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「他社送信用絵文字」→項目を選択

S!メールの本文を作成中にアドレスを簡単に入力したい　［簡単アドレス入力］

S!メールの本文を作成中に[カメラ]→「簡単アドレス入力」→項目を選択

テンプレートを利用してS!メールを送信したい

[メール]→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→[■]（メール）→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

便利

SMS送信に関する便利な機能

「電話帳検索」以外の方法で宛先を入力したい

SMS作成画面で宛先欄を選択

■ **履歴から入力するとき**
表示されている履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択

- 電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。
- 「優先電話番号設定」の「メール」にEメールアドレスが設定されている電話帳は、宛先に設定できません。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのSMS作成画面で宛先欄を選択→「宛先追加」

■ **履歴から入力するとき**
表示されている履歴を選択→[メール]（完了）

■ **電話帳から選択するとき**
「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→電話番号を選択→[メール]（完了）

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力→[メール]（完了）

■ **電話帳のグループから選択するとき**
「グループ検索」→グループを選択→✉（完了）
- 電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。
- 「優先電話番号設定」の「メール」にEメールアドレスが設定されている電話帳は、宛先に設定できません。

- 複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄👤の横に件数が表示されます。

宛先を削除したい　[削除]
SMS作成画面で宛先欄を選択

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先を反転表示→📷→「削除」→「1件」→✉（完了）

■ **すべて削除するとき**
📷→「削除」→「全件」→「はい」→✉（完了）

作成中のSMSを下書きに保存したい　[下書きに保存]
SMS作成画面で📷→「下書きに保存」
- 宛先、本文のいずれかが入力されている場合のみ、メニューに「下書きに保存」が表示されます。

作成中のSMSをS!メールに変更したい　[S!メールに変換]
SMS作成画面で📷→「S!メールに変換」

作成中のSMSの配信確認を設定したい
SMS作成画面で📷→「送信オプション」→「配信確認」→項目を選択
- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の730SCに送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のSMSの有効期限を設定したい
SMS作成画面で📷→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

入力した本文をすべて削除したい　[本文削除]
SMS作成画面で本文入力欄を反転表示→📷→「本文削除」→「はい」

送信前にデルモジ表示を確認したい　[デルモジ表示]
SMS作成画面で本文入力欄を反転表示→📷→「デルモジ表示」

テンプレートを利用してSMSを送信したい　[送信]
✉→「テンプレート」→「定型文」→利用したい定型文を反転表示→📷→「送信」

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい
✉→「新着メール受信」

受信したS!メールに入力されているすべての宛先へ返信したい　[全員に返信]
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→📷→「全員に返信」→項目を選択→メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する❻）

受信通知／サーバーメールを転送したい　[転送]
✉→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を反転表示→📷→「転送」→項目を選択→メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

デルモジ表示したい　[デルモジ表示]
✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→📷→「デルモジ表示」

受信メールの差出人を電話帳に登録したい [電話帳登録]

(メール)→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「電話帳登録」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→各項目を登録（➲P.2-13 電話帳に登録する❷）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→各項目を登録（➲P.2-13 電話帳に登録する❷）

送信者や宛先を確認したい [メールアドレス表示]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「メールアドレス表示」

メールの内容をコピーしたい [コピー]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「コピー」

■ 差出人や宛先をコピーするとき
「アドレス」→コピーしたいアドレスを選択

■ 件名をコピーするとき
「件名」（➲P.2-24 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい）

■ 本文をコピーするとき
「本文」（➲P.2-24 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい）

表示中のメールを削除したい [削除]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「削除」→「はい」

メールの詳細を確認したい [詳細]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「詳細」

添付画像の表示サイズを設定したい [画像表示設定]

(メール)→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「画像表示設定」→項目を選択

メールの文字サイズを設定したい [文字サイズ]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「文字サイズ」→項目を選択

メールの文字コードを設定したい [文字コード変換]

(メール)→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「文字コード変換」→項目を選択

メッセージ画面のスクロール単位を設定したい [スクロール単位]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「スクロール単位」→項目を選択

メッセージ画面の文頭／文末に移動したい [画面移動]

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→(カメラ)→「画面移動」→項目を選択

添付ファイルを確認したい

(メール)→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ファイルを選択→「開く」

- 確認前にファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「保存」を選択します。
- 確認前にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダーに登録するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」／「カレンダーに登録」を選択します。
- 確認後にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダーに登録するには、(■)（登録）を押します。

- 回数制限があり、1回だけ再生／表示できるファイルが添付されているときは、表示／再生回数が1回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

メール一覧画面でメールサーバーに保存されているメールの続きを受信したい [続き受信]

[メール]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[カメラ]→「続き受信」

メールサーバーからのメールの受信を中止したい [受信中止]

[メール]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[カメラ]→「受信中止」

メール一覧画面で全員に返信したい [全員に返信]

[メール]→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[カメラ]→「全員に返信」→項目を選択→メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する❻）

便利

メールの利用／管理に関する便利な機能

送信済みメール、未送信メールを編集して送信したい [編集と送信]

[メール]→「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[カメラ]→「編集と送信」→メールの作成操作（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

S!メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい [添付ファイル保存]

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→[カメラ]→「添付ファイル保存」

■ **1件保存するとき**

保存したいファイルを反転表示→[■]（選択）

■ **複数保存するとき**

[カメラ]→「複数件保存」→保存したいファイルをチェック→[メール]（保存）

■ **すべて保存するとき**

[カメラ]→「全件保存」

- 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、[■]（OK）→[■]（選択）→ファイル名を編集→[メール]（保存）を押します。

受信S!メールや送信済みS!メールをデコレメールテンプレートに保存したい [デコレメールテンプレートに保存]

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→[カメラ]→「デコレメールテンプレートに保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます（➲P.4-5）。

メール一覧画面から電話帳に登録したい [電話帳登録]

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを反転表示→[カメラ]→「電話帳登録」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→各項目を登録（➲P.2-13 電話帳に登録する❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→各項目を登録（➲P.2-13 電話帳に登録する❷）

メールを保護／保護解除したい　［保護］／［保護解除］

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

■ 1件保護／保護解除するとき

保護／保護解除したいメールを反転表示→📷→「保護」／「保護解除」→「1件」

■ 複数保護／保護解除するとき

📷→「保護」／「保護解除」→「複数」→保護／保護解除したいメールをチェック→✉（保護）／✉（保護解除）

■ すべて保護／保護解除するとき

📷→「保護」／「保護解除」→「全件」

メール一覧画面の表示方法を設定したい　［表示切替］

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→📷→「表示切替」→項目を選択

- メニューから行った表示切替は、メール一覧画面を閉じると無効になります。
- 「表示切替」の項目は、選択するフォルダによって異なります。

メール一覧画面のメールを並べ替えたい　［ソート］

✉→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→📷→「ソート」→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順（「日付：古い順」／「日付：新しい順」）
  - 送信者の順（「送信者順」）
  - 宛先の順（「宛先順」）
  - 未読／既読を分けて表示（「未読／既読順」）
  - メールの種類ごとに分けて表示（「メールタイプ順」）
  - 件名の順（「件名順」）
  - メールサイズの大きい順（「サイズ順」）
  - 添付ファイルあり／なしを分けて表示（「添付順」）
  - 優先度の順（「優先度順」）
  - 保護されている／されていないメールを分けて表示（「保護順」）
- 「メールタイプ順」を選択したときは、S!メール（受信通知を含む）、USIMカードに保存されているSMS、730SC本体に保存されているSMSの順で表示されます。
- 「送信者順」「件名順」を選択したときは、半角記号、半角数字、半角英字、半角カタカナ、全角記号、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字、全角数字、全角英字の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「タイトルなし」が優先されます。

メールを開封済み／未開封にしたい　［開封済みに変更］／［未開封に変更］

✉→「受信ボックス」→フォルダを選択

■ 1件開封済み／未開封にするとき

開封済み／未開封にしたいメールを反転表示→📷→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「1件」

■ 複数開封済み／未開封にするとき

開封済み／未開封にしたいメールを反転表示→📷→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「複数」→開封済み／未開封にしたいメールをチェック→✉（未読／既読）

■ すべて開封済み／未開封にするとき

📷→「開封済みに変更」／「未開封に変更」→「全件」

メール一覧画面でSMSを730SC本体／USIMカードに移動したい　［本体へ移動］／［USIMに移動］

✉→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→移動したいSMSを反転表示→📷→「本体へ移動」／「USIMに移動」

- USIMカードには、最大10通のSMSを保存できます。USIMカードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。
- 作成したフォルダにある受信SMSをUSIMカードに移動する場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとUSIMカードに移動します。

メールやフォルダの詳細情報を確認したい　［詳細］

■ **メールの詳細を確認するとき**

[✉]→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを反転表示→[📷]→「詳細」

■ **フォルダの保存状況を確認するとき**

[✉]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを反転表示→[📷]→「詳細」

デコレメールテンプレートを登録したい　［デコレメールテンプレート保存］

S!メール作成画面で[📷]→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます（➲P.4-5）。

下書きからメールを送信したい

[✉]→「下書き」→メールを選択→[✉]（送信）

- 宛先が入力されていないときは[✉]（送信）は表示されません。

登録したデコレメールテンプレートを表示して確認したい

[✉]→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択

登録したデコレメールテンプレートを編集したい

[✉]→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→登録したデコレメールテンプレートを選択→[■]（メール）→本文入力欄を選択→本文を入力→[■]（完了）→[📷]→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい　［メール添付送信］

[✉]→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→[📷]→「メール添付送信」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

登録したデコレメールテンプレートの詳細を確認したい　［詳細］

[✉]→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→[📷]→「詳細」

配信レポートを確認したい

[✉]→「送信済みボックス」→フォルダを選択→「配信確認」を設定したメールを選択→[✉]（レポート）

- SMSまたは電話番号を宛先にしたS!メールで送信した場合に、確認できます。

未送信メールを再送信したい

[✉]→「未送信ボックス」→再送信したいメールを反転表示→[✉]（再送信）

未送信メールを編集して送信したい　［編集］

[✉]→「未送信ボックス」→編集したいメールを反転表示→[📷]→「編集」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

未送信メールのエラー詳細を確認したい　［エラー詳細］

[✉]→「未送信ボックス」→確認したいメールを反転表示→[📷]→「エラー詳細」

メールサーバーに保存されているメールを確認したい

[✉]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

- メールリストを受信後に[✉]（更新）または[📷]→「メールリスト更新」を選択すると、再度更新ができます。

4

メール

メールリストからメールを受信したい

[メール]→「サーバーメール操作」

■ **メールを選択して受信するとき**

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→受信したいメールを反転表示→[■]（受信）

- 受信したいメールを反転表示して[カメラ]を押し、「受信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

■ **すべてのメールを受信するとき**

「メール全受信」

- 「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→[カメラ]→「メール全受信」を選択しても同じ操作を行うことができます。

メールサーバーに保存されているメールを転送したい **[サーバーメール転送]**

[メール]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→メールを反転表示→[カメラ]→「サーバーメール転送」→宛先欄を選択

■ **履歴を利用して宛先を選択するとき**

表示されている履歴を選択→[メール]（送信）

■ **電話帳から宛先を選択するとき**

「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→電話番号／Eメールアドレスを選択→[メール]（送信）

■ **電話番号を宛先として直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力→[メール]（送信）

■ **Eメールアドレスを宛先として直接入力するとき**

「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力→[メール]（送信）

■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**

「グループ検索」→グループを選択→宛先の選択画面が表示された場合は入力したい宛先を選択→[メール]（送信）

- 件名や本文を編集するには、宛先入力後に件名欄または本文入力欄を選択し、編集操作（➲P.4-3）をします。
- 転送するメールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうかをあらかじめ設定することができます（➲P.4-18 サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい）。

メールサーバーに保存されているメールをすべて削除したい

[メール]→「サーバーメール操作」→「メール全削除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→項目を選択

メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい **[削除]**

[メール]→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ **1件削除するとき**

削除したいメールを反転表示→[カメラ]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

[カメラ]→「削除」→「複数」→削除したいメールをチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

[カメラ]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

メールサーバーの使用状況を確認したい

[メール]→「サーバーメール操作」→「サーバーメール容量」

- 最新の情報に更新する場合は[■]（更新）を押します。

4 メール

メモリの使用状況を確認したい

[メール]→「メモリ容量確認」

- 「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」のサイズ容量が表示されます（メール（サイズ）画面）。
- メールの件数容量を確認したいときは、メール（サイズ）画面で[カメラ]（件数）を押します（メール（件数）画面）。
- USIMカード内に保存したSMSの件数は、メール（件数）画面でのみ確認できます。
- 確認したメモリを削除するには[メール]（削除）→「はい」を選択します（➲P.2-32 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

便利

フォルダ管理に関する便利な機能

フォルダ名を変更したい ［フォルダ名変更］

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを反転表示→[カメラ]→「フォルダ名変更」→名前を入力

「シークレット設定」を設定したい ［シークレット設定］

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを反転表示→[カメラ]→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→[■]（OK）

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、[カメラ]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）を押します。

メールの自動振り分けルールを変更したい ［ルール変更］

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→ルールを変更したいフォルダを反転表示→[カメラ]→「メール振り分け設定」→変更したいルール欄を反転表示→[カメラ]→「ルール変更」→（➲P.4-14 メールを振り分ける❸）

振り分けルールを削除したい

[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→削除したいルールがあるフォルダを反転表示→[カメラ]→「メール振り分け設定」

■ 1件削除するとき

削除したいルール欄を反転表示→[カメラ]→「削除」→「1件」

■ すべて削除するとき

[カメラ]→「削除」→「全件」→「はい」

フォルダを削除したい ［削除］

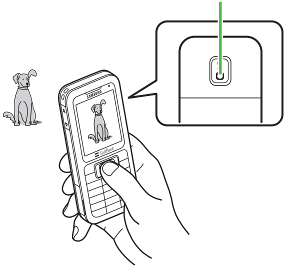
[メール]→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→削除したいフォルダを反転表示→[カメラ]→「削除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

カメラ

5

カメラについて

写真（静止画）や動画を撮影できます。静止画はJPEG形式で、動画は3GP形式で保存されます。



カメラ利用時のご注意

- カメラのレンズ部に指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手振れにご注意ください。画像がぶれる原因となります。730SCが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。
- カメラ利用時に、730SCを静電気が発生する装置に近づけないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 730SC を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- 電池の残量が少ないと、カメラが起動しないことがあります。

ビューファインダー（撮影画面）の見かた

730SCのカメラを起動すると、ビューファインダーの向きが縦向きで表示されます。



静止画のビューファインダー



動画のビューファインダー

❶撮影モード
- ：通常撮影
- ：連写（6枚）
- ：連写（9枚）
- ：フォトコンビ
- ：フレーム
- ：夜間撮影

❷撮影サイズ

静止画撮影時
- 960 1280：1.3M（960×1280）
- 480 640：VGA（480×640）
- 240 320：壁紙（240×320）

動画撮影時
- 176 144：176×144
- 128 96：128×96

❸セルフタイマー
- ：Off
- ：3秒
- ：5秒
- ：10秒

❹ホワイトバランス
- ：オート
- ：晴天
- ：白熱灯
- ：蛍光灯
- ：曇り

❺保存先設定
- ：本体

❻撮影可能残数

❼撮影時間
- ：S!メール添付
- ：標準

❽音声録音
- ：映像＋音
- ：映像のみ

❾撮影経過時間

❿プログレスバー

⓫撮影データの容量（「S!メール添付」時）／総撮影時間（「標準」時）

静止画撮影モードについて

静止画撮影は、撮影モードで用途に合わせて設定します。
撮影モードは、１枚ずつ撮影するときは「通常撮影」、連写するときは「連写」または「フォトコンビ」、フレーム付きの静止画を撮影するときは「フレーム」、夕暮れや夜の背景で人物を撮影するときは「夜間撮影」に設定します。
撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。

撮影サイズについて

撮影サイズは1.3M（960×1280）、VGA（480×640）、壁紙（240×320）の3種類から選択します。

撮影モードについて

各撮影モードの特長は次のとおりです。

撮影モード	特　長
通常撮影	メールに添付したり待受画面の背景にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
連写	6、9枚の静止画を自動で連続撮影できます。
フォトコンビ	手動で連続撮影できます。フレームを選んで撮影すると、連続撮影したすべての静止画が縮小されて１枚の静止画内に配置されます。
フレーム	フレーム付きの静止画を撮影できます。
夜間撮影	夕暮れや夜の背景で人物を撮影できます。

静止画を撮影する

1 [カメラキー]
- 動画撮影モードが起動した場合は、[メールキー]（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。
- [■]→「カメラ」→「カメラ」でも起動できます。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 **撮影したい被写体をビューファインダーに表示**
- [上キー]／[下キー]または[▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。
- [左キー]／[右キー]を押すと明るさを変更できます。

3 **[■]（[カメラ]）**
- 撮影をやり直す場合は、[CLEAR/メモ]を押します。

4 **[■]（保存）**



静止画保存確認画面

ショートカット（ボタン操作）を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
1	撮影モード	通常撮影、連写6枚、連写9枚、フォトコンビ、フレーム、夜間撮影
2	セルフタイマー	Off、3秒、5秒、10秒
0	クイックプレイ	–
✉	カメラ・ビデオ変更	–
▲／▼／▲／▼	ズーム	–
◀▶	明るさ調整	–

- 静止画撮影中にボタン操作を行っても、操作音は鳴りません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-8
- 撮影モードを切り替えたい
- 撮影サイズを設定したい
- セルフタイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- エフェクト（色調）の設定をしたい
- 撮影した写真を確認したい
- 静止画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した静止画を各種の画面に設定したい
- 撮影した静止画を拡大して確認したい
- クイックプレイで表示した静止画を削除したい
- クイックプレイで表示した静止画を各種の画面に設定したい
- クイックプレイで静止画の詳細を確認したい

設定
- ビューファインダーのアイコン表示を設定する（☞P.10-8）
- 自動保存を設定する（☞P.10-8）
- 機能説明を設定する（☞P.10-8）
- 画質を設定する（☞P.10-8）
- ISOを設定する（☞P.10-8）
- 測光モードを設定する（☞P.10-8）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.10-8）
- シャッター音を設定する（☞P.10-8）

いろいろな撮影をする

連続写真を撮影する

1. 📷
   - 動画撮影モードが起動した場合は、✉（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。
2. 📷→🖼を反転表示→「連写」→撮影枚数を選択
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います。
3. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
   - ▲／▼または▲／▼を押すと拡大／縮小できます。
   - ◀／▶を押すと明るさを変更できます。
4. ■（📷）
   - 撮影をやり直す場合は、CLEAR/メモを押します。
5. 保存する写真をチェック→✉（保存）

5

カメラ

分割撮影（フォトコンビ）をする

1. ［カメラ］
   - 動画撮影モードが起動した場合は、［メール］（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。
2. ［カメラ］→［画像］を反転表示→「フォトコンビ」
   - ［メール］（表示）を押すと、［左右］で各フレームを確認できます。一覧画面に戻るときは、［メール］（リスト）を押します。
3. フレームを選択
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います。
4. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示→選んだフレームに合わせて［■］（［カメラ］）
   - ［上］／［下］または［▲］／［▼］を押すと拡大／縮小できます。
   - ［右］／［左］を押すと明るさを変更できます。
5. 操作4を繰り返して撮影したい被写体を撮影→［■］（［カメラ］）
   - 撮影をやり直す場合は、［CLEAR/メモ］を押します。
6. ［■］（保存）

フレーム付きの静止画を撮影する

1. ［カメラ］
   - 動画撮影モードが起動した場合は、［メール］（カメラ）を押して、撮影モードを切り替えます。
2. ［カメラ］→［画像］を反転表示→「フレーム」
   - ［メール］（表示）を押すと、［左右］で各フレームを確認できます。一覧画面に戻るときは、［メール］（リスト）を押します。
3. フレームを選択
   - 必要に応じて撮影前に設定を行います。
4. 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
   - ［上］／［下］または［▲］／［▼］を押すと拡大／縮小できます。
   - ［右］／［左］を押すと明るさを変更できます。
5. ［■］（［カメラ］）
   - 撮影をやり直す場合は、［CLEAR/メモ］を押します。
6. ［■］（保存）

動画撮影モードについて

手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP形式でデータフォルダの「ムービー」フォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は撮影時間を「S!メール添付」（➔P.5-9）に設定してください。

動画を撮影する

1 [■]→「カメラ」→「ビデオカメラ」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- [上]／[下]または[▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。
- [左]／[右]を押すと明るさを変更できます。

3 [■]（[●]）

- [✉]（[❚❚]）を押すと、一時停止できます。撮影を再開するには[✉]（[●]）を押します。

4 [■]（[▪]）

- 撮影が終了します。撮影時間が経過した場合は、自動的に撮影が終了します。

5 [■]（保存）



動画保存確認画面

- 一時停止、撮影再開時は、ボタンを押しても操作音は鳴りません。

ショートカット（ボタン操作）を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
[1]	撮影モード	S!メール添付、標準
[2]	セルフタイマー	Off、3秒、5秒、10秒
[3]	音声録音	映像＋音、映像のみ
[✉]	カメラ・ビデオ変更	－
[上]／[下]／[▲]／[▼]	ズーム	－
[左]／[右]	明るさ調整	－

- 動画撮影中にボタン操作を行っても、操作音は鳴りません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-9

- 撮影時間を設定したい
- 撮影サイズを設定したい
- セルフタイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- エフェクト（色調）の設定をしたい
- 音声録音の設定をしたい
- 撮影した動画を確認したい
- 動画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 撮影した動画を保存前に確認したい
- 撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい

設定

- ビューファインダーのアイコン表示を設定する（☞P.10-8）
- 自動保存を設定する（☞P.10-8）
- 機能説明を設定する（☞P.10-8）
- 画質を設定する（☞P.10-8）

便利

静止画撮影に関する便利な機能

撮影モードを切り替えたい

[カメラ]→[カメラ]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

撮影サイズを設定したい

[カメラ]→[カメラ]→[240/320]を反転表示→項目を選択

- 選択できる項目は、「撮影サイズについて」（➲P.5-4）を参照してください。

セルフタイマーの設定をしたい

[カメラ]→[カメラ]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

[カメラ]→[カメラ]→[AUTO WB]を反転表示→項目を選択

エフェクト（色調）の設定をしたい

[カメラ]→[カメラ]→[アイコン]を反転表示→項目を選択

撮影した写真を確認したい

[カメラ]→[カメラ]→[アイコン]を反転表示→「データフォルダ」→ファイルを選択

静止画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい

[カメラ]→[カメラ]→[HELP]を反転表示

撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい　［名前を付けて保存］

[カメラ]→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→[カメラ]→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力

撮影した静止画を各種の画面に設定したい　［設定］

[カメラ]→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→[カメラ]→「設定」

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→必要に応じて[✉]（回転）で向きを調節→必要に応じて[▲]／[▼]でサイズを調整→[■]（設定）

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-15）→[■]（設定）

撮影した静止画を拡大して確認したい　［ズーム］

[カメラ]→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→[カメラ]→「ズーム」

- [▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。
- [十字キー]を押すと表示位置を変更できます。

撮影した静止画を送信したい

[カメラ]→被写体をビューファインダーに表示→撮影の操作→[✉]（送信）

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

- 撮影した静止画が300Kバイトを超えている場合は、データフォルダに保存されます。サイズを変更してから添付してください（➲P.4-4 ファイルを添付する）。

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.9-3）

クイックプレイで静止画を確認したい

[カメラ]→[□]→[◀■▶]で画像を確認

- [▲]／[▼]を押しても、前後の静止画を確認できます。
- [■]（ズーム）を押すと、静止画を拡大できます。

クイックプレイで表示した静止画を送信したい

[カメラ]→[□]→[◀■▶]で画像を確認→[✉]（送信）

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.9-3）

クイックプレイで表示した静止画を削除したい　**[削除]**

→→で画像を確認→→「削除」→「はい」

クイックプレイで表示した静止画を各種の画面に設定したい　**[設定]**

→→で画像を確認→→「設定」

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**
「壁紙」→必要に応じて（回転）で向きを調節→必要に応じて／でサイズを調整→（設定）

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**
「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）→（設定）

クイックプレイで表示した静止画を拡大して確認したい

→→で画像を確認→（ズーム）

- ／を押すと拡大・縮小できます。
- を押すと表示位置を変更できます。

クイックプレイで静止画の詳細を確認したい　**[詳細]**

→→で画像を確認→→「詳細」

便利

動画撮影に関する便利な機能

撮影時間を設定したい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示→項目を選択

- 「標準」に設定したときは、通常撮影で最大約1時間の撮影ができます。
- 「S!メール添付」に設定したときは、自動的に「エコノミー」に設定されます。

撮影サイズを設定したい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示→項目を選択

セルフタイマーの設定をしたい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示→項目を選択

エフェクト（色調）の設定をしたい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示→項目を選択

音声録音の設定をしたい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示→項目を選択

撮影した動画を確認したい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→→「データフォルダ」→ファイルを選択

- 「ムービー」フォルダを呼び出します。

動画撮影のボタンに割り当てられた機能を確認したい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→→を反転表示

撮影した動画を保存前に確認したい　**[再生]**

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→動画の撮影操作→→「再生」

撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい　**[名前を付けて保存]**

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→動画の撮影操作→→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力

撮影した動画を送信したい

→「カメラ」→「ビデオカメラ」→被写体をビューファインダーに表示→（）→（）→（送信）

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➔P.9-3）

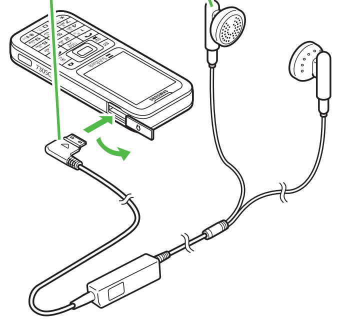
メディアプレイヤー

6

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーでは、データフォルダに保存されている音楽や動画ファイルを再生できます。

- 再生音はスピーカーからだけでなく、ステレオイヤホンマイクを利用して聴くことができます。右の図を参考に差し込んでください。また、スピーカー再生するときは、ステレオイヤホンマイクを本体から外します（マナーモード中にステレオイヤホンマイクを接続した状態で音楽や動画ファイルを再生すると、ステレオイヤホンマイクを本体から外したときにスピーカーから音声は出ません）。



- ステレオイヤホンマイクは音楽再生だけでなく、通話にもお使いいただけます。ステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと通話できます。

注意

- **インターネットやパソコンからは、音楽ファイルのダウンロードはできません。赤外線通信、またはメール添付でのみファイルを取り込めます。**

メディアプレイヤーで再生できるファイル

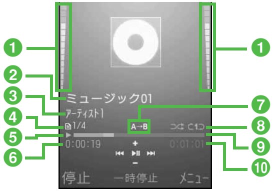
プレイヤー	ファイル（拡張子）
ミュージック	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp（音声のみ））Softbank Music Contents（smc）
ムービー	MPEG4、H.263（mp4、3gp）

- 上記以外の、メディアプレイヤーに対応していない音楽ファイルを再生したい場合は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダからファイルを選択します。この場合、対応しているファイルでも、「着うた・メロディ」フォルダ以外の場所に保存したときは再生できません。

注意

- **動画ファイルの場合は、解像度が 176 × 144を超えるファイルは再生できません。**

音楽再生画面の見かた



音楽再生画面

❶ 再生音量

❷ 曲名（曲名情報がない場合はファイル名）

❸ アーティスト名

❹ ファイル番号／総ファイル数

❺ 状態：再生／一時停止／停止

❻ 再生経過時間

❼ 部分的にリピート

❽ 再生パターン設定
- CA⊃：全てリピート
- ⊂ ⊃：Off
- C1⊃：1曲リピート
- ⤨：シャッフル

❾ プログレスバー

❿ 総再生時間

動画再生画面の見かた



動画再生画面

❶ 再生音量

❷ ビデオタイトルとアーティスト名（ビデオタイトルがない場合はファイル名）

❸ 状態：再生／一時停止／停止

❹ 再生経過時間

❺ ファイル番号／総ファイル数

❻ プログレスバー

❼ 総再生時間

❽ 再生パターン設定／部分的にリピート／再生スピード

音楽を再生する

❶ [■]→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」

❷ ファイルの選択操作

■ 最後に再生したファイルを再生するとき
「続き再生」

■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
「全曲一覧」→ファイルを反転表示→[■]（再生）

■ プレイリストを再生するとき
「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→[✉]（再生）

■ 最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき
「最近聴いた曲」→ファイルを反転表示→[■]（再生）

■ よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき
「よく聴く曲」→ファイルを反転表示→[■]（再生）

■ アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき
「アーティスト」→アーティストを選択→ファイルを反転表示→[■]（再生）

■ アルバム別の一覧からファイルを選択するとき
「アルバム」→アルバムを選択→ファイルを反転表示→[■]（再生）

■ ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき
「ジャンル」→ジャンルを選択→ファイルを反転表示→[■]（再生）

- 音楽ファイルを着信音に設定するには、一覧画面でファイルを反転表示するか、再生を停止した状態で[✉]（設定）を押し、設定操作をします（➔P.2-31）。ただし、着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- 再生を終了して一覧画面に戻るには、[✉]（停止）を押し、[CLEAR/メモ]を押します。ただし、メニュー表示中またはメニュー操作中に[CLEAR/メモ]を押した場合は、メニューを閉じるか1つ前の画面に戻ります。
- 再生中に前後の曲に移動するには、[▭◂]を押すと次の曲に移動します。[▸▭]を押すと曲の先頭に移動します。曲の先頭で[▸▭]を押すと前の曲に移動します。
- 指定した区間を繰り返し再生するには再生中に始点で[文字]を押し、終点で[文字]を押します。解除するときは再度[文字]を押します。
- 再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると音楽再生は一時停止のまま音楽再生画面に戻ります。
- 再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、もう一度押すと表示が消えます。

ミュージックのフォルダ構成について

ミュージックのフォルダ構成は次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全曲一覧	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	「ミュージック」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
最近聴いた曲	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく聴く曲	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）
アーティスト	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアーティスト別に表示
アルバム	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアルバム別に表示

フォルダ	概　要
ジャンル	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをジャンル別に表示

・フォルダの表示・非表示は「ミュージックメニュー」（➔P.10-7）から設定できます。

注意

・**「全曲一覧」フォルダ内のファイルを削除したり設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「ミュージック」フォルダや「着うた・メロディ」フォルダにも反映されます。**

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

ボタン	内　容
■	再生／一時停止
（次へボタン）	次の曲へ
（前へボタン）	前の曲へ
（音量アップボタン）	音量アップ
（音量ダウンボタン）	音量ダウン
（メールボタン）	停止
（カメラボタン）	メニュー
（文字ボタン）	部分的にリピート
1	再生パターン設定
3	タイムサーチ

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-8
- 曲名やアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- ファイルを削除したい
- ファイル名を編集したい
- 保護してファイル名の編集や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 指定した位置から再生したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい
- 歌詞を表示したい

設定
- 再生パターンを設定する（☞P.10-7）
- 再生中の音量を設定する（☞P.10-7）
- 表示するフォルダを設定する（☞P.10-7）

動画を再生する

1 ■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」

2 ファイルの選択操作

■ **最後に再生したファイルを再生するとき**
「続き再生」

■ **すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **プレイリストを再生するとき**
「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→✉（再生）

■ **最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「最近見たムービー」→ファイルを反転表示→■（再生）

■ **よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「よく見るムービー」→ファイルを反転表示→■（再生）

- 動画ファイルを着信音に設定するには、一覧画面でファイルを反転表示するか、再生を停止した状態で✉（設定）を押し、設定操作をします（➔P.2-32）。ただし、着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。

ムービーのフォルダ構成について

ムービーのフォルダ構成は、次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全ムービー一覧	「ムービー」で再生できるすべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	「ムービー」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
最近見たムービー	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく見るムービー	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

- フォルダの表示・非表示は「ムービーメニュー」（➔P.10-7）から設定できます。

注意

- **「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルを削除したり設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「ムービー」フォルダにも反映されます。**

ショートカット（ボタン操作）について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に操作できます。再生している状態やファイルの種類によっては、操作できない場合があります。

標準画面表示時

ボタン	内　容
	再生／一時停止
	次のムービーへ
	前のムービーへ
	音量アップ
	音量ダウン
	停止
	メニュー
	部分的にリピート
1	再生パターン設定
2	全画面表示
3	タイムサーチ
4	画面表示サイズ
5	画面キャプチャ
6	再生速度アップ
7	再生速度ダウン

全画面表示時

ボタン	内　容
	再生／一時停止
	音量アップ
	音量ダウン
	前のムービーへ
	次のムービーへ
	部分的にリピート
1	再生パターン設定
2	標準画面表示
5	画面キャプチャ
6	再生速度アップ
7	再生速度ダウン

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-10

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルの順序を変更したい
- ファイルを削除したい
- ファイル名を編集したい
- 保護してファイル名の編集や削除などを制限したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 画面全体に動画を表示したい
- 表示サイズを変更したい
- 指定した位置から再生したい
- 動画から静止画を切り取って「ピクチャー」フォルダに保存したい
- 再生速度を変更したい
- ボタンに割り当てられた機能を確認したい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.10-7）
- 再生中の音量を設定する（☞P.10-7）
- バックライトを設定する（☞P.10-7）
- 表示するフォルダを設定する（☞P.10-7）
- サムネイル表示を設定する（☞P.10-7）

プレイリストを利用する

プレイリストを作成する

プレイリストは最大20件作成でき、1件のプレイリストには最大100件のファイルを登録できます。

1. ■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→📷→「プレイリスト作成」
2. プレイリスト名を入力
3. 作成したプレイリストを選択
4. 📷→「追加」→「ファイル」
5. 登録するファイルをチェック→✉（保存）

プレイリストを再生する

1. ■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」
2. プレイリストを反転表示→✉（再生）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-12
- 既存のプレイリストのファイルをすべて選択してプレイリストを作成したい

便利

音楽再生に関する便利な機能

曲名やアーティスト名でファイルを探したい　[検索]

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→📷→「検索」→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄で曲名またはアーティスト名を入力→✉（検索）

ファイルをプレイリストに追加したい　[プレイリストに追加]

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」

■ **1件追加するとき**
追加したいファイルを反転表示→📷→「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ **複数追加するとき**
📷→「プレイリストに追加」→「複数」→追加したいファイルをチェック→✉（保存）→プレイリストを選択

ファイルを送信したい　［送信］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.9-3）

ファイルの順序を変更したい　［ソート］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→📷→「ソート」→項目を選択

ファイルを削除したい　［削除］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択

■ **1件削除するとき**
削除したいファイルを反転表示→📷→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**
📷→「削除」→「複数」→削除したいファイルをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**
📷→「削除」→「全件」→「はい」

- 「全曲一覧」フォルダ内のファイルをすべて削除するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

ファイル名を編集したい　［ファイル名変更］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを反転表示→📷→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

保護してファイル名の編集や削除などを制限したい　［保護］／［保護解除］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→ファイルを反転表示→📷→「保護」／「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい　［詳細］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→📷→「詳細」

- ファイルを再生中に📷を押して「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい　［順序変更］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→移動したいファイルを反転表示→📷→「順序変更」→🔲で移動先を反転表示→■（OK）

プレイリスト名を編集したい　［プレイリスト名変更］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→📷→「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい　［削除］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」

■ **1件削除するとき**
削除したいプレイリストを反転表示→📷→「削除」→「1件」→「はい」

■ **すべて削除するとき**
📷→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

指定した位置から再生したい　［タイムサーチ］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「タイムサーチ」→時間を入力→■（再生）

ボタンに割り当てられた機能を確認したい　［ヘルプ］
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「ヘルプ」

歌詞を表示したい [歌詞表示]

■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「歌詞表示」

便利

動画再生に関する便利な機能

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい [検索]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→📷→「検索」→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄を選択→タイトルまたはアーティスト名を入力→✉（検索）

ファイルをプレイリストに追加したい [プレイリストに追加]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」

■ **選択したファイルを追加するとき**

ファイルを反転表示→📷→「プレイリストに追加」→「1件」→プレイリストを選択

■ **複数のファイルを追加するとき**

📷→「プレイリストに追加」→「複数」→追加したいファイルをチェック→✉（保存）→プレイリストを選択

ファイルを送信したい [送信]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➲P.9-3）

ファイルの順序を変更したい [ソート]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→📷→「ソート」→項目を選択

ファイルを削除したい [削除]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択

■ **1件削除するとき**

削除したいファイルを反転表示→📷→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

📷→「削除」→「複数」→削除したいファイルをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

📷→「削除」→「全件」→「はい」

- 「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルをすべて削除するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

ファイル名を編集したい

[ファイル名変更]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→📷→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

保護してファイル名の編集や削除などを制限したい

[保護]／[保護解除]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→📷→「保護」／「保護解除」

ファイルの詳細情報を確認したい

[詳細]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→📷→「詳細」

- ファイルを再生中に📷を押して「詳細」を選択しても同じ操作を行うことができます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい

[順序変更]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→移動したいファイルを反転表示→📷→「順序変更」→🔘で移動先を反転表示→■（OK）

プレイリスト名を編集したい

[プレイリスト名変更]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを反転表示→📷→「プレイリスト名変更」→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい

[削除]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」

■ 1件削除するとき

削除したいプレイリストを反転表示→📷→「削除」→「1件」→「はい」

■ すべて削除するとき

📷→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

画面全体に動画を表示したい

[全画面表示]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「全画面表示」

表示サイズを変更したい

[画面表示サイズ]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「画面表示サイズ」→項目を選択

指定した位置から再生したい

[タイムサーチ]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「タイムサーチ」→時間を入力→■（再生）

動画から静止画を切り取って「ピクチャー」フォルダに保存したい

[画面キャプチャ]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「画面キャプチャ」→■（保存）

再生速度を変更したい

[再生スピード]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「再生スピード」→項目を選択

- 速度変更中は音声が再生されません。

ボタンに割り当てられた機能を確認したい

[ヘルプ]

■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→フォルダを選択→ファイルを反転表示→■（再生）→📷→「ヘルプ」

便利

プレイリストに関する便利な機能

既存のプレイリストのファイルをすべて選択してプレイリストを作成したい
［追加］

■ ミュージックのプレイリストを作成するとき
■→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→📷→「追加」→「プレイリスト」→全ファイル追加するプレイリストを選択

■ ムービーのプレイリストを作成するとき
■→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→📷→「追加」→「プレイリスト」→全ファイル追加するプレイリストを選択

ツール

7

カレンダーにスケジュールを登録する

カレンダーを表示する

1 [カレンダーキー]

カレンダーの見かた

3通りの表示モードがあります。1ヶ月表示画面または1週間表示画面で日付を選択すると、その日の1日表示画面になります。



1ヶ月表示画面

□：表示位置
水色の日付：今日※
青色の日付：土曜日
赤色の日付：日曜日、祝日
※ 平日のみ水色になります。土曜日や日曜日、祝日のときは、青色や赤色になります。



1週間表示画面

┘(青色)：スケジュール登録あり



1日表示画面

- ：スケジュール（カテゴリなし）
- ：スケジュール（約束）
- ：スケジュール（会議）
- ：スケジュール（仕事）
- ：スケジュール（祝日）
- ：スケジュール（記念日）
- ：スケジュール（誕生日）
- ：スケジュール（電話）
- ：スケジュール（デート）
- ：スケジュール（旅行）
- ：スケジュール（その他）
- ：祝日
- ：アラームの設定あり
- ：繰り返しの設定あり

- 1ヶ月表示画面を前後の月に切り替えるには、[*]／[#]または年月欄を反転表示して[センターキー]を押します。
- 1週間表示画面を前後の週に切り替えるには、[*]／[#]または年月欄を反転表示して[センターキー]を押します。

スケジュールを登録する

予定リストと合わせて最大200件登録できます。
ここでは例として、件名、開始日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「スケジュールの内容を登録したい」（➔P.7-8）を参照してください。

1 [カレンダーキー]

2 [メールキー]（新規）

3 件名を入力

4 開始日時欄を反転表示→開始日時を入力

5 [メールキー]（保存）

- 操作❷の前に、カレンダー画面で目的の日付にカーソルを合わせておけば、開始日時欄や終了日時欄にその日付が表示されます。

7 ツール

スケジュールを確認する

1 [□]

2 確認したい日付にカーソルを合わせ[■]（選択）

3 スケジュールを選択

- カレンダーの登録状況を確認するには、カレンダー画面またはスケジュールの一覧画面で、[カメラ]を押して「メモリ容量確認」を選択すると、スケジュールと予定リストの登録件数を確認できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-8

- 表示モードを切り替えたい
- 日付を指定して表示を切り替えたい
- カテゴリごとにスケジュールを確認したい
- スケジュールを送信したい
- スケジュールを削除したい
- シークレット設定したスケジュールを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい
- カレンダーの登録状況を確認したい
- スケジュールをvファイルに変換して送信したい
- スケジュールをvファイルに変換して保存したい

アラームを利用する

アラームを5件登録できます。時刻などを登録しておけば、「On」または「Off」に切り替えるだけでセットや解除ができます。1回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

アラームを設定する

ここでは例として、アラーム時刻のみ設定します。

- 他の項目については、「アラームの内容を登録したい」（➔P.7-11）を参照してください。

1 [■]→「ツール」→「アラーム」

2 「アラーム 1」～「アラーム 5」のいずれかを選択

3 アラーム時刻を入力

4 [✉]（保存）

- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。バイブレータを「Off」以外に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音とバイブレータが止まります。もう一度押すと表示が消えます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中（「呼び出し中･･･」と表示）や発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、短い通知音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、いずれかのボタンを2回押すと消えます。スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、[カメラ]（終了）を押すと消えます。
- アラームを設定すると、ディスプレイに[アラームアイコン]が表示されます。

- 複数のアラームに同じ起動時刻が登録されている場合は、最初に設定した内容が優先されます。ただし、スケジュールや予定リストのアラームと「ツール」のアラームが同じ起動時刻に設定されているとき、設定した順番にかかわらず「ツール」のアラームが優先されます。
- マナーモード設定時は、アラーム音とバイブレータは「マナーモード時設定」（➔P.7-11）の設定に従います。
- 動画撮影中または音声録音中だったときは、撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-11

● マナーモード時の音量／バイブレータを設定したい

電卓を利用する

13桁までの四則演算ができます。

1 ■→「ツール」→「電卓」

2 ダイヤルボタンと ✛、■ で計算

- 「＋」／「－」／「×」／「÷」を入力するには、◇／◇／◇／◇を押します。
- 計算結果を表示させるには、■を押します。
- 小数点、「（」「）」を入力するには、✉（.( )）を繰り返し押します。
- カーソルを左／右に移動するには、✱または＃を押します。
- 数式を1文字消すには、消す文字の後ろにカーソルを移動して CLEAR/メモ を押します。
- 数式と計算結果をまとめて消すには、▣（C）を押すか、または CLEAR/メモ を1秒以上押します。

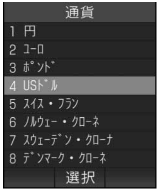
通貨や単位の換算をする

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

通貨換算する

1 ■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」

2 換算元の通貨欄を選択→通貨を選択



7 ツール

3 金額欄を反転表示→金額を入力



- 小数点を入力するには、[＊]を押します。

4 換算する通貨欄を選択→通貨を選択

5 表示された金額を確認

- 換算元の通貨と換算する通貨を入れ替えるには、[カメラ]（切替）を押します。

他の単位に換算する

1 [■]→「ツール」→「通貨・単位換算」→「長さ」／「重さ」／「体積」／「面積」／「温度」

2 換算元の単位欄を選択→単位を選択

3 換算元の単位の数値欄を反転表示→数値を入力

- 小数点を入力するには、[＊]を押します。

4 換算する単位欄を選択→単位を選択

5 表示された数値を確認

- 換算元の単位と換算する単位を入れ替えるには、[カメラ]（切替）を押します。
- 温度を換算するときに「−」を入力／削除するには、[＃]を押します。
- 数値を消去するには、[メール]（消去）を押します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-12

世界時計を利用する

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1 [■]→「ツール」→「世界時計」

地域を登録する

よく確認する地域を登録しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。

1 [■]→「ツール」→「世界時計」

2 地域1欄／地域2欄を反転表示→[◀▶]で目的の都市名を選択

3 [■]（保存）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-12

メモを登録／確認する

最大20件のメモを登録できます。メモは通話中にも登録できます（➔P.3-17）。

メモを登録する

1 ■→「ツール」→「メモ帳」

2 「<新規作成>」→内容を入力

メモを確認する

1 ■→「ツール」→「メモ帳」→確認したいメモを反転表示→■（表示）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-12
- メモを削除したい
- メモをメールで送信したい
- メモの登録状況を確認したい

予定リストを利用する

予定リストをスケジュールと合わせて最大200件登録して、リストで管理できます。

予定リストを登録する

ここでは例として、件名、期限日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「予定リストの内容を登録したい」（➔P.7-13）を参照してください。

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

2 📷→「新規登録」

3 件名を入力

4 期限日時欄を反転表示→期限日時を入力

5 ✉（保存）

予定リストを確認する

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

- 予定リスト一覧画面で ◂▸ を押すと、「全予定リスト」、「処理済」、「未処理」、「期限切」を切り替えることができます。

予定リストに処理済みのマークを付ける

1 ■→「ツール」→「予定リスト」

2 処理済みにしたい予定リストを反転表示→✉（ステータス）→「処理済」

- 処理済みのマークを消す場合は「未処理」を選択します。

使いこなしチェック！

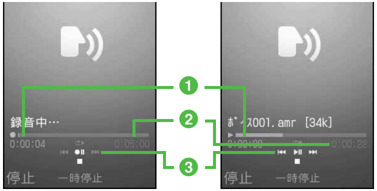
便利 ☞P.7-13
- 予定リストの内容を登録したい
- 予定リストをvファイルに変換して送信したい
- 予定リストを並べ替えたい
- 指定した日付の予定リストを表示したい
- 予定リストを削除したい
- 予定リストをvファイルに変換して保存したい
- シークレット設定した予定リストを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい
- 予定リストの登録状況を確認したい

音声を録音する

音声を最長60分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューのほか、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ボイスレコーダーの表示画面の見かた

ソフトキーの表示や、マルチファンクションボタンのガイド表示に従って操作します。



録音中の画面　　再生中の画面

1. 経過時間
2. 録音可能時間（録音中）／再生時間（再生中）
3. マルチファンクションボタンのガイド表示

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。

1 **[■]→「ツール」→「ボイスレコーダー」**

2 **[■]（録音）**

3 **[✉]（停止）／[□]**

- 録音が終了します。録音時間が経過した場合は、自動的に録音が終了します。
- [■]（一時停止）を押すと、一時停止できます。

- 録音後、すぐに録音内容を確認したい場合は[■]（再生）で確認できます。もう一度[■]（一時停止）を押すと、一時停止できます。
- 録音後、すぐに次の録音をしたい場合は[□]を押し、[■]（録音）を押します。

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1 ■→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 📷→「データフォルダ」

3 ファイルを反転表示→■（再生）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-14
- 録音後、続けて録音したい
- 録音した音声ファイルを送信したい
- 録音した音声ファイルを削除したい
- 録音した音声ファイル名を編集したい
- 録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- 録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

時間を計測する

730SCをストップウォッチとして使えます。最大10回のラップタイムと合計タイムも計れます。

1 ■→「ツール」→「ストップウォッチ」

2 ■（スタート）

3 ✉（停止）

- ラップタイムを計るときは、計測中に■（ラップタイム）を押します。

便利

カレンダーに関する便利な機能

スケジュールの内容を登録したい

📋→✉（新規）→件名を入力→開始日時欄を反転表示→開始日時を入力

■ **終了日と終了時間を設定するとき**
終了日時欄を選択→終了日時欄を反転表示→終了日時を入力→✉（保存）

■ **スケジュールを終日に設定するとき**
開始日時欄または終了日時欄を選択→✉（チェック）→■（OK）→✉（保存）

■ **カテゴリを設定するとき**
カテゴリ欄を選択→カテゴリを選択→✉（保存）

■ **アラームを設定するとき**
アラーム欄を選択→設定時刻欄を選択→設定時刻を選択→鳴動時間欄を選択→鳴動時間を選択→アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→📷（選択）→音量欄を選択→✥で音量を調節→■（OK）→バイブ欄を選択→振動パターンを選択→✉（完了）→✉（保存）

■ **設定したスケジュールを繰り返すとき**
繰り返し欄を選択→項目を選択→繰り返す回数を入力→✉（保存）

■ **場所を設定するとき**
場所欄を選択→内容を入力→✉（保存）

■ **スケジュールを自動で削除するとき**
有効期限欄を選択→項目を選択→[メール]（保存）
- 有効期限を過ぎると、カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1年後」の場合、繰り返しを設定していないときは、終了日から1年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から1年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、「設定しない」を選択します。

■ **詳細を設定するとき**
詳細欄を選択→内容を入力→[メール]（保存）

■ **シークレット設定をするとき**
シークレット設定欄を選択→項目を選択→[メール]（保存）

スケジュールを編集したい

[アプリ]→日付を選択→編集したいスケジュールを選択→[■]（編集）→登録時と同様に編集→[メール]（保存）

表示モードを切り替えたい [表示切替]

[アプリ]→[カメラ]→「表示切替」→項目を選択

日付を指定して表示を切り替えたい [表示日指定]

[アプリ]→[カメラ]→「表示日指定」

■ **今日の日付を表示するとき**
「今日」

■ **確認したい日付に表示を切り替えたいとき**
「日付指定」→年月日を入力

カテゴリごとにスケジュールを確認したい [カテゴリ別表示]

[アプリ]→[カメラ]→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択

スケジュールを送信したい [赤外線通信]

[アプリ]→[カメラ]→「赤外線通信」→送信したいスケジュールをチェック→[メール]（送信）→「はい」
（➔P.9-3）

スケジュールを削除したい [削除]

[アプリ]

■ **1件削除するとき**
日付を選択→削除したいスケジュールを反転表示→[カメラ]→「削除」→「1件」→「はい」

■ **選択した日のスケジュールを削除するとき**
削除したい日付を反転表示→[カメラ]→「削除」→「1日」→「はい」

■ **特定の期間のスケジュールを削除するとき**
[カメラ]→「削除」→「期間指定」→開始と終了の年月日を入力→[■]（削除）→「はい」

■ **表示中の月／週のスケジュールを削除するとき**
[カメラ]→「削除」→「今月」／「今週」→「はい」

■ **反転表示中の日付より前の全スケジュールを削除するとき**
[カメラ]→「削除」→「選択日より前」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

■ **すべてのスケジュールを削除するとき**
[カメラ]→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」

■ **カテゴリごとに複数のスケジュールをまとめて削除するとき**
[カメラ]→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→[カメラ]→「削除」→「複数」→削除したいスケジュールをチェック→[メール]（削除）→「はい」

■ **カテゴリ内のすべてのスケジュールを削除するとき**
[カメラ]→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→[カメラ]→「削除」→「このカテゴリ全て」→「はい」

祝日を追加したい
凸→📷→「設定」→「祝日設定」→登録したい欄を選択→タイトルを入力→日付を入力→頻度を選択→✉（保存）

祝日の表示を設定したい
凸→📷→「設定」→「祝日設定」→設定したい項目をチェック→✉（保存）

追加した祝日を編集したい
凸→📷→「設定」→「祝日設定」→編集したい項目を反転表示→📷→「編集」→項目を編集→✉（保存）

追加した祝日を削除したい
凸→📷→「設定」→「祝日設定」→削除したい項目を反転表示→📷→「削除」

週の始まりを設定したい
凸→📷→「設定」→「週の始まり」→項目を選択

カレンダー起動時の表示画面を設定したい
凸→📷→「設定」→「基本表示モード」→項目を選択

リマインダーを設定したい
凸→📷→「設定」→「リマインダー」→On/Off設定欄を選択→「On」

■ **通知する時間を設定するとき**
時間欄を選択→時間を入力→✉（保存）

■ **アラーム音の鳴動時間を設定するとき**
鳴動時間欄を選択→時間を選択→✉（保存）
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ **アラーム音やムービーを設定するとき**
アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→📷（選択）→✉（保存）

■ **アラーム音量を調節するとき**
音量欄を選択→✥で音量を調節→✉（再生）→■（OK）→✉（保存）

■ **バイブレータを設定するとき**
バイブ欄を選択→振動パターンを選択→✉（保存）

シークレット設定したスケジュールを確認したい　**[シークレット一時解除]**
凸→📷→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい　**[未確認イベント一覧]**
凸→📷→「未確認イベント一覧」→確認したいスケジュールを選択

カレンダーの登録状況を確認したい　**[メモリ容量確認]**
凸→📷→「メモリ容量確認」

スケジュールをvファイルに変換して送信したい　**[送信]**
凸→日付を選択→スケジュールを反転表示→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➔P.9-3）

スケジュールをvファイルに変換して保存したい　**[データフォルダに保存]**
凸→日付を選択→スケジュールを反転表示→📷→「データフォルダに保存」→「はい」

便利

アラームに関する便利な機能

アラームの内容を登録したい

[■]→「ツール」→「アラーム」→「アラーム1」～「アラーム5」→設定時刻を入力

■ **アラーム名を編集するとき**
アラーム名欄を選択→アラーム名を入力→[✉]（保存）

■ **毎日または1回のみ起動に設定するとき**
繰り返し欄を選択→「1回のみ」／「毎日」→[✉]（保存）

■ **通知する曜日を設定するとき**
繰り返し欄を選択→「曜日指定」→設定する項目をチェック→[✉]（完了）→[✉]（保存）

■ **アラーム音やムービーを設定するとき**
アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[✉]（再生）→[📷]（選択）→[✉]（保存）

■ **アラーム音量を調節するとき**
音量欄を選択→[✥]で音量を調節→[✉]（再生）→[■]（OK）→[✉]（保存）

■ **バイブレータを設定するとき**
バイブ欄を選択→振動パターンを選択→[✉]（保存）

■ **スヌーズを設定するとき**
スヌーズ欄を選択→項目を選択→[✉]（保存）

- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまで、設定した時間の間隔でアラーム通知を行います。通知は設定した回数で繰り返されます。アラーム通知中にボタン操作を行わなかったとき、または[☎]、[📷]（終了）以外のいずれかのボタンを押したときは、アラーム音が止まり、設定した時間が経過するとアラーム通知を行うようにセットされます。
スヌーズを解除するには、[☎]または[📷]（終了）を押します。
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ **スヌーズの繰り返し回数を設定するとき**
スヌーズ繰り返し回数欄を選択→繰り返し回数を選択→[✉]（保存）

■ **アラーム音の鳴動時間を設定するとき**
鳴動時間欄を選択→時間を選択→[✉]（保存）

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

アラームを設定／解除したい

[■]→「ツール」→「アラーム」→切り替えたいアラームを反転表示→[✉]（On/Off設定）

アラームをリセットしたい

[■]→「ツール」→「アラーム」

■ **1件リセットしたいとき**
リセットしたいアラームを反転表示→[📷]→「1件リセット」

■ **全件リセットしたいとき**
[📷]→「全件リセット」

マナーモード時の音量／バイブレータを設定したい　［マナーモード時設定］

[■]→「ツール」→「アラーム」→設定したいアラームを反転表示→[📷]→「マナーモード時設定」

■ **アラーム音量を設定するとき**
「アラーム音量」→[✥]で音量を調節→[✉]（再生）→[■]（OK）

■ **バイブレータを設定するとき**
「バイブ」→項目を選択

7
ツール

便利

通貨・単位換算に関する便利な機能

為替レートを確認したい

■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→基準にする通貨欄を反転表示→✉（レート表示）

為替レートを変更したい

■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→基準にする通貨欄を反転表示→✉（レート表示）→レートを変更したい通貨を反転表示→■（編集）→レートを入力

通貨単位を追加したい

■→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→✉（レート表示）→✉（追加）→通貨単位名とレートを入力

- 追加した通貨単位を削除するときは、削除するレートを反転表示して📷を押し、「削除」を選択します。

便利

世界時計に関する便利な機能

サマータイムを設定したい

■→「ツール」→「世界時計」→📷（サマータイム）→サマータイムを設定したい地域をチェック→✉（完了）→■（保存）

便利

メモに関する便利な機能

メモを削除したい [削除]

■→「ツール」→「メモ帳」

■ **1件削除するとき**

削除したいメモを反転表示→📷→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

メモを反転表示→📷→「削除」→「複数」→削除したいメモをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

メモを反転表示→📷→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

メモをメールで送信したい [送信]

■→「ツール」→「メモ帳」→メモを選択→📷→「送信」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

メモの登録状況を確認したい [メモリ容量確認]

■→「ツール」→「メモ帳」→📷→「メモリ容量確認」

メモを編集したい

■→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモを反転表示→✉（編集）→メモを編集

便利

予定リストに関する便利な機能

予定リストの内容を登録したい [新規登録]

■→「ツール」→「予定リスト」→📷→「新規登録」→件名を入力→期限日時欄を反転表示→期限日時を入力

■ **アラームを設定するとき**

アラーム欄を選択→設定時刻欄を選択→設定時刻を選択→鳴動時間欄を選択→鳴動時間を選択→アラーム音／ムービー欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→📷（選択）→音量欄を選択→✥で音量を調節→■（OK）→バイブ欄を選択→振動パターンを選択→✉（完了）→✉（保存）

- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。■（OK）を押すと表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。■（表示）を押すと、内容を確認できます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）や発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、短い通知音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、■（OK）を押すと消えます。

■ **重要度を設定するとき**

重要度欄を選択→項目を選択→✉（保存）

■ **予定リストの詳細を設定するとき**

詳細欄を選択→内容を入力→✉（保存）

■ **シークレット設定をするとき**

シークレット設定欄を選択→項目を選択→✉（保存）

予定リストをvファイルに変換して送信したい [送信]

■→「ツール」→「予定リスト」→送信したい予定リストを選択→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➔P.9-3）

予定リストを並べ替えたい [ソート]

■→「ツール」→「予定リスト」→📷→「ソート」→項目を選択

指定した日付の予定リストを表示したい [表示日指定]

■→「ツール」→「予定リスト」→📷→「表示日指定」

■ **今日の予定リストを表示するとき**

「今日」

■ **確認したい日付を入力するとき**

「日付指定」→年月日を入力

予定リストを削除したい [削除]

■→「ツール」→「予定リスト」

■ **1件削除するとき**

削除したい予定リストを反転表示→📷→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除するとき**

📷→「削除」→「複数」→削除したい予定リストをチェック→✉（削除）→「はい」

■ **すべて削除するとき**

📷→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」

予定リストをvファイルに変換して保存したい [データフォルダに保存]

■→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→📷→「データフォルダに保存」→「はい」

シークレット設定した予定リストを確認したい　[シークレット一時解除]

■→「ツール」→「予定リスト」→📷→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい　[未確認イベント一覧]

■→「ツール」→「予定リスト」→📷→「未確認イベント一覧」→確認したいスケジュールを選択

予定リストの登録状況を確認したい　[メモリ容量確認]

■→「ツール」→「予定リスト」→📷→「メモリ容量確認」

予定リストを編集したい

■→「ツール」→「予定リスト」→編集したい予定リストを選択→■（編集）→編集する登録内容を選択→登録時と同様に編集→✉（保存）

便利

ボイスレコーダーに関する便利な機能

録音した音声ファイルを着信音などに設定したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→✉（設定）→着信音を選択

録音後、続けて録音したい　[録音]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→📷→「録音」

録音した音声ファイルを送信したい　[送信]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→📷→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」（➔P.9-3）

録音した音声ファイルを削除したい　[削除]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→📷→「削除」→「はい」

録音した音声ファイル名を編集したい　[ファイル名変更]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→📷→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい　[保護]／[保護解除]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→📷→「保護」／「保護解除」

録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい　[詳細]

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→■（録音）→✉（停止）→📷→「詳細」

保存時に付けられるファイル名を変更したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→📷→「録音設定」→「保存ファイル名設定」→ファイル名を入力

録音時間を変更したい

■→「ツール」→「ボイスレコーダー」→📷→「録音設定」→「録音時間」→時間を選択

セキュリティ

8

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」

2 現在の操作用暗証番号を入力→■（OK）



3 新しい操作用暗証番号（4桁）を入力→■（OK）

4 もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■（OK）

使いこなしチェック！

設定

● 操作用暗証番号を変更する（☞P.10-15）

PINコードを設定する

PINコードはUSIMカードの暗証番号です。詳しくは「USIMカードのお取り扱い」（➔P.11-5）を参照してください。

PIN認証

電源を入れるたびにPINコードによる認証をするようにしたい場合は、「On」に設定してください。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN認証」

2 「On」／「Off」

3 PINコードを入力→■（OK）

PINコード／PIN2コードを変更する

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN変更」／「PIN2変更」

- 「PIN認証」（➔P.8-2）が「Off」に設定されていると、PINコードは変更できません。

2 現在のPINコード／PIN2コードを入力→■（OK）

3 新しいPINコード／PIN2コード（4〜8桁）を入力→■（OK）

4 もう一度新しいPINコード／PIN2コード（4〜8桁）を入力→■（OK）

PINロックを解除する

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定され、730SCの使用が制限されます。PINロックまたはPIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1. **PINロック解除コード(PUKコード)の入力画面が表示されている状態でPUKコードを入力→■(OK)**
2. **新しいPINコード/PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)**
3. **もう一度新しいPINコード/PIN2コード(4～8桁)を入力→■(OK)**

注意

- **PINロック解除コードまたはPIN2ロック解除コード(PUK/PUK2コード)については、お問い合わせ先(➲P.11-25)までご連絡ください。**
- **PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます(途中で電源を切っても連続として数えます)。**
- **USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➲P.11-25)までご連絡ください。**

使いこなしチェック!

設定

- PIN認証を設定する(☞P.10-15)
- PINコードを変更する(☞P.10-15)
- PIN2コードを変更する(☞P.10-15)

USIM照合を設定する

お客様の730SCに他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1. **■→「設定」→「セキュリティ設定」→「USIM照合」**
2. **「On」/「Off」**
3. **USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力→■(OK)**
   - 「On」に設定する場合は、もう一度USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力し、■(OK)を押します。

- USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも730SCを使用できます。
  USIMパスワードは、「USIM照合」を「On」に設定するたびに変更できます。

- USIMパスワードを忘れたときは、「USIM照合」を「On」に設定したUSIMカードを730SCに取り付けて、オールリセット（➲P.8-7）を行ってください。

使いこなしチェック！

設定

- USIM照合を設定する（☞P.10-15）

ケータイの操作を禁止／制限する

電源On時ロック

「On」に設定すると、電源を入れるごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「電源On時ロック」
2. 「On」／「Off」
3. 操作用暗証番号を入力→■（OK）

- 操作用暗証番号を入力するまで、電話の着信を含むすべての操作が行えません。

自動キーロック

「On」に設定すると、ディスプレイ消灯時に自動的にキーパッドの誤動作防止を設定します。

1. ■→「設定」→「一般設定」→「自動キーロック」
2. 「On」／「Off」

キー操作ロック

「On」に設定すると、待受画面でいずれかのボタンを押したときに操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力するとキー操作ロックが解除されて730SCを操作できます。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「キー操作ロック」
2. 「On」／「Off」
3. 操作用暗証番号を入力→■（OK）

- 操作用暗証番号を入力するまで、電話を受けるなど一部の操作以外行えません。
- 設定後、待受画面に戻ります。いずれかのボタンを押すと、操作用暗証番号の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力してキー操作ロックを解除すると、「キー操作ロック」の設定は自動的に「Off」になります。

アプリケーションロック

アプリケーションロックを設定すると、電話帳、カレンダー／メモ帳／予定リスト、メール、通話履歴、データフォルダの各機能を呼び出すごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「アプリケーションロック」
2. ロックする機能をチェック→✉（保存）
3. 操作用暗証番号を入力→■（OK）

シークレットモード

「表示しない」に設定すると、電話帳の一覧画面やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストを表示したときに、各機能でシークレットを設定している登録内容が表示されなくなります。

1. ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード」
2. 操作用暗証番号を入力→■（OK）
3. 「表示する」／「表示しない」

- 「シークレットモード」を「表示する」に設定しても、730SCの電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

シークレットデータフォルダ

「表示しない」に設定すると、データフォルダを表示したときに、シークレットモードを設定したフォルダが表示されなくなります。

1. ■ →「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットデータフォルダ」
2. 操作用暗証番号を入力→■（OK）
3. 「表示する」／「表示しない」

- 「シークレットデータフォルダ」を「表示する」に設定しても、730SCの電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

モバイルトラッカー

「On」に設定すると、設定したときと異なるUSIMカードが取り付けられたとき、指定した宛先にSMSを送信してお知らせします。宛先は2件まで指定できます。

1 **■→「設定」→「セキュリティ設定」→「モバイルトラッカー」**

2 **操作用暗証番号を入力→■(OK)**

3 **設定欄を選択→「On」**

4 **宛先欄を選択**

5 **To欄を選択→宛先を入力→✉(保存)**

- 電話帳から宛先を登録する場合は、To欄を反転表示→📷→「電話帳」→電話帳を検索し、選択(➜P.2-15)→電話番号を選択します。

6 **送信者欄を選択→送信者名を入力**

7 **✉(保存)→表示内容を確認**

8 **■(同意)**

- 表示内容の承諾を拒否するときは、📷(拒否)を押します。

- 異なるUSIMカードが取り付けられると、起動中に指定した宛先にSMSが送信されます。USIMカードを差し替えた相手には気づかれません。モバイルトラッカーを設定するときに、操作用暗証番号を3回続けて間違えた場合もSMSが送信されます。
- 宛先を削除するときは、操作5で📷を押して「削除」を選択します。

使いこなしチェック!

設定

- 自動キーロックを設定する(☞P.10-14)
- 電源On時ロックを設定する(☞P.10-15)
- キー操作ロックを設定する(☞P.10-15)
- アプリケーションロックを設定する(☞P.10-15)
- シークレットモードを設定する(☞P.10-15)
- データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする(☞P.10-15)
- モバイルトラッカーを設定する(☞P.10-15)

お買い上げ時の状態に戻す

メモリ消去

データフォルダ、メール、730SC本体の電話帳、カレンダー/メモ帳/予定リスト、ユーザ辞書の登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1 **■→「設定」→「メモリ設定」→「本体」→「メモリ消去」**

2 **消去したい項目をチェック→✉(削除)**

3 **操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」**

設定リセット

設定メニューの登録・設定内容、ツールメニューの「アラーム」の登録・設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
ただし、次の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
通話設定	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト編集」の登録内容 「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」の設定内容 「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」の登録・設定内容 「通話サービス」→「割込通話」の設定内容 「通話サービス」→「発着信規制」の設定内容
電話帳設定	「オーナー情報」の電話番号、「グループ設定」の登録・設定内容
セキュリティ設定	「USIM 照合」「PIN 認証」「PIN変更」「PIN2変更」
ツール	「カレンダー」の登録・設定内容

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「設定リセット」

2 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

オールリセット

730SC本体の電話帳、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルは、消去されません。

1 ■→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「オールリセット」

2 操作用暗証番号を入力→■(OK)→「はい」

使いこなしチェック!

設定

- 電話帳やメールなどを消去する(☞P.10-15)
- 設定をリセットする(☞P.10-15)

通信

9

赤外線通信を利用する

730SCなど赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器（パソコンなど）と無線で接続し、データの送受信ができます。

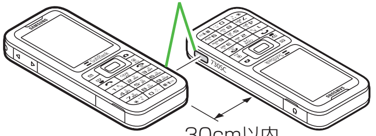
赤外線通信をご利用になる前に

- 730SCの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中に赤外線通信は行えません。
- 赤外線通信中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード（4桁）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、30cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。



- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線通信利用時のご注意」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

赤外線通信を利用してデータを送受信する

電話帳、オーナー情報、スケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイルなどを送受信できます。
また、電話帳、スケジュール、予定リストを一括で送受信できます。

注意

- **メディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。**
- **受信したデータの内容によっては、730SCに正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。**

データの送受信方法

赤外線通信の送受信方法は次のとおりです。

送受信方法	説明
個別データ送受信	送信側からデータを1件ずつ、または複数件送信します。 受信側では自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。

- 受信したファイルは、それぞれのファイル形式に応じた保存先に保存されます。ただし、ファイルによってはデータフォルダの「その他ファイル」フォルダに保存されます。

データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

1 データの送信操作

■ データフォルダ、予定リスト、電話帳からデータを送信するとき

一覧画面で[カメラ]→「送信」→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→[メール]（送信）

■ カレンダーのスケジュールからデータを送信するとき

一覧画面で送信したいデータを反転表示→[カメラ]→「送信」→「赤外線通信」

- 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを1件ずつ受信する

1 [■]→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「赤外線On/Off設定」→「On(3分間)」

- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 データ受信と保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」／「マイ絵文字」から選択します。
- 受信を中止するときは[カメラ]（キャンセル）を押します。
- 受信を強制終了するときは[終話]を押します。

- 51Kバイトを超えるvCardは電話帳に登録できません。また、vCardに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが40Kバイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

注意

- **データの受信は、待受画面以外からは行えません。また、キー操作ロック設定中や誤動作防止中にデータ受信は行えません。**

データを一括送信する

1. ■→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「全件データ送信」
2. 操作用暗証番号を入力→■（OK）
3. 「電話帳」／「カレンダー」
   - 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。
4. 認証コード（4桁）を入力→■（OK）

データを一括受信する

1. ■→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「赤外線On/Off設定」→「On（3分間）」
   - データ受信の待機状態になります。
2. 相手側機器から3分以内にデータを送信
3. 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」
4. 認証コード（4桁）を入力→■（OK）
   - 送信側と同じ認証コードを入力してください。
5. 登録方法の選択操作

■ 追加登録するとき

「新規追加」

■ すべてのデータを削除して登録するとき

「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→■（OK）

- 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報は、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
- 受信を中止するときは📷（キャンセル）を押します。
- 受信を強制終了するときは☎を押します。

使いこなしチェック！

設定

- 赤外線通信を設定／解除する（☞P.10-20）
- データを一括送信する（☞P.10-20）

カスタマイズ

10

設定

メールの設定

S!メール、SMSに関する共通の設定

共通操作 ✉→「設定」→「一般設定」

文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→項目を選択
配信レポートの送信を設定する お買い上げ時 Off	「配信確認」→項目を選択 ●「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の730SCに送信されます。
署名を設定する お買い上げ時 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択
署名を編集する	「署名設定」→「編集」→署名を入力
受信ボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On（自動削除）	「自動削除設定」→「受信ボックス」→項目を選択 ●受信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ●設定内容は次のとおりです。 「On（自動削除）」：メール受信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます（保護されたメールを除く）。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「Off」：メール受信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから再度受信します。

送信済みボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On（自動削除）	「自動削除設定」→「送信済みボックス」→項目を選択 ●送信済みボックス、または未送信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ●設定内容は次のとおりです。 「On（自動削除）」：メール送信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。 「Off」：送信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから、再度送信します。
送信中の進行状況表示を設定する お買い上げ時 表示する	「メール送信中画面」→「メール送信中」→項目を選択
送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する	「メール送信中画面」→「送信結果通知」→項目を選択 ●「メール送信中」を「表示しない」に設定している場合に設定できます。
受信の通知を設定する お買い上げ時 送信者	「メール受信通知」→「表示内容」→項目を選択 ●待受画面以外を表示中にメールを受信したときに、ディスプレイ最上段にスクロール表示される通知の内容が設定できます。
「シークレット設定」を設定したフォルダの受信通知を設定する お買い上げ時 通知する	「メール受信通知」→「シークレットフォルダ着信」→操作用暗証番号を入力→ ■ （OK）→項目を選択 ●「通知しない」に設定すると、受信ボックス内の「シークレット設定」を設定したフォルダにメールを受信したとき、新着メール受信の通知画面や「メール受信通知」は表示されません。
メール一覧画面の表示方法を設定する お買い上げ時 2行	「メールリスト表示切替」→項目を選択
受信ボックスのメールの表示方法を設定する お買い上げ時 フォルダ表示	「受信ボックス表示設定」→項目を選択
送信済みボックスのメールの表示方法を設定する お買い上げ時 フォルダ表示	「送信済みボックス表示設定」→項目を選択

メッセージのデルモジ表示を設定する お買い上げ時 常に表示	「デルモジ表示設定」→「自動再生」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「常に表示」：メッセージを確認するときに常にデルモジ表示する 「未読のみ表示」：未読メールのメッセージを確認するときのみデルモジ表示する 「表示しない」：デルモジ表示しない ●初めて受信メールを確認したときは確認メッセージが表示され、「自動再生」の動作を設定することができます。
デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する お買い上げ時 パターン1	「デルモジ表示設定」→「文字色・背景色」→[◀▶]で目的のパターンを表示→[■]（選択） ●設定画面で[✉]（プレビュー）を押すと現在の設定が確認できます。
デルモジ表示の表示速度を設定する お買い上げ時 標準	「デルモジ表示設定」→「表示速度」→項目を選択 ●設定画面で[✉]（プレビュー）を押すと現在の設定が確認できます。

S!メールに関する設定

共通操作 [✉]→「設定」→「S!メール設定」

送信メールの優先度を設定する お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ●設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
S!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「電話番号のみ自動」：電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する

返信先を設定する お買い上げ時 Off	「返信先指定」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「On」:「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」: 730SCのアドレスに返信されます。 ●730SCからEメールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「返信先アドレス設定」→項目を選択→必要に応じて設定選択 ●電話帳に登録しているアドレスを選択する場合は、「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-15）→Eメールアドレスを反転表示→■（選択）を押します。 ●宛先を直接入力する場合は、「直接入力」を選択し、Eメールアドレスを入力します。
フィーリングメールを受信したときの通知画面に感情の情報を表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「インフォメーション表示」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「着信ライト」→「On/Off」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「バイブ」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「On/Off設定」→項目を選択
フィーリングメールの着信音を設定する お買い上げ時 Happy／うれしい：One Fine Day.mp4、OK/Good：Sunny day.mp4、悲しい／ごめんね：Jazzy House_Pleasure.mp4、NG/Bad：Minimal Tone.mp4、重要／注目：On my way home.mp4	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「着信音選択」→感情を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→✉（再生）→📷（選択）
フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「鳴動時間」→鳴動時間を入力

添付画像の表示方法を設定する お買い上げ時 通常サイズ表示	「画像表示設定」→項目を選択
添付画像の自動再生を設定する お買い上げ時 On	「添付ファイル自動表示」→「画像」→項目を選択
添付サウンドの自動再生を設定する お買い上げ時 Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」→項目を選択

SMSに関する設定

共通操作 [メール]→「設定」→「SMS設定」

メールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 なし	「有効期限」→項目を選択 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからSMSが自動的に削除されます。
SMSセンター番号を設定する お買い上げ時 設定1　+819066519300	「SMSセンター番号」→設定する項目を選択
SMSセンター番号を編集する お買い上げ時 +819066519300	「SMSセンター番号」→編集したい項目を反転表示→[メール]（編集）→センター番号を編集
文字コードを変更する お買い上げ時 英語以外	「文字コード」→項目を選択

メディアプレイヤーの設定

ミュージックに関する設定

共通操作 ■→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ミュージック」

再生パターンを設定する お買い上げ時 Off	「再生パターン設定」→項目を選択 ●1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり、繰り返し再生するように設定できます。
再生中の音量を設定する お買い上げ時 70	「再生音量」→✥で音量を調節→■（保存）
表示するフォルダを設定する お買い上げ時 最近聴いた曲、よく聴く曲、アーティスト	「ミュージックメニュー」→表示したいフォルダをチェック→✉（保存） ●メディアプレイヤーの「ミュージック」で表示するフォルダを設定できます。

ムービーに関する設定

共通操作 ■→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ムービー」

再生パターンを設定する お買い上げ時 Off	「再生パターン設定」→項目を選択 ●1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのムービーやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり、繰り返し再生するように設定できます。
再生中の音量を設定する お買い上げ時 70	「再生音量」→✥で音量を調節→■（保存）
バックライトを設定する お買い上げ時 標準	「バックライト」→項目を選択
表示するフォルダを設定する お買い上げ時 最近見たムービー、よく見るムービー	「ムービーメニュー」→表示したいフォルダをチェック→✉（保存） ●メディアプレイヤーの「ムービー」で表示するフォルダを設定できます。
サムネイル表示を設定する お買い上げ時 On	「サムネイル表示」→項目を選択

設定

カメラの設定

静止画撮影／動画撮影に関する共通の設定

共通操作 [カメラ]→[カメラ]→「設定」→「一般」

ビューファインダーのアイコン表示を設定する お買い上げ時 On	「アイコン表示」→項目を選択 ●「On」に設定するとアイコンが表示されます。
自動保存を設定する お買い上げ時 Off	「自動保存設定」→項目を選択 ●「On」に設定すると、保存の操作をしなくても、撮影後自動で保存されます。
機能説明を設定する お買い上げ時 On	「機能説明」→項目を選択 ●「On」に設定すると、選択中のメニューの説明が表示されます。

静止画撮影に関する設定

共通操作 [カメラ]→[カメラ]→「設定」→「カメラ」

画質を設定する お買い上げ時 ノーマル	「画質設定」→項目を選択
ISOを設定する お買い上げ時 自動	「ISO」→項目を選択
測光モードを設定する お買い上げ時 標準	「測光」→項目を選択
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時 Off	「補助グリッド」→項目を選択
シャッター音を設定する お買い上げ時 パターン1	「シャッター音」→項目を選択

動画撮影に関する設定

共通操作 [カメラ]→[カメラ]→「設定」→「ビデオ」

画質を設定する お買い上げ時 エコノミー	「画質設定」→項目を選択

設定

電話帳の設定

電話帳に関する設定

共通操作 ■→「電話帳」→「設定」

優先的に登録される電話帳を変更する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ●「毎回確認」に設定すると、新規登録のたびに保存先の確認メッセージが表示されます。
優先的に表示される電話帳（730SC本体／USIMカード）を変更する お買い上げ時 本体	「表示切替」→項目を選択
電話帳の検索方法を切り替える お買い上げ時 あかさたな	「検索方法」→項目を選択
電話帳のバックアップをとる	「バックアップ」→項目を選択→「はい」
電話帳の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択

設定

音／バイブレータ／着信ライトの設定

音／バイブレータに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」

音量を設定する お買い上げ時 レベル3	「音量」→項目を選択→[十字キー]で音量を調節→[メール]（再生）→■（選択） ●「操作音」を選択した場合は、再生することができません。
音声通話の着信音を設定する お買い上げ時 Samsung Tune.mp4	「着信音」→「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[メール]（再生）→[カメラ]（選択）
電話以外の着信音を設定する お買い上げ時 メール着信：Samsung Tune.mp4、着信お知らせ機能／配信確認：BusinessTone.mp4	「着信音」→項目を選択→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[メール]（再生）→[カメラ]（選択）
電話以外の着信鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「着信音」→項目を選択→「鳴動時間」→時間を入力

バイブレータを設定する お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択→パターンを選択→[✉]（再生）→[■]（選択）
ボタン確認音を設定する お買い上げ時 Off	「操作音」→「ボタン確認音」→項目を選択
効果音を設定する お買い上げ時 個別設定On	「操作音」→「効果音」→設定する項目をチェック→[✉]（保存）

着信ライトに関する設定

共通操作 [■]→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「着信ライト」

受信中に照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 音声着信／メール着信／着信お知らせ機能：On、配信確認：Off	「着信時ライト」→項目を選択→「On」／「Off」
不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 On	「通知ライト」→項目を選択→「On」／「Off」

設定

マナーモードの設定

マナーモードに関する設定

共通操作 [■]→「設定」→「マナーモード設定」

バイブレータを設定する お買い上げ時 パターン1	「バイブ」→項目を選択→パターンを選択→[✉]（再生）→[■]（選択）
効果音を設定する お買い上げ時 通話中イベント通知	「効果音」→設定する項目をチェック→[✉]（保存）
受信中に照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 音声着信／メール着信／着信お知らせ機能：On、配信確認：Off	「着信ライト」→「着信時ライト」→項目を選択→「On」／「Off」
不在時に着信などがあったことを照明の点滅でお知らせする お買い上げ時 On	「着信ライト」→「通知ライト」→項目を選択→「On」／「Off」
簡易留守録を設定する お買い上げ時 On	「簡易留守録」→項目を選択

- 「マナーモード設定」では、「モード設定」の「マナーモード」の設定内容を変更できます。

設定

画像／文字表示の設定

画像や文字表示に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「ディスプレイ設定」

ディスプレイの壁紙の設定を変更する お買い上げ時 プリセット	「壁紙」→（➔P.2-4 ディスプレイの壁紙を設定する❷）
メニュースタイルを設定する お買い上げ時 シルバー	「メインメニュースタイル」→▶◀で設定したい色を選択 ●メニュー画面の表示タイプを変更できます。
待受画面に表示する情報を設定する お買い上げ時 Off	「時計／カレンダー表示」→項目を選択し、必要に応じて編集→■（OK） ●デジタル時計は、表示する時計の種類を選択できます。時計の種類を設定するには、「デジタル時計」→▶◀で時計の種類を選択→■（OK）を押します。 ●「デュアル時計」に設定すると、待受画面に2つの時計が表示されます。上側には「一般設定」の「日時設定」で設定した地域の時計が表示されます。下側に表示される時計は、「デュアル時計」→タイムゾーン欄を反転表示→▶◀で設定したい地域を指定→必要に応じてサマータイム欄を反転表示してチェック→✉（OK）を押して設定できます。
メニューリストのメニュー文字サイズを変更する お買い上げ時 大	「文字サイズ」→「メニューリスト」→項目を選択
電話帳のメニュー文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「電話帳」→項目を選択
文字入力画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「エディタ」→項目を選択
メール本文の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「メール」→項目を選択
ディスプレイの明るさを調整する お買い上げ時 3	「バックライト」→「明るさ」→✥で明るさを調整→■（OK）

バックライト点灯時間を設定する お買い上げ時 On：15秒、省電力設定：15秒	「バックライト」→「バックライト点灯時間」→On欄を選択→時間を選択→省電力設定欄を選択→時間を選択→[メール]（保存） ●点灯時間を「Off」に設定すると、画面が暗くなります。 ●点灯時間で設定した時間を経過すると画面が暗くなり、さらに「省電力設定」で設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。
待受中にダイヤル入力したときの文字タイプを設定する お買い上げ時 文字タイプ：標準1	「ダイヤル表示スタイル」→「文字タイプ」→[左右]で文字タイプを切り替え→[■]（OK）
待受中にダイヤル入力したときの文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字サイズ」→[左右]で文字サイズを切り替え→[■]（OK）
待受中にダイヤル入力したときの文字色を設定する お買い上げ時 標準	「ダイヤル表示スタイル」→「文字カラー」→[左右]で文字色を切り替え→[■]（OK） ●「単色」のときは、[下]を押して色の選択欄を反転表示→[左右]で設定したい色を切り替え→[■]（OK）を押します。
待受中にダイヤル入力したときの背景色を設定する	「ダイヤル表示スタイル」→「背景色」→[左右]で色を切り替え→[■]（OK）
事業者名の表示設定をする お買い上げ時 Off	「事業者名表示」→項目を選択

設定

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「一般設定」

ディスプレイの表示言語を切り替える お買い上げ時 日本語	「言語選択」→項目を選択 ●「中文」(中国語)と「Português」(ポルトガル語)は、メニュー表示にのみ対応しています。その言語での文字の入力や、受信したメールの表示はできません。
タイムゾーンの更新の設定をする お買い上げ時 最初に確認	「日時設定」→タイムゾーンの更新欄を選択→項目を選択→■(選択)→✉(保存) ●「自動」に設定すると再起動の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると730SCが再起動します。 ●「タイムゾーンの更新」は、設定を変更しても動作しません。
タイムゾーンを変更する お買い上げ時 GMT+09:00	「日時設定」→タイムゾーン欄を選択→◀□▶で目的の地域を切り替え→■(選択)→✉(保存) ●お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。「時計／カレンダー表示」で「デュアル時計」を設定するには、あらかじめこの設定を行ってください。
サマータイムを設定する お買い上げ時 チェックなし	「日時設定」→タイムゾーン欄を選択→「サマータイム」をチェック→✉(OK)→✉(保存)
時刻を設定する	「日時設定」→時間欄を反転表示→時刻を入力→✉(保存) ●設定しないとご利用になれない機能があります。
「AM」／「PM」を設定する(時刻表示形式「12H」の場合)	「日時設定」→時間欄の「AM」／「PM」を反転表示→□▶で設定を切り替え→✉(保存)
日付を設定する	「日時設定」→日付欄を反転表示→年月日を入力→✉(保存) ●設定しないとご利用になれない機能があります。
時刻の表示形式を変更する お買い上げ時 24H	「日時設定」→時刻表示形式欄を選択→項目を選択→✉(保存)
日付の表示形式を変更する お買い上げ時 年／月／日	「日時設定」→日付表示形式欄を選択→項目を選択→✉(保存)

ユーザ辞書を登録する	「ユーザ辞書」→「新規登録」→語句欄を選択→単語や文を入力→読み欄を選択→ヨミガナを入力→[メール]（保存）
ユーザ辞書の登録内容を編集する	「ユーザ辞書」→「辞書編集」→編集する内容を選択→語句やヨミガナを編集→[メール]（保存）
ユーザ辞書の登録内容を削除する	「ユーザ辞書」→「全削除」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」
文字入力履歴をリセットする	「ユーザ辞書」→「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」 ●予測候補や変換候補には、過去に変換した文字列や漢字が優先して表示されます。表示される内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
自動キーロックを設定する お買い上げ時 Off	「自動キーロック」→項目を選択
スピード検索の設定をする お買い上げ時 Off	「スピード検索設定」→項目を選択 ●「On」に設定し、待受画面で数字を入力すると、その数字のダイヤルボタンに割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話番号を電話帳から検索して表示します。
サイドキー操作で応答拒否する／着信音を消す お買い上げ時 着信音サイレント	「サイドキー設定」→項目を選択 ●着信中に[▲]／[▼]を1秒以上押したときの動作を設定します。
エニーキーアンサーを設定する お買い上げ時 Off	「エニーキーアンサー」→項目を選択 ●「On」に設定すると、[メール]、[■]、[カメラ]、[終話]、[▲]、[▼]を除くどのボタンを押しても電話を受けられます。
キーライトを設定する お買い上げ時 通常モード	「キーライト」→項目を選択 ●「通常モード」に設定すると、730SCを操作後「バックライト点灯時間」で設定した時間の間、キーが点灯します。 ●「節電モード」を設定するときは、節電開始時刻欄を選択→節電開始時刻を入力→節電終了時間欄を選択→節電終了時刻を入力→[メール]（保存）を押します。 ●「節電モード」に設定すると、節電時刻の間、キーは点灯しません。

セキュリティの設定

セキュリティに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「セキュリティ設定」

電源On時ロックを設定する お買い上げ時 Off	「電源On時ロック」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→■（OK）
キー操作ロックを設定する お買い上げ時 Off	「キー操作ロック」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→■（OK）
USIM照合を設定する お買い上げ時 Off	「USIM照合」→項目を選択→USIMパスワード（4～8桁の任意の番号）を入力→■（OK）→必要に応じてもう一度USIMパスワードを入力→■（OK）
アプリケーションロックを設定する お買い上げ時 全てのロックを解除	「アプリケーションロック」→ロックしたい項目をチェック→✉（保存）→操作用暗証番号を入力→■（OK）
シークレットモードを設定する お買い上げ時 表示しない	「シークレットモード」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→項目を選択
データフォルダのサブフォルダにシークレットモード設定をする お買い上げ時 表示しない	「シークレットデータフォルダ」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→項目を選択
電話帳やメールなどを消去する	「リセット」→「オールリセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
設定をリセットする	「リセット」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
PIN認証を設定する お買い上げ時 Off	「PIN認証」→項目を選択→PINコードを入力→■（OK）
PINコードを変更する	「PIN変更」→現在のPINコードを入力→■（OK）→新しいPINコードを入力→■（OK）→もう一度新しいPINコードを入力→■（OK）
PIN2コードを変更する	「PIN2変更」→現在のPIN2コードを入力→■（OK）→新しいPIN2コードを入力→■（OK）→もう一度新しいPIN2コードを入力→■（OK）
操作用暗証番号を変更する お買い上げ時 9999	「暗証番号変更」→現在の操作用暗証番号を入力→■（OK）→新しい操作用暗証番号を入力→■（OK）→もう一度新しい操作用暗証番号を入力→■（OK）
モバイルトラッカーを設定する お買い上げ時 Off	「モバイルトラッカー」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→設定欄を選択→「On」→宛先欄を選択→To欄を選択→宛先を入力→✉（保存）→送信者欄を選択→送信者名を入力→✉（保存）→表示内容を確認→■（同意）／📷（拒否）

設定

通話の設定

通話に関する設定

共通操作 [■]→「設定」→「通話設定」

呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出なし（0秒）」
呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番電話設定」→「呼出あり（5-30秒）」→呼び出し時間を選択
転送電話サービスを設定する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送電話設定」→設定を選択→項目を選択→転送先の設定操作
留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全停止」→「はい」
留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「設定確認」
留守番電話の伝言メッセージを聞く	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番再生」→[☎]
割込通話サービスを開始／解除する	「通話サービス」→「割込通話」→項目を選択
割込通話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「割込通話」→「設定確認」
発信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「発信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→[■]（OK）
着信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「着信規制」→「全着信規制」→項目を選択→規制暗証番号を入力→[■]（OK）
発着信規制の制限をすべて解除する	「通話サービス」→「発着信規制」→「全ての発着信規制解除」→規制暗証番号を入力→[■]（OK）→「はい」
発着信規制の設定を確認する	「通話サービス」→「発着信規制」→「設定確認」→項目を選択
発着信規制用暗証番号を変更する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号変更」→現在欄に規制暗証番号を入力→[■]（OK）→新規欄に新しい規制暗証番号を入力→[■]（OK）→確認欄にもう一度新しい規制暗証番号を入力→[■]（OK）
着信お知らせ機能を設定する	「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→[■]（発信）

国際コードを登録する お買い上げ時 0046010	「通話サービス」→「国際設定」→「国際コード」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→国際コードを入力
国番号を追加／変更／削除する お買い上げ時 1：日本、2：韓国、3：イギリス、4：イタリア、5：スイス、6：スペイン、7：ドイツ、8：ポルトガル、9：オランダ、0：フランス、＊：モナコ、#：アメリカ合衆国、スウェーデン、オーストラリア、中国、香港、台湾	「通話サービス」→「国際設定」→「国番号リスト」→追加／変更／削除操作 ●追加／変更するときは、国番号リストから追加／変更したい項目を反転表示→■（変更）→国名欄を選択→国名を入力→国番号欄を反転表示→国番号を入力→✉（保存）を押します。 ●削除するときは、削除したい項目を反転表示→✉（削除）→「はい」を選択します。
すべての通話の合計通話時間を確認する	「通話時間・料金」→「累積」 ●通話時間をリセットするには、✉（リセット）→ PIN2 コードを入力→■（OK）を押します。
前回の通話時間を確認する	「通話時間・料金」→「直前の通話」 ●前回の通話時間をリセットするには、✉（リセット）を押します。
累積データ通信量を確認する	「通話時間・料金」→「累積データ通信量」 ●メールの送信データ量／受信データ量を確認できます。 ●送信データ量／受信データ量をリセットするには、✉（リセット）を押します。
簡易留守録を設定する お買い上げ時 Off	「簡易留守録」→「簡易留守録設定」→項目を選択
簡易留守録の応答時間を設定する お買い上げ時 18秒	「簡易留守録」→「応答時間」→項目を選択→■（選択） ●「その他（0-30秒）」を選択した場合は、[キー]を押して時間を入力します。
簡易留守録に録音された用件を確認する	「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→用件を反転表示→■（再生） ●録音された用件を1件削除するには、削除したい用件を反転表示→✉（削除）→「はい」を選択します。 ●録音された用件をすべて削除するには、一覧画面で📷（全削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」を選択します。
応答メッセージの言語を設定する お買い上げ時 日本語	「簡易留守録」→「応答言語」→項目を選択 ●✉（再生）を押すと、選択した言語でメッセージが再生されます。

電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話番号指定」→「On/Off設定」→項目を選択 ●着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。（表示）を押すと不在着信履歴を確認できます。
着信拒否する電話番号を登録する	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト編集」→→「追加」→電話番号の登録操作→（保存） ●登録した電話番号を削除するには、「拒否リスト編集」→削除したい電話番号を反転表示→→「削除」→「1件」／「全件」→「はい」を選択します。「全件」を選択したときは、操作用暗証番号の入力が必要です。
電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話帳以外」→項目を選択
非通知着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「非通知」→項目を選択
公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「公衆電話」→項目を選択
電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「通知不可」→項目を選択
オフラインモードを設定する お買い上げ時 Off	「オフラインモード」→項目を選択
発信者番号の通知／非通知を設定する	「発信者番号通知」→「通知／非通知」→項目を選択 ●現在の設定を確認するには、「設定確認」を選択します。
話し中だった相手に自動的にリダイヤルする お買い上げ時 Off	「オートリダイヤル」→項目を選択 ●音声電話をかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、（キャンセル）／を押すまで最大10回繰り返されます。 ●相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは、電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。

着信音調節機能を設定する お買い上げ時 On	「着信音調節機能」→項目を選択 ●音声電話の着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル1の音量で2秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。
イヤホン通話を使う お買い上げ時 イヤホン通話を使う：Off	「イヤホン通話」→「イヤホン通話を使う」→項目を選択→「電話番号指定」→電話番号の登録操作→[✉]（保存） ●ステレオイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。指定した電話番号を変更する場合は同じ操作を繰り返し、変更する電話番号を登録します。
通話中の音量を調節する	「受話音量」→[◆]で音量を調節→[■]（選択）

設定

モードの設定

モードに関する設定

共通操作 [■]→「設定」→「モード設定」

モードを切り替える	「通常モード」／「マナーモード」／「運転中モード」／「会議モード」／「アウトドアモード」 ●各モードの設定内容を変更するには、設定したいモードを反転表示して[✉]（編集）を押し、各項目の設定をします。

設定

外部接続の設定

赤外線通信に関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」

赤外線通信を設定／解除する お買い上げ時 Off	「赤外線On/Off設定」→項目を選択
データを一括送信する	「全件データ送信」→操作用暗証番号を入力→■（OK）→項目を選択→認証コード（4桁）を入力→■（OK） ●電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

ネットワークに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「外部接続」

ネットワーク自動調整を手動で行う	「ネットワーク自動調整」→「はい」／「いいえ」

設定

メモリの設定

730SCのメモリに関する設定

共通操作 ■→「設定」→「メモリ設定」

730SC本体のメモリの詳細情報を確認する	「本体」→「詳細」 ●730SC本体のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
730SC本体のメモリを消去する	「本体」→「メモリ消去」→消去したい項目をチェック→✉（削除）→操作用暗証番号を入力→■（OK）→「はい」
メモリ容量を確認する	「メモリ容量確認」→項目を選択 ●確認したメモリを削除するには✉（削除）を押します（➲P.2-32 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

資料／付録

11

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に1回程度、電池パックの充電を行ってください。
  長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **730SCに使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。また、730SC以外の製品に使用しないでください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず730SCに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使いかたや操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 730SCや電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - メール作成などで連続したボタン操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
- 設定
  - 「ディスプレイ設定」の「バックライト」で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき
  - メディアプレイヤーのバックライトが「常時On」に設定されている状態で、ムービーを再生したとき

不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

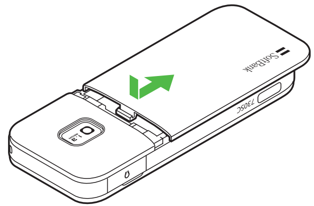
電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に730SCの電源が切れます。

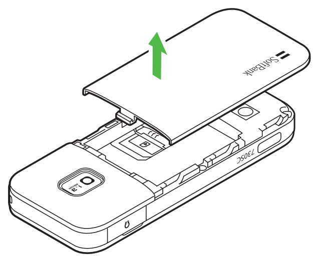
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

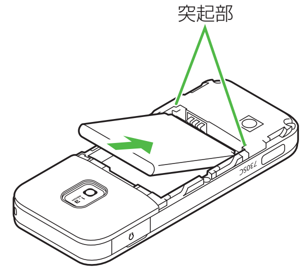
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる



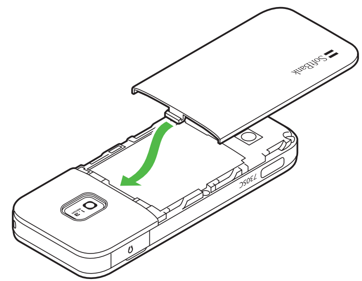
2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す



3 730SCの突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける



4 電池カバーを、矢印の方向にスライドさせ押し込む



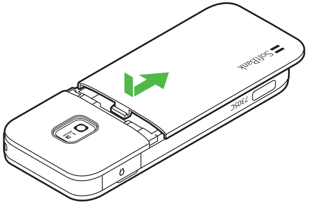
注意

- 電池カバーを外すときには、電池カバーのツメを730SCのくぼみに差し込んだまま無理に開かないでください。電池カバーのツメが壊れる場合があります。
- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。730SCの充電端子が壊れる場合があります。

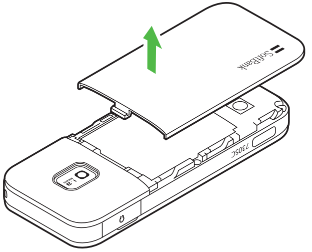
取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。

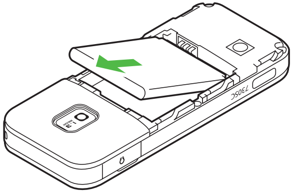
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる



2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す



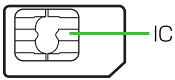
3 電池パックを持ち上げて、取り外す



USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。730SCは、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。



USIM（ユーシム）カード

USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

注意

- **USIMカードの所有権は当社に帰属します。**
- **紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。**
- **解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。**
- **お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。**
- **USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。**
- **国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。**
- **730SCの修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体に保存した着うた®や着うたフル®、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。**
- **お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**

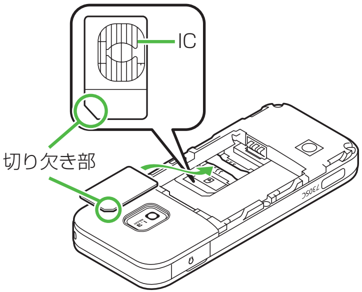
USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付けや取り外しをするときは、電池パックを取り外す前に必ず電源を切ってください。

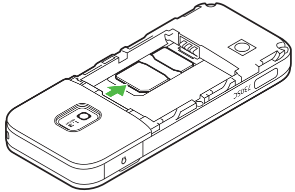
取り付ける

1. 電池パックを取り外す（➔P.11-4）

2. USIMカードの金色のIC部分を下側にし、切り欠き部分の向きに注意して挿入口に差し込む



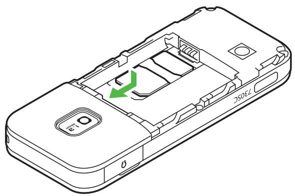
3. USIMカードが固定されるように、奥まで押し込む



取り外す

1. 電池パックを取り外す（➔P.11-4）

2. USIMカードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く



注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIMカードや730SCが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- PINコードは変更できます（➔P.8-2）。
- 「PIN認証」を「On」に設定すると、USIMカードを730SCに取り付けて電源を入れたとき、PINコードを入力しないと730SCを使用できなくなります（➔P.8-2）。

PIN2コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する4～8桁の暗証番号です。

- PIN2コードは変更できます（➔P.8-2）。

PINロック解除コード（PUK/PUK2コード）

PINロック解除コード（PUKコード）とは、PINロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。
PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。

注意

- **PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、730SCを使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。**
- **USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。**

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか？
➡ 電池パックを交換するか充電してください。

☑ 電池パックが730SCに装着されていますか？
➡ 正しく装着してください。

■ 電源を入れるとPINコードの入力画面が表示される

☑ 「PIN認証」が「On」に設定されていませんか？
➡ 「PIN認証」が「On」に設定されているときは、画面の指示に従ってPINコードを入力してください。

■ 電源を入れるとUSIMパスワードの入力画面が表示される

☑ 「USIM照合」が「On」に設定されていませんか？
➡ 「USIM照合」が「On」に設定されているときは、USIMパスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIM 未挿入です。」、「USIMが正しくありません」、「USIMエラーです」と表示される

☑ USIMカードは正しく取り付けられていますか？

➡ USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ USIMカードのデータ読み込み中ではありませんか？

➡ しばらくたってから操作し直してください。

☑ 違ったUSIMカードをお使いではありませんか？

➡ 正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

☑ USIM カードの IC 部分に指紋などの汚れがついていませんか？

➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■「圏外」または「Out」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話が途切れたり、切れたりする

☑「圏外」または「Out」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？

➡ 発信の規制を停止してください。

☑ オフラインモードが設定されていませんか？（「 」表示）

➡「オフラインモード」を「Off」に設定してください。

☑ 利用有効期間または登録残高がなくなっていませんか？

➡ 新しいプリペイドカードを登録してください。

■ 電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダーやメールの各種の機能が呼び出せない

☑「アプリケーションロック」が設定されていませんか？

➡「アプリケーションロック」を解除してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクターが730SCに確実に差し込まれていますか？
➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？
➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが730SCに取り付けられていますか？
➡ 正しく取り付けてください。

☑ 730SC、電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、730SCの充電端子の接続端子が汚れていませんか？
➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか？
➡ 周囲の温度が5～40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか？
➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？
➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に730SCや電池パックの温度が上昇していませんか？
➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。730SCや電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ 熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると730SCが発熱することがあります。
➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先（➔P.11-25）までご連絡ください。

■ 電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。
➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費の大きな機能の使用を控えてください（➔P.11-2）。

■ ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？
➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの秒数はバックライトの設定で変更できます。

■ スピーカーで音楽が再生できない

☑ 「マナーモード」が設定されていませんか？

➡ 「マナーモード」を解除してください。

☑ ステレオイヤホンマイクを接続していませんか？

➡ ステレオイヤホンマイクの接続コネクターを730SCから抜いてください。

■「これ以上起動できません」と表示された

☑ 多くの機能を一度に起動しています。

➡ いくつかの機能を終了してください。

■ 電話帳やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストなどが表示されない

☑ セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていませんか？

➡ セキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」に設定してください。

☑ 各機能のシークレット設定を有効にしていませんか？

➡ 表示したい画面で[カメラ]→「シークレット一時解除」を選択してください。

■「メール送信できませんでした」と表示された

☑ メールが送信できなかったときに、その理由とあわせて表示されます。

➡ 送信できなかった理由を確認し、送信できる状態になってから送信してください。

■「サービスは許可されていません」と表示された

☑ 3Gサービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。

➡ サービスエリア内から送信してください。

■「オフラインモードに設定されています」と表示された

☑ オフラインモード中に電話やメール送信しようとしたときに表示されます。

➡ 他のモードに切り替えて操作してください。

■「保存領域が＊＊バイト不足しています。データフォルダ内のファイルを整理しますか？」と表示された

☑ 730SCのメモリがいっぱいです。

➡ 不要なファイルを消去してから、やり直してください。

■ ステレオイヤホンマイクから発信できない

☑ 「イヤホン通話を使う」の設定が「Off」になっていませんか？

➡ 「イヤホン通話」に指定先の電話番号を登録しても、「イヤホン通話を使う」が「Off」に設定されているときは発信できません。「イヤホン通話を使う」を「On」に設定してください。

機能一覧

メインメニュー／中項目		参照先
メール		
	受信ボックス	P.4-8、P.4-10
	メール作成	P.4-3
	新着メール受信	P.4-20
	下書き	P.4-10、P.4-24
	テンプレート	P.4-10、P.4-19、P.4-20
	送信済みボックス	P.4-10
	未送信ボックス	P.4-10
	サーバーメール操作	P.4-24
	SMS新規作成	P.4-6
	設定	P.10-2
	メモリ容量確認	P.2-22
通話履歴		
	着信履歴	P.3-6
	発信履歴	P.3-6

メインメニュー／中項目		参照先
メディアプレイヤー		
	ミュージック	P.6-3
	ムービー	P.6-6
	設定	P.10-7
カレンダー		P.7-2
カメラ		
	カメラ	P.5-4
	ビデオカメラ	P.5-7
データフォルダ		
	ピクチャー	P.2-17
	マイ絵文字	P.2-17
	着うた・メロディ	P.2-17
	ミュージック	P.2-17
	ムービー	P.2-17
	デコレメールテンプレート	P.2-18
	その他ファイル	P.2-18
	メモリ容量確認	P.2-18
ツール		
	アラーム	P.7-3
	電卓	P.7-4
	通貨・単位換算	P.7-4
	世界時計	P.7-5
	メモ帳	P.7-6
	予定リスト	P.7-6

メインメニュー／中項目		参照先
ツール		
	ボイスレコーダー	P.7-7
	ストップウォッチ	P.7-8
電話帳		
	電話帳	P.2-15
	新規登録	P.2-13
	グループ設定	P.2-28
	オーナー情報	P.2-17
	スピードダイヤル設定	P.3-4
	設定	P.10-9
	メモリ容量確認	P.2-28
設定		
	音・バイブ・着信ライト設定	P.10-9
	マナーモード設定	P.10-10
	ディスプレイ設定	P.10-11
	一般設定	P.10-13
	セキュリティ設定	P.10-15
	通話設定	P.10-16
	モード設定	P.10-19
	外部接続	P.10-20
	メモリ設定	P.10-20

文字入力用ボタン一覧

1つのボタンには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでボタンを繰り返し押します。
＊は濁点を付けるなどの機能が、#には全角記号／半角記号入力モードへの切り替えなどの機能が割り当てられています。

ボタン	漢字／かな	カタカナ（全角／半角）	英字（全角／半角）	数字（全角／半角）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	アイウエオァィゥェォ 1	.@-_/:~（全角のときは「〜」）1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	ABCabc2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	DEFdef3	3
4	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4	GHIghi4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	JKLjkl5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	MNOmno6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	PQRSpqrs7	7
8	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8	TUVtuv8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	WXYZwxyz9	9
0	わをん、。ー0	ワヲン、。ー0	,.-_!?〈スペース〉0	0
＊	● 濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ● 絵文字／顔文字入力モードへの切り替え		● 絵文字／顔文字入力モードへの切り替え	
#	● 全角記号／半角記号入力モードへの切り替え			
（通話キー）	● 1つ前の割り当て文字の表示（文字の決定前のみ）			—
A/a	● 大文字／小文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ）			

記号一覧

全角記号

↲ 、 。 ！ ？ 〈スペース〉 ， ． ・ ： ； ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃
仝 々 〆 〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕
［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜
＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆
★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆
⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √
∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ ゎ ゐ ゑ ヮ ヰ ヱ ヴ ヵ
ヶ Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ
υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П
Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е
ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ
ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗
┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ
Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗
㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 №
㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ∮ ∑ ∟ ⊿

半角記号

↲ ､ ｡ ! ? 〈スペース〉 " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = >
@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｢ ｣ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記 号	記号名（入力文字）	記 号
あっと	＠@	こめ	※
いこーる	＝=	ころん	：；
えん	￥¥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	◇◆□■
かける	×	どう	ゝ〃仝々
かっこ	()「」『』【】〈〉［］‘’“”（）〔〕[]｛｝〈〉《》	ぱーせんと	％%
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

メモリ容量一覧

730SC本体に保存されるS!メールおよびSMSの合計数	受信ボックス	最大1000件、または最大5Mバイト
	下書き	最大20件、または最大1Mバイト
	送信済みボックス	最大250件、または最大1Mバイト
	未送信ボックス	最大20件、または最大1Mバイト
SMS	USIMカード内	最大10件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大999件（ファイルおよびサブフォルダの合計数)、または各フォルダの合計で36Mバイト
	マイ絵文字	
	着うた・メロディ	
	ミュージック	
	ムービー	
	デコレメールテンプレート	
	その他ファイル	

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank 730SC

項　目	仕　様
質量	約95.9g
連続通話時間	音声電話：約270分
連続待受時間（ディスプレイ消灯時)	約500時間
サイズ（W×H×D)	約44.5×107.9×14.7 ㎜
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、730SCで通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	880 mAh
サイズ（W×H×D）	約36.0×43.6×5.5 ㎜（突起部を含まず）

索引

英数字

あ

い

え

お

か

き

く

け

資料／付録

も

ゆ

よ

る

わ

目的別索引

便利な機能索引

保証とアフターサービス

保証について

730SC本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付（➔P.11-25）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- **故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に730SCに登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。**

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

MEMO

SoftBank 730SC　取扱説明書

2008 年　9 月　第 1 版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店に
ご相談ください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

機種名　SoftBank 730SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.